

令和5年度（消防）第20号 薦原分団葛尾地区消防ポンプ庫 解体及び新築工事

図面リスト							
No.	図面名称	No.	図面名称	No.	図面名称	No.	図面名称
A-00	表紙・図面リスト	A-15	新築 部分詳細図1	S-01	構造特記仕様書	E-01	電気設備 特記仕様書・照明器具姿図・盤図
A-01	建築工事特記仕様書-1	A-16	新築 部分詳細図2・サイン図	S-02	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)	E-02	電気設備 配置図
A-02	建築工事特記仕様書-2	A-17	新築 外構図	S-03	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)	E-03	電気設備 平面図
A-03	建築工事特記仕様書-3	A-18	新築 外構詳細図	S-04	新築 基礎図・基礎詳細図	E-04	電気設備 立面図
A-04	建築工事特記仕様書-4	A-19	現況 配置図			E-05	電気設備 現況配置図・平面図
A-05	建築工事特記仕様書-5	A-20	現況 平面図・平面詳細図・立面図・仕上表				
A-06	解体特記仕様書-1	A-21	現況 断面詳細図				
A-07	解体特記仕様書-2	A-22	現況 基礎伏図・梁伏図				
A-08	位置図	A-23	現況 配筋図・断面リスト				
A-09	新築 配置図・敷地求積図	A-24	現況 スラブ配筋図				
A-10	新築 工事概要・仕上表	A-25	仮設計画図				
A-11	新築 法チェック図・平面図・建物求積図						
A-12	新築 立面図・断面図						
A-13	新築 平面詳細図・外部見付図・建具表						
A-14	新築 断面詳細図						



特記		工事名	令和5年度（消防）第20号 薦原分団葛尾地区消防ポンプ庫 解体及び新築工事			1級建築士事務所 登録（三重1-1987号） 〒518-0775 三重県名張市希中央5番町109番地 TEL 0595-48-6066 FAX 0595-48-6067 E-mail h.a.t@tuba.ocn.ne.jp	承認	管理建築士 1級 256630号 萱室 敦司	印
		図名	表紙・図面リスト	図尺	—				

工事特記仕様書

I. 工事名	高原分団葛尾地区消防ポンプ庫 解体及び新築工事
II. 工事概要	
1. 工事場所	三重県名張市葛尾字道垣内154番
2. 敷地面積	45.63 m2
3. 工事内容	
棟名称	名張市消防団高原分団 葛尾ポンプ庫
構造	鉄骨造 1階建
建築面積	14.77 m2
延べ面積	14.77 m2

- III. 建築工事仕様**
- 共通仕様
 - 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、「三重県公共工事共通仕様書」及び「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)平成31年版」(以下「標準仕様書」という。)による。
 - 特記仕様
 - 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
 - 特記事項は、○印の付いたものを適用する。
 - 項目に記載の()内番号は標準仕様書の当該項目、図又は表を示す。

章	項目	特記事項																					
1 一般 共通 事項	①適用基準等	本特記事項に個別に記載の適用基準に加え、以下の基準等を適用する。 1) 建築工事標準詳細図 国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修 (平成28年版) 2) 敷地調査共通仕様書 国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修 (平成27年版)																					
	②発生材の処理等 (1.3.11)	・ 本工事は、その施工に特定建設資材を使用する新築工事等であって、その規模が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」(平成12年5月31日法律第104号。以下「建設リサイクル法」という。)施行令で定める建設工事の規模に関する基準以上の工事であるため、建設リサイクル法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。 工事契約後に明らかになったやむをえない事情により、予定した条件により難い場合は、監督員と協議するものとする。																					
	分別解体等の方法	<table border="1"> <thead> <tr> <th>工程</th> <th>作業の有無</th> <th>分別解体等の方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>造成等</td> <td>・有 ・無</td> <td>・手作業 ・手作業、機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>基礎・基礎ぐい</td> <td>○有 ・無</td> <td>・手作業 ○手作業、機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>上部構造部分 ・外装</td> <td>○有 ・無</td> <td>・手作業 ○手作業、機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>屋根</td> <td>○有 ・無</td> <td>・手作業 ○手作業、機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>建築設備・内装等</td> <td>○有 ・無</td> <td>・手作業 ○手作業、機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>その他 ()</td> <td>・有 ・無</td> <td>・手作業 ・手作業、機械作業の併用</td> </tr> </tbody> </table>	工程	作業の有無	分別解体等の方法	造成等	・有 ・無	・手作業 ・手作業、機械作業の併用	基礎・基礎ぐい	○有 ・無	・手作業 ○手作業、機械作業の併用	上部構造部分 ・外装	○有 ・無	・手作業 ○手作業、機械作業の併用	屋根	○有 ・無	・手作業 ○手作業、機械作業の併用	建築設備・内装等	○有 ・無	・手作業 ○手作業、機械作業の併用	その他 ()	・有 ・無	・手作業 ・手作業、機械作業の併用
工程	作業の有無	分別解体等の方法																					
造成等	・有 ・無	・手作業 ・手作業、機械作業の併用																					
基礎・基礎ぐい	○有 ・無	・手作業 ○手作業、機械作業の併用																					
上部構造部分 ・外装	○有 ・無	・手作業 ○手作業、機械作業の併用																					
屋根	○有 ・無	・手作業 ○手作業、機械作業の併用																					
建築設備・内装等	○有 ・無	・手作業 ○手作業、機械作業の併用																					
その他 ()	・有 ・無	・手作業 ・手作業、機械作業の併用																					
	・引渡を要するもの ・無 ・() ・特別管理産業廃棄物 ・有() 処理方法() ○現場において再利用を図るもの(電気設備図参照) ・再資源化を図るもの ・コンクリート塊 ・アスファルトコンクリート塊 ・建設発生木材	引渡を要するもの、再資源化を図るものについては調書を作成し監督員へ提出すること。 引渡を要するもの以外のものは、全て構外に搬出し、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、資源の有効な利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令によるほか、「建設副産物適正処理推進要綱」に従い適切に処理し、監督員に報告する。 (マニフェストA、B2、D、E票を提示すること。)																					

- ③施工条件 (1.3.5)
- 下記で指定するもの以外は監督員と協議し決定する。
- 施工可能日
 - 指定なし ・一部に土、日曜日、祝祭日施工あり
 - 施工可能時間帯
 - ・指定なし ○ 8時～ 17時
 - 部位別の施工順序
 - ・指定なし ○ (建柱先行)
 - 工事車両の駐車場
 - ・指定なし ○ 図示(図面番号 :A-08) ・ ()
 - 資材置場
 - ・指定なし ○ 図示(図面番号 :A-08) ・ ()
- 4.部分引渡し部分使用
- ・部分引渡しあり ・部分使用あり
 - ・指定部分 ()
 - 時期 (平成 年 月 日～)

- ⑤電気保安技術者 (1.3.3)
- 6.技能士 (1.5.2)
- ⑦建築材料等
- 適用する
- 職種別に可能なものについては積極的に活用のごと
- 本工事に使用する建築材料等は、設計図書に定める品質及び性能を有する新品とするほか「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿」(最新版)と同等とする。品質が求められる水準以上であれば、市内生産品の優先使用に努めること。
 - 本工事で使用する建設資材の調達にあたっては極力市内の取扱業者から購入するよう努めること。
 - 本工事に使用する建築材料のホルムアルデヒド放散量等は、F☆☆☆☆以上とする。

測定対象化学物質 (●で示したのものとする。)

適用	施設用途	ホルムアルデヒド	トルエン	キシレン	エチルベンゼン	スチレン	パラジクロロベンゼン
	学校、教育施設	●	●	●	●	●	●
	住宅	●	●	●	●	●	●
	その他	●	●	●	●	●	

対象箇所 ・ 図示(図面番号：) ・ ()

測定方法 ・ パッシブ法 ・ アクティブ法

報告書提出部数 2部

- ⑧特別な材料の工法
- ⑩騒音・振動の防止
- ⑪工事写真
- ⑫完成図等 (1.7.1)
- ⑬完成写真
- ⑭設計GL
- ⑮養生その他
- 標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は当該製品の指定工法による。
- 低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程に基づき指定された建設機械の使用に努めること。
- 営繕工事写真撮影要領(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修(平成28年版))に従い撮影する。
電子納品とし、次のものを提出する。
CD (部数は「18.電子納品」を参照)
- 作成する ○完成図 ・保全に関する資料 ・()
 - 完成図作図範囲(配置図、平面図、立面図、断面図、仕上等等)
- 完成図はCADにより作成することとし、著作権(著作権法第27条及び第28条に規定する権利を含む)は発注者に移譲するものとする。
- デジタルカメラで撮影し、全てL版相当サイズで印刷する。(A4版用紙に1ページあたり3枚) 1部
 - 箇所数は外観4面各室2面程度とする。規定の箇所数が確保できない場合には、監督員と協議すること。
 - ・アルバム 1部(大きさ 335mm×290mm程度 カラー)
- 図示のベンチマーク(B.M) BM+0.33=設計GL(10.33)(B.M10.00mm)
- 工事施工に際し既存部分を汚損又は損傷した場合は、構造・仕上げ共、既存にならない補修すること。

- ⑯事故の発生時
- 工事の施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員に通報するとともに、所定の様式により事故発生報告書を監督員が指示する期日までに監督員に提出すること。
また、事故発生後の措置について監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取、調査、検証等に協力すること。
- ⑰市内企業優先使用
- 本工事において、下請け契約を締結する場合には、当該契約の相手方は名張市内に本店(建設業法において規定する主たる営業所を含む)を有する者の中から選定するよう努めること。
- ⑱不当介入を受けた場合の措置
- 暴力団員等による不当介入(三重県公共工事等暴力団等排除措置要綱第2条第1項第14号)を受けた場合の措置について
(1)受注者は暴力団員等(三重県公共工事等暴力団等排除措置要綱第2条第1項第12号)による不当介入を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、不当介入があった時点で速やかに三重県警察本部に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行うこと。
(2)(1)により三重県警察本部に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行った場合には、速やかに発注者に報告すること。発注者への報告は必ず文書で行うこと。
(3)受注者は、暴力団員等により不当介入を受けたことから工程に遅れが生じる等の被害が生じた場合は、発注者と協議を行うこと。

- ⑲消防法関係の手続き
- 消火器に係る消防用設備等設置届出書の作成
 - 本工事 (○建築工事 ・電気設備工事 ・機械設備工事) ・別途工事
 - 防火対象物使用開始届出書
- 書類の作成(建築図面の作成及び建築に関する部分の記入)を行うこと。
- ⑳主任技術者又は監理技術者の専任を要しない期間
- 現場施工に着手するまで期間
請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間(現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間)については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。
なお、現場施工に着手する日については、請負契約締結後、監督員との打合せにおいて定める。
 - 検査終了後の期間
検査完成後、検査が終了し(発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。)、事務手続、後片付け等のみが残っている期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、検査が終了した日は、発注者が工事の完成を確認した旨、受注者に通知した日とする。

- ㉑工事の一時中止
- 名張市建設工事契約書の規定により工事の一時中止の通知を受けた場合は、中止期間中における工事現場の管理に関する計画(以下「基本計画書」という。)を発注者に提出し、承諾を受けるものとする。
なお、基本計画書には、中止時点における工事の出来形、職員の体制、労務者数、搬入材料及び建設機械器具等の確認に関すること、中止に伴う工事現場の体制の縮小と再開に関すること及び工事現場の維持・管理に関する基本的事項を明らかにする。
工事の施工を一時中止する場合は、工事の続行に備え工事現場を保全すること。

- ㉒労働安全衛生法に基づく労働災害防止措置
- 労働安全衛生法第30条第1項に規定する措置を講ずる必要がある場合、その措置を講ずべき者として、同法第30条第2項の規定に基づき、本工事の受注者を指名する。
この場合における指名への同意は、本工事の請負契約を締結することにより得られたものとみなす。

- ㉓火災保険等
- 名張市建設工事請負契約書の規定により、火災保険、建設工事保険又はその他の保険等に加え、その加入証券等を提示しなければならない。
- 保険の目的物 工事目的物及び工事材料(支給材料を含む)
 - 保険の加入期間 工事着手後速やかに加入し、完成引渡しまでの間
 - 保険金額 原則として請負金額に相当する金額

- ㉔社会保険等未加入対策
- 適用除外でないにも関わらず、社会保険等が未加入である建設業者を下請契約(受注者が直接締結する請負契約に限る。)の相手方としてはならない。
下請契約に先立って、選定の候補となる業者について社会保険等の加入状況を確認し、適用除外でないにも関わらず社会保険等が未加入である場合には、早期に加入手続きを進めるよう指導を行うこと。
受注者は、施工体制台帳・再下請負通知書の「健康保険等の加入状況」欄により、下請業者が社会保険等に加入しているかどうかを確認すること。
また、発注者が加入状況を証明する書類の提出又は提示を求めた場合、速やかに対応すること。

- 2 仮設工事
- ①監督員事務所 (2.3.1)
- | | | | | | |
|--------------------------|------|------|------|------|-------|
| 設置する。
監督員事務所の規模(単位:m) | | | | | |
| 適用 | | | | | |
| 規模 | 10程度 | 20程度 | 35程度 | 65程度 | 100程度 |
- ②仮設便所
- 構内既存の施設 ・利用できる ○利用できない
- ③工事用水
- 構内既存の施設
○利用できる (○有償 ・無償) ・利用できない
- ④工事用電力
- 構内既存の施設
○利用できる (○有償 ・無償) ・利用できない
本工事で新規受電または既設電気回路に接続し通電した時から工事に起因する電力料金は本工事に含まれる。
- ⑤足場
- 設置する足場については、「手すり先行工法等に関するガイドライン(厚生労働省平成21年4月)」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。
- ⑦交通誘導警備員
- 配置 ・ 図示(図面番号：)
○工事車両、トラック等大型車両通行時

- 3 土工事
- ①埋戻し及び盛土 (3.2.3)(表3.2.1)
- ②建設発生土の処理 (3.2.5)
- ③山留めの撤去 (3.3.3)
- 種別 ・ A種 ○B種 ○C種 ・ D種
- ・自由処分
 - ・処分地指定 処分地()
 - 処分地未定につき相互協議する。暫定運搬距離 8km
 - ・撤去 ・存置

- 4 地業工事
- 1.杭の施工管理
- 2.適用基準
- 本特記事項に個別に記載の適用基準に加え、以下の基準を適用する。
国土交通省告示第468号 「基礎ぐい工事の適正な施工を確保するために講ずべき措置」(平成28年3月4日)
- ③施工記録
- 受注者は、杭の施工期間中は、1週間ごとに、その週に施工した杭の施工記録を取りまとめ、翌週以内に監督員に、工事打合せ簿を添付したうえで提出し、確認を受けること。また電流値が記録されたチャート紙等の原本を合わせて提示し、必ず監督員の確認を受けること。
なお、取得すべき施工記録が取得できない場合に、当該施工記録に代替する記録を確保するための手法については、施工計画書に明記しておくこと。
- ④根拠資料
- 共通仕様書、特記仕様書及びその他基準書等の定めにより作成した施工管理資料の根拠となる資料(施工記録の原本、チャート紙、電子的な記録やプリントアウト紙等)は、受注者において全て適切に管理し、保管しなければならない。保管期間は契約書第3条第4項又は第5項(第38条においてこれらの規定を準用する場合を含む。)の規定による引渡しを受けた日から10年とする。
また、発注者から請求があった場合は、速やかにこれらを提出または提示しなければならない。

特記	工事名	令和5年度(消防)第20号 高原分団葛尾地区消防ポンプ庫 解体及び新築工事	図名	建築工事特記仕様書 1	縮尺	—	図面番号	A-01	1級建築士事務所 登録(三重1-1987号) 〒518-0775 三重県名張市希央台5番町109番地 TEL 0595-48-6066 FAX 0595-48-6067 E-mail h.a.t@tuba.ocn.ne.jp	承認	管理建築士	印
										1級 256630号 壹室 教司		
										図面提出日 2023/08/25		



4 地 業 工 事	5. 試験杭及び試験掘 (4.2.2)	・ 試験杭 位置、本数及び寸法 図示 (図面番号:) ・ 試験掘 位置、本数及び寸法 図示 (図面番号:)											
	6. 杭の支持地盤	支持地盤の位置、種類 ・ 図示 (図面番号:) ・ ()											
	7. 水平方向の位置ずれ	() mm以下											
	8. 杭の載荷試験 (4.2.3)	試験方法 ・ 鉛直載荷 ・ 水平載荷 ・ () 試験の方法及び報告書の記載は、敷地調査共通仕様書による。 位置 ・ 図示 (図面番号:) 載荷荷重 () kN											
	9. 地盤の載荷試験 (4.2.4)	報告書 ・ 提出部数 2部 試験の方法及び報告書の記載は、敷地調査共通仕様書による。 位置 ・ 図示 (図面番号:) 載荷荷重 () kN 報告書 ・ 提出部数 2部											
5 鉄 筋 工 事	⑩ 地盤改良	・ (基礎下 表層改良) 工法 ○ 六価クロム溶出試験 ○ 室内配合試験 ○ 一軸圧縮試験 (基礎下)											
	⑪ 砂及び砂利地業 (4.6.3)	厚さ (mm) ・ 60 ○ (100) ・ 仕上がりレベルを計測し、記録すること。											
	⑫ 捨コンクリート地業 (4.6.4)	厚さ (mm) ○ 50 ・ () ・ 仕上がりレベルを計測し、記録すること。											
	⑬ 床下防湿層 (4.6.5)	施工範囲 ・ 図示 (図面番号:) ポリエチレンフィルム厚さ ○ 0.15mm以上 ・ () ・ 防湿層の重ね幅、基礎梁へのみ込みは、250mm以上とする。											
	① 鉄筋の種類 (5.2.1)	<table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>径</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>○ SD295A</td> <td>・ D16以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ SD295B</td> <td>・ ()</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ SD345</td> <td>・ D19以上</td> <td></td> </tr> </table> <p>・ 建築基準法第37条の規定に基づき認定を受けたもの</p>	種類の記号	径	備考	○ SD295A	・ D16以下		・ SD295B	・ ()		・ SD345	・ D19以上
種類の記号	径	備考											
○ SD295A	・ D16以下												
・ SD295B	・ ()												
・ SD345	・ D19以上												
② 溶接金網 (5.2.2)	網目の形状、寸法 鉄線の径 (mm) ・ 4 ・ 5 ○ 6 ・ () 寸法 (mm) ・ 100×100 ○ 150×150 ・ ()												
3. 内法直径 (5.3.2)	90° 未満の折曲げの内法直径 ・ 図示 (図面番号:)												
④ 継手 (5.3.4)	<table border="1"> <tr> <th></th> <th>径</th> <th>部位</th> </tr> <tr> <td>○ 重ね継手</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ ガス圧接</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>主筋及び耐力壁の重ね継手の長さ ○ 標準仕様書 [5.3.4] (c) (1) ・ 図示 (図面番号:)</p> <p>継手位置 ○ 各部配筋参考図による ・ 図示 (図面番号:)</p> <p>鉄筋定着 ○ 標準仕様書 [表5.3.4] ・ 図示 (図面番号:)</p>		径	部位	○ 重ね継手			・ ガス圧接					
	径	部位											
○ 重ね継手													
・ ガス圧接													
⑤ 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (5.3.5)	軽量コンクリートで土に接する部分 ・ 無し ・ 有り (適用箇所:) 最小かぶり厚さ () mm 耐久性上不利な部分 (塩害を受けるおそれのある部分等) ・ 無し ・ 有り (適用箇所:) 最小かぶり厚さ () mm												
⑥ 各部配筋 (5.3.7)	○ 図示 (構造図)												
7. 圧接完了後の試験 (5.4.9)	抜取試験方法 ・ 超音波探傷試験 ・ 引張試験												

6 コ ン ク リ ー ト 工 事	① コンクリートの種類及び強度 (6.2.1) (6.2.2) (6.2.4) (6.11.1) (6.11.3) (6.10.1)	<p>普通コンクリートの設計基準強度</p> <table border="1"> <tr> <th>設計基準強度 F_c</th> <th>適用箇所</th> <th>施工時期</th> <th>スランプ</th> </tr> <tr> <td>○ 21 (N/mm²)</td> <td>基礎</td> <td>+6Nの時期</td> <td>○ 18 (cm)</td> </tr> <tr> <td>○ 21 (N/mm²)</td> <td>土間・外構</td> <td></td> <td>○ 18 (cm)</td> </tr> <tr> <td>○ 24 (N/mm²)</td> <td>ホース乾燥塔根巻</td> <td></td> <td>○ 15 (cm)</td> </tr> </table> <p>軽量コンクリートの設計基準強度</p> <table border="1"> <tr> <th>設計基準強度 F_c</th> <th>適用箇所</th> <th>種類</th> <th>気乾単位容積質量</th> <th>スランプ</th> </tr> <tr> <td>・ (N/mm²)</td> <td></td> <td></td> <td>・ t/m³</td> <td>・ (cm)</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>・ 常時土又は水に直接接する部分 図示 (図面番号:)</p>	設計基準強度 F _c	適用箇所	施工時期	スランプ	○ 21 (N/mm ²)	基礎	+6Nの時期	○ 18 (cm)	○ 21 (N/mm ²)	土間・外構		○ 18 (cm)	○ 24 (N/mm ²)	ホース乾燥塔根巻		○ 15 (cm)	設計基準強度 F _c	適用箇所	種類	気乾単位容積質量	スランプ	・ (N/mm ²)			・ t/m ³	・ (cm)	・					・				
	設計基準強度 F _c	適用箇所	施工時期	スランプ																																		
	○ 21 (N/mm ²)	基礎	+6Nの時期	○ 18 (cm)																																		
	○ 21 (N/mm ²)	土間・外構		○ 18 (cm)																																		
	○ 24 (N/mm ²)	ホース乾燥塔根巻		○ 15 (cm)																																		
	設計基準強度 F _c	適用箇所	種類	気乾単位容積質量	スランプ																																	
	・ (N/mm ²)			・ t/m ³	・ (cm)																																	
	・																																					
	・																																					
	② コンクリートの種類 (6.2.1) (表6.2.1)	<p>類別 ○ I類 ・ II類 ・ 大臣認定品 図示 (図面番号:)</p>																																				
③ コンクリートの仕上り (6.2.5)	<p>合板せき板を用いる場合の打放し仕上げの種類 ○ A種 ・ B種 ・ C種</p>																																					
④ セメント (6.3.1) (表6.3.1)	<p>種類 ○ 普通ポルトランドセメント、混合セメントA種 ・ () 高炉セメントB種又はフライアッシュセメントB種 ・ 適用箇所 図示 (図面番号:)</p>																																					
⑤ 骨材 (6.3.1)	<p>アルカリシリカ反応性による区分 ○ AL (コンクリート中のアルカリ総量を規制) ・ A (安全と認められる骨材を使用) なお、ALで規制できない場合はAとし、その試験は、施工着事前、工事中1回/6ヶ月かつ産地が変わった場合に信頼できる試験機関で行い、試験に用いる骨材の採取は、請負者立ち会いのもと、試験を行う者が、生コン工場のストックヤードから試料を採取して試験を行うこと。 ・ 特殊な骨材の使用 ・ フェロニッケルスラグ細骨材 ・ 鋼スラグ細骨材 ・ 電気炉酸化スラグ骨材 ・ 再生骨材 H</p>																																					
⑥ 混和材料 (6.3.1) (6.3.2)	<p>混和材料 ・ 図示 (構造図) 混和剤の種類、使用方法、使用量 ○ 標準仕様書 [6.3.1] (d) (i)、標準仕様書 [6.3.2] (2) (vi) ・ () 混和材の種類、使用方法、使用量 ○ 標準仕様書 [6.3.1] (d) (i)、標準仕様書 [6.3.2] (2) (vi) ・ ()</p>																																					
⑦ 型枠 (6.8.2) (6.8.3) (表6.8.1)	<p>材料 ○ 複合板 (厚さ (mm) ・ 12 ・ ()) 打増し厚さ ・ 図示 (図面番号:) 誘発目地、打継ぎ目地、化粧目地の位置、形状及び寸法 ・ 図示 (図面番号:) ・ 断熱材の兼用 ・ MCR工法用シート スリーブの材種、規格等 ・ 標準仕様書 [表6.8.1] ・ 図示 (図面番号:)</p>																																					
⑧ コンクリート強度試験 (6.9.3)	<p>圧縮強度試験の供試体の材齢 ○ 材齢28日 ○ 型枠脱型用 ・ 材齢28日を超え91日以内</p>																																					
⑨ 寒中コンクリート (6.11.2)	<p>適用期間 () ○ 調合管理強度、調合強度を積算温度を基に定める</p>																																					
10. 暑中コンクリート (6.12.2)	<p>構造体強度補正值 (S) ・ 6 N/mm² ・ ()</p>																																					
11. 無筋コンクリート (6.14.1)	<p>適用箇所 標準仕様書 [6.14.1] ・ 上記以外の適用箇所 () 設計基準強度 ・ 18 (N/mm²) ・ () (N/mm²) スランプ ・ 15cm ・ 18cm</p>																																					

7 鉄 骨 工 事	1. 施工管理技術者 (7.1.4)	・ 適用する											
	2. 製作工場 (7.1.3)	(株) 日本鉄骨評価センター又は (株) 全国鉄骨評価機構の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定めるグレードとして国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場 ・ J ・ R ・ M ・ H ・ S											
	3. 鋼材 (7.2.1)	材質、形状及び寸法 ・ 図示 (構造図)											
	4. 高力ボルト (7.2.2) (7.3.2) (7.4.2) (7.4.7)	<p>種類 ・ トルシア形高力ボルト2種 (S10T) ・ JIS形高力ボルト2種 (F10T) ・ 溶融亜鉛めっき高力ボルト1種 (F8T相当)</p> <p>高力ボルトの径 ・ 図示 (構造図) ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ・ 図示 (図面番号:) すべり係数試験 ・ 行わない ・ 行う 試験方法等 ・ () JIS形、ナット回転法かつボルト長がねじの呼びの5倍を超える場合 ・ 回転量 () °</p>											
	⑤ 普通ボルト (7.2.3) (7.3.2) (7.4.2)	<p>ボルト及びナットの材料等、ボルトの径 ・ 図示 (構造図) ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ・ 図示 (図面番号:)</p>											
	⑥ アンカーボルト (7.2.4) (7.3.2) (7.10.3) (表7.10.1) (表7.2.3)	<p>適用箇所及び種類 構造用 ・ 図示 (構造図) ・ SNR400B ・ () 建方用 ・ 図示 (図面番号:) ○ SS400 ・ () 建方用アンカーボルトの保持及び埋込み ・ A種 ・ B種 ・ C種 アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度 ○ 標準仕様書 [表7.2.3] ・ 図示 (図面番号:) 構造用アンカーボルト及びアンカーフレームの形状、寸法 ○ 図示 (図面番号:) ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ○ 図示 (図面番号:)</p>											
	7. 溶接材料 (7.2.5)	<p>材料 ・ 標準仕様書 [7.2.5] (a) (b) 以外の溶接材料 ()</p>											
	8. ターンバックル (7.2.6)	<p>種類及びねじの呼び等 ・ 図示 (構造図) 建築用ターンバックル胴 ・ 割枠式 ・ () 建築用ターンバックルボルト ・ 羽子板ボルト ・ ()</p>											
	10. テックプレート (7.2.7) (7.7.8)	<p>材質、形状及び寸法 ・ 図示 (図面番号:) 溶接方法 ・ 図示 (図面番号:)</p>											
	11. 柱底均しモルタル (7.2.9) (7.10.3) (表7.10.2)	<p>柱底均しモルタルの工法、厚み ・ A種 (30) mm ・ B種 () mm 無収縮モルタルの材料及び調合 ・ 標準仕様書 [7.2.9] (b) ・ ()</p>											
12. 溶接部の試験 (7.6.11)	<p>試験の種類 ・ 超音波探傷試験 ・ ()</p> <table border="1"> <tr> <th>溶接区分</th> <th>AOQL (%)</th> <th>検査水準</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>現場溶接</td> <td>・ 2.5 ・ 4.0</td> <td></td> <td>・ 計数連続生産型抜取検査</td> </tr> <tr> <td>工場溶接</td> <td>・ 2.5 ・ 4.0</td> <td>・ 6</td> <td></td> </tr> </table>	溶接区分	AOQL (%)	検査水準	備考	現場溶接	・ 2.5 ・ 4.0		・ 計数連続生産型抜取検査	工場溶接	・ 2.5 ・ 4.0	・ 6	
溶接区分	AOQL (%)	検査水準	備考										
現場溶接	・ 2.5 ・ 4.0		・ 計数連続生産型抜取検査										
工場溶接	・ 2.5 ・ 4.0	・ 6											

8 ブ ロ ッ ク ・ A L C パ ネ ル	13. 錆止め塗装 (7.8.3)	鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブの内面 (鉄骨に溶接されたものに限る) ・ 標準仕様書 [18.3.2]、[表18.3.1] (A) 種 耐火被覆材の接着する面への塗装 ・ 行わない ・ 行う 適用箇所 図示 (図面番号:) 種類 ・ 標準仕様書 [18.3.2]、[表18.3.1] () 種 ・ 標準仕様書 [18.3.2]、[表18.3.2] () 種																																
	⑭ 軽量形鋼構造 (7.11.2)	<p>接合部 (ボルト接合の場合) ・ 普通ボルト接合 ○ (メーカーの仕様による)</p>																																
	1. 補強コンクリートブロック造 (8.2.2) (8.2.4) (8.2.5) (8.3.3)	<p>種類 ・ 空洞ブロック16 ・ 図示 (図面番号:) 圧縮強さ、正味厚さ、モジュール呼び寸法 ・ 図示 (図面番号:) 各部の配筋 ・ 図示 (図面番号:) コンクリートの調合 ・ 標準仕様書 [表8.2.2] 以外のとき ・ 21N/mm² ・ ()</p>																																
	② コンクリートブロック縦壁及び塀 (8.3.2) (8.3.3)	<p>ブロックの種類 ・ 標準仕様書 [表8.3.1] ○ 図示 (図面番号:) 圧縮強さ、正味厚さ、モジュール呼び寸法、ブロックの厚さ ○ 図示 (図面番号:) 各部の配筋 ○ 図示 (図面番号:) 化粧 ○ 有り ・ 無し</p>																																
	3. ALCパネル (8.4.2) (8.4.3) (8.4.4) (表8.4.2) (8.4.5) (表8.4.3)	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">種類</th> <th rowspan="2">単位荷重 (N/mm²)</th> <th colspan="2">呼び寸法</th> <th rowspan="2">構法</th> <th rowspan="2">耐火性能</th> </tr> <tr> <th>厚さ (mm)</th> <th>幅 (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 外壁パネル</td> <td>・ ()</td> <td>・ 100 ・ ()</td> <td>・ ()</td> <td>・ A種 ・ B種</td> <td>・ () 時間 ・ 無し</td> </tr> <tr> <td>・ 間仕切り壁パネル</td> <td>・ ()</td> <td>・ 100 ・ ()</td> <td>・ ()</td> <td>・ C種 ・ D種 ・ E種</td> <td>・ () 時間 ・ 無し</td> </tr> <tr> <td>・ 屋根パネル</td> <td>・ ()</td> <td>・ 100 ・ ()</td> <td>・ ()</td> <td>・ F種</td> <td>・ () 時間 ・ 無し</td> </tr> <tr> <td>・ 床パネル</td> <td>・ ()</td> <td>・ 100 ・ 120 ・ 150</td> <td>・ ()</td> <td>・ F種</td> <td>・ () 時間 ・ 無し</td> </tr> </tbody> </table> <p>パネル幅を300mm以下とする部分 ・ 適用あり 外壁、屋根及び床パネル構法 風圧力に対応した工法 ・ 適用あり 出隅、入隅等の取合い部の伸縮目地幅 (mm) ・ () 伸縮目地への耐火目地材の充填 ・ 適用する (材料:)</p>	種類	単位荷重 (N/mm ²)	呼び寸法		構法	耐火性能	厚さ (mm)	幅 (mm)	・ 外壁パネル	・ ()	・ 100 ・ ()	・ ()	・ A種 ・ B種	・ () 時間 ・ 無し	・ 間仕切り壁パネル	・ ()	・ 100 ・ ()	・ ()	・ C種 ・ D種 ・ E種	・ () 時間 ・ 無し	・ 屋根パネル	・ ()	・ 100 ・ ()	・ ()	・ F種	・ () 時間 ・ 無し	・ 床パネル	・ ()	・ 100 ・ 120 ・ 150	・ ()	・ F種	・ () 時間 ・ 無し
	種類	単位荷重 (N/mm ²)			呼び寸法				構法	耐火性能																								
			厚さ (mm)	幅 (mm)																														
	・ 外壁パネル	・ ()	・ 100 ・ ()	・ ()	・ A種 ・ B種	・ () 時間 ・ 無し																												
	・ 間仕切り壁パネル	・ ()	・ 100 ・ ()	・ ()	・ C種 ・ D種 ・ E種	・ () 時間 ・ 無し																												
	・ 屋根パネル	・ ()	・ 100 ・ ()	・ ()	・ F種	・ () 時間 ・ 無し																												
・ 床パネル	・ ()	・ 100 ・ 120 ・ 150	・ ()	・ F種	・ () 時間 ・ 無し																													
1. アスファルト防水 (表9.2.3) ~ (表9.2.8) (9.2.2) (9.2.3)	<table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>改質アスファルトシート 種類 ・ 標準仕様書 [表9.2.3] ~ [表9.2.8] ・ 図示 () 厚さ ・ 標準仕様書 [表9.2.3] ~ [表9.2.8] ・ 図示 () 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシート 種類 ・ 標準仕様書 [表9.2.5] ~ [表9.2.8] ・ 図示 () 厚さ ・ 標準仕様書 [表9.2.5] ~ [表9.2.8] ・ 図示 () 絶縁用シート ・ ポリエチレンフィルム (厚さ 0.15mm以上) ・ フラットヤーンクロス (70g/m²) 押え金物 ・ アルミ製 L30×15×2.0 ・ 図示 () 断熱材 ・ 屋根保護防水断熱工法 種類 () 厚さ () mm ・ 屋根露出防水断熱工法 種類 () 厚さ () mm</p>	種 別	施 工 箇 所																															
種 別	施 工 箇 所																																	
9 防 水 工 事																																		

特 記	工事名	令和5年度 (消防) 第20号 蕨原分団葛尾地区消防ポンプ庫 解体及び新築工事	
	図名	建築工事特記仕様書 2	縮尺
	図面番号	A - 0 2	
	図面提出日	2023 / 0 8 / 2 5	
	承認	管理建築士	印
		1級 256630号 壹室 敦司	
	1級建築士事務所 登録 (三重1-1987号) 〒518-0775 三重県名張市希央台5番町109番地 TEL 0595-48-6066 FAX 0595-48-6067 E-mail h.a.t@tuba.ocn.ne.jp		
			

9 防水工事

Table with 2 columns: 種別, 施工箇所. Content: 2.改質アスファルトシート防水 (9.3.2) (9.3.3) (表9.3.1) ~ (表9.3.3)

改質アスファルトシート
種類 ・ 標準仕様書[表9.3.1] ~ [表9.3.3] ・ 図示 ()
厚さ ・ 標準仕様書[表9.3.1] ~ [表9.3.3] ・ 図示 ()
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシート
種類 ・ 標準仕様書[表9.3.1] ~ [表9.3.3] ・ 図示 ()
厚さ ・ 標準仕様書[表9.3.1] ~ [表9.3.3] ・ 図示 ()
仕上塗料
・ 図示 (図面番号:) 種類 () 使用量 ()
脱気装置
・ 設置数量 図示 (図面番号:) 種類 ()
断熱材
・ 屋根露出防水絶縁断熱工法
種類 () 厚さ () mm

Table with 2 columns: 種別, 施工箇所. Content: 3.合成高分子系ルーフィングシート防水 (9.4.2) (9.4.3) (表9.4.1) (表9.4.2) (表9.4.3) (表9.4.4) (表9.4.4.2) (表9.4.4.2) (表9.4.4.2)

ルーフィングシート
種類 ・ 標準仕様書[表9.4.1] ~ [表9.4.3] ・ 図示 ()
厚さ ・ 標準仕様書[表9.4.1] ~ [表9.4.3] ・ 図示 ()
絶縁用シート
・ 発砲ポリエチレンシート ()
固定金具 材質、寸法形状 ()
・ 図示 (図面番号:)
断熱材 材質、厚さ ()
・ 図示 (図面番号:)
仕上塗料
・ 図示 (図面番号:) 種類 () 使用量 ()

Table with 2 columns: 施工箇所, 種別. Content: 4.塗膜防水 (9.5.3) (表9.5.1) (表9.5.2)

脱気装置 (X-1)
・ 設置数量 図示 (図面番号:) 種類 ()
保護層 (Y-2) ・ 図示 (図面番号:)
仕上塗料
・ 図示 (図面番号:) 種類 () 使用量 ()

Table with 4 columns: 施工箇所, 目地寸法, 種類. Content: ⑤シーリング (9.7.2) (9.7.3) (表9.7.1) (9.7.5)

接着性試験
・ 簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験

10 石工事

Table with 7 columns: 使用部位, 種類(名称), 品質, 寸法・厚さ(mm), 表面仕上げ, 工法, 形状. Content: 1.天然石 (10.2.1) (表10.2.1) (表10.2.2)

割付 ・ 標準仕様書[10.1.3] (a) ・ 図示 (図面番号:)
粗面仕上げの場合のみ込み部分の仕上げ ()
清掃における床面ワックス ・ 使用する
ジェットバーナー仕上面 ・ 手加工あり ・ 機械加工バフ仕上げあり

10 石工事

Table with 5 columns: 使用部位, 種石の種類, 種石の大きさ, 寸法による区分, 表面仕上げ. Content: 2.テラゾ (10.2.1) (表10.2.2)

テラゾブロック
使用部位 種石の種類 種石の大きさ 形状 仕上げ面 寸法(mm) 表面仕上げ
・ 大理石 ・ 1.5~12mm ・ 平もの ・ 片面 ・ () ・ ()
・ 役もの ・ 両面
割付 ・ 標準仕様書[10.1.3] (a) ・ 図示 (図面番号:)
清掃における床面ワックス ・ 使用する

11 タイル工事

1.伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地 (11.1.3)
位置 ・ 標準仕様書[表11.1.1]
・ 図示 (図面番号:)

Table with 10 columns: 施工箇所, 形状寸法, 工法, 耐滑り性, 区分(きじ) I類(磁器), II類(せつ器), III類(陶器), うわぐすり, 役物, 標準・特注色, 耐凍害性. Content: 2.陶磁器質タイル張り (表11.2.3) (11.2.2) (11.3.4) (表11.3.2)

・ 役物 ()
・ タイルの紙験張りを行う
・ 見本焼きを行う
セメントモルタル塗り又は接着剤あと張り工事
コンクリート素地面の処理
・ 適用箇所 図示 (図面番号:)
・ 目荒し工法 ・ MCR工法
接着剤あと張り工事
シーリング材
打継、ひび割れ誘発目地 ・ PU-2 ()
伸縮、その他目地 ・ MS-2 ()

12 木工事

①木材 (12.1.4) (表12.1.1) (12.2.1) (12.4.1) (12.5.1) (12.6.1) (12.7.1) (表12.2.1)

Table with 2 columns: 部材名称, 種別. Content: 見え掛り部の表面仕上げ (A種, B種, C種)
適用箇所 ()
木材の含水率
部材名称 種別
下地材 ・ A種 ・ B種
造作材 (A種, B種)

樹種 (米桐)
製材
「製材の日本農林規格」による製材

Table with 4 columns: 樹種・寸法・形状, 等級, 含水率. Content: 1.長尺金属板葺 (13.2.2) (13.2.3) (表13.2.1)

10 石工事

Table with 7 columns: 使用部位, 種類(名称), 品質, 寸法・厚さ(mm), 表面仕上げ, 工法, 形状. Content: 1.天然石 (10.2.1) (表10.2.1) (表10.2.2)

割付 ・ 標準仕様書[10.1.3] (a) ・ 図示 (図面番号:)
粗面仕上げの場合のみ込み部分の仕上げ ()
清掃における床面ワックス ・ 使用する
ジェットバーナー仕上面 ・ 手加工あり ・ 機械加工バフ仕上げあり

12 木工事

Table with 4 columns: 樹種・寸法・形状, 等級, 化粧薄板厚さ. Content: 3.集材等 (12.2.1)

造作用集材材
「集材材の日本農林規格」による造作用集材材
樹種・寸法・形状 等級 化粧薄板厚さ
造作用集材材 ・ 図示 (図面番号:)
化粧ばり造作用集材材 ・ 図示 (図面番号:)
化粧ばり構造用集材材 ・ 図示 (図面番号:)

「集材材の日本農林規格」以外の造作用集材材
樹種、寸法、化粧薄板の厚さ及び含水率
・ 図示 (図面番号:)
造作材の材面の品質 ・ A種 ()

Table with 7 columns: 部材名称, 樹種名, 接着の程度, 等級, 板面の品質, 防虫処理等, 厚さ. Content: 4.単板積層材 (12.2.1)

「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材
厚さ、表面の品質及び防虫加工
・ 図示 (図面番号:)
「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材
厚さ、表面の品質、含水率及び防虫加工
・ 図示 (図面番号:)

構造用合板の強度等級
・ 1級
パーティクルボード
表裏面の状態、曲げ強さ、接着剤、難燃性による区分、厚さ等
・ 図示 (図面番号:)
6.防霉・防蟻処理 (12.3.1) (12.3.2)
薬剤加圧注入
適用部位、保存処理性能区分 ・ 図示 (図面番号:)
薬剤の塗布等
処理方法 ・ 標準仕様書[12.3.1] (3) (ii) ()
ボード原料接着剤への薬剤混入
()
防虫処理
()

13 屋根及びびとい工事

Table with 5 columns: 屋根葺形式, 材種, 厚さ(mm), 下葺の種類, 備考. Content: 1.長尺金属板葺 (13.2.2) (13.2.3) (表13.2.1)

耐風圧及び積雪荷重に対応した工法
・ 図示 (図面番号:)
雪止め ・ 図示 (図面番号:)

Table with 5 columns: 緊結方法, 板厚(mm), 山の高さ(mm), 山のピッチ(mm), 耐力区分. Content: ②折板葺 (13.3.2) (13.3.3)

断熱材 種別 ・ ガラス繊維シート () ポリエチレンフォーム
厚さ(mm) ・ 5 () 4
防火性能 () (不燃)
風圧力及び積雪荷重に対応した工法
・ 図示 (図面番号:)

③とい (13.5.2) (表13.5.1) (13.5.3) (表13.5.5)
材種 () 硬質ポリ塩化ビニル管(カラー) ・ 配管用鋼管(白管)
()
鋼管製といの防露巻工法
・ 標準仕様書[表13.5.5] ()

1.あと施工アンカー (14.1.3)
2.ステンレス (14.2.1)
3.7μニウム (14.2.2) (表14.2.1)
引抜き耐力の確認試験 ・ 実施する
設計用引張強度 ()
表面仕上げ ・ HL仕上げ ()
表面処理の種類
・ A-1 ・ A-2 ・ B-1 ・ B-2 ・ C-1 ・ C-2 ・ D
常温乾燥形の塗装 ()
陽極酸化被膜の着色方法 ・ 二次電解着色 ()

④鉄鋼の亜鉛めっき (14.2.3)
野縁などの種類
屋内 ・ 19形 ()
屋外 ・ 25形 ()
屋外の野縁受等の間隔 ・ 図示 (図面番号:)
吊りボルトの補強方法 (@900mm超) ・ 図示 (図面番号:)
吊りボルトの水平補強、斜め補強
・ 天井ふところ≧1.5m ・ 標準仕様書[14.4.4] (h)
・ 天井ふところ>3.0m 図示 (図面番号:)
・ 耐震天井 図示 (図面番号:)
・ 耐風圧の補強 図示 (図面番号:)

6.軽量鉄骨壁下地 (14.5.3) (表14.5.1)
スタッド、ランナーの種類
・ 標準仕様書[表14.5.1] ・ 図示 (図面番号:)
スタッドの高さ5m超
・ 図示 (図面番号:)

Table with 4 columns: 取付箇所, 材種, 寸法, 形式. Content: 7.天井見切縁
材種 ・ アルミニウム合金製 ・ 塩化ビニル製
8.点検口
・ 天井 ・ アルミニウム製 ・ 450角 ・ 額縁タイプ
・ 600角 ・ 目地タイプ
・ 床 ・ アルミニウム製 ・ 450角 ・ 600角

9.角波サイディング
外壁 ガルバリウム鋼板 t=0.5 既製品

①モルタル塗り (15.2.2) (15.2.5)
既製目地材 ・ 使用する 図示 (図面番号:)
床の目地 ・ 図示 (図面番号:)
下地モルタルの接着力試験 (外壁タイル張り等) ・ 実施する

2.セルフベリング (15.4.2)
種類 ・ せっこう系 ・ セメント系

15 左官工事

15 左 官 工 事	3. 仕上塗材仕上 (15.5.2) (表15.5.1)	種類	呼び名	仕上形状	工法
	薄付仕上塗材	・外装薄塗材E ・内装薄塗材E ・()	・砂壁状 ・着色骨材砂壁状 ・砂壁状ジュラク ・()	・吹付け ・()	・()
	複層仕上塗材	・複層塗材E ・複層塗材RE ・防水型複層塗材E ・防水型複層塗材RE ・()	・ゆず肌状 ・凸部処理 ・凹凸状 ・()	・ローラー ・吹付け ・()	
					軽量骨材仕上塗材
	内装薄塗材、内装厚塗材 (吸放湿性を有するもの) ・ JIS A 6909 調湿形 複層仕上塗材の耐候性 ・ 耐候形3種 ・ () 外装厚塗材Cの上塗材 ・ セメントスタッコ以外の場合 材所要量 (kg/m ²) (表15.5.2)				
	複層仕上塗材の上塗材の種類				
	樹脂種類				
	・ アクリル系				
	・ シリカ系				
・ ポリウレタン系					
・ アクリルシリコン系					
・ ふっ素系					
(15.5.4)	ALCパネルの内壁目地 ・ V形目地付き ・ ()				
(15.5.7)	仕上塗材の所要量等の確認方法 ・ 標準仕様書[表15.5.4] ・ ()				
4. ロックウール吹付け (15.8.3)	仕上げ吹付け厚さ () mm				

16 建 具 工 事	3. 網戸 (16.2.3)	形式	・可動式 ・固定式
	4. 鋼製建具 (16.4.2) (表16.4.1) (表16.2.1) (16.4.3) (16.4.4) (表16.4.2)	網戸	・合成樹脂 ・ステンレス (SUS316) ・ () ・16メッシュ ・18メッシュ ・ ()
		簡易気密型ドアセット	・ 図示 (図面番号:) 外部建具の耐風圧性 ・ S-4 ・ S-5 ・ S-6 防音ドアセット、防音サッシの遮音性 ・ (等級) 断熱ドアセット、断熱サッシの断熱性 ・ (等級) 耐震ドアセットの面内変形追随性 ・ (等級) 鋼板の種類、めっき付着量 ・ JIS G 3302 ・ Z12 ・ F12 ・ () ・ JIS G 3317 ・ Y08 ・ () 鋼板類の厚さ ・ [表16.4.2] ・ 図示 (図面番号:) H>2400超 又は W>950超 ・ 図示 (図面番号:)
	5. 鋼製軽量建具 (16.5.2) (16.5.3) (16.5.4)	簡易気密型ドアセット	・ 図示 (図面番号:) 防音ドアセット、防音サッシの遮音性 ・ (等級) 断熱ドアセット、断熱サッシの断熱性 ・ (等級) 耐震ドアセットの面内変形追随性 ・ (等級) 鋼板類の表面仕上げ ・ 塗装 ・ ビニル被覆鋼板 ・ カラー鋼板 ・ ステンレス鋼板 (・HL ・鏡面) 召し合せ、縦小口包み板等の材質 ・ 鋼板 ・ ステンレス鋼板 ・ アルミニウム合板押出形材 鋼板類の厚さ ・ [表16.5.1] ・ 図示 (図面番号:) H>2400超 又は W>950超 ・ 図示 (図面番号:)
	9. ステンレス製建具 (16.6.2) (16.6.3) (16.6.4) (16.6.5)	簡易気密型ドアセット	・ 図示 (図面番号:) 外部建具の耐風圧性 ・ S-4 ・ S-5 ・ S-6 防音ドアセット、防音サッシの遮音性 ・ (等級) 断熱ドアセット、断熱サッシの断熱性 ・ (等級) 耐震ドアセットの面内変形追随性 ・ (等級) ステンレス鋼板 ・ SUS304 ・ () 表面仕上げ ・ HL ・ 鏡面仕上げ 曲げ加工 ・ 普通曲げ ・ 角出し曲げ
	10. 木製建具 (16.7.2) (表16.7.1) (表16.7.6) (表16.7.3) (16.7.4)	建具材の含水率	・ A種 ・ B種 ・ C種 フラッシュ戸、戸ぶすまの合板 種類、材面の品質 ・ 図示 (図面番号:) 接着の程度 ・ 1類 (水掛り)、2類 (その他) ・ () フラッシュ戸の形状 表面板の厚さ ・ 標準仕様書[表16.7.6] ・ () 引戸の召合わせ ・ いんろう付き 図示 (図面番号:) かまち戸 かまち、鏡板の樹種 ・ 図示 (図面番号:) ぶすま 上張の種類 ・ 図示 (図面番号:) 緑の仕上げ ・ 図示 (図面番号:) 枠及びくつずりの材料 ・ 図示 (図面番号:) 戸の見込み寸法 ・ 図示 (図面番号:)
	11. 建具用金物 (16.8.2) (表16.8.1) (16.8.3) (16.8.4)	マスターキー	・ 製作する <input checked="" type="radio"/> 製作しない ・ 監督員と協議の上システムを決定する キーボックス ・ 要 <input checked="" type="radio"/> 不要 金物の種類、見え掛り部等の材質等 ・ 標準仕様書[表16.8.1] <input checked="" type="radio"/> 図示 (図面番号:) レバーハンドル、クレセント等の取付け位置 ・ FL+1500以内 <input checked="" type="radio"/> (メーカーの仕様による)
	12. 重量シャッター (16.11.2) (表16.11.1)	シャッターの種類	・ 図示 (図面番号:) 開閉機能による種類 ・ 図示 (図面番号:) 管理用シャッター、外壁用防火シャッター ・ 耐風圧強度 (Pa 以上) 管理用シャッターのシャッターケース ・ 図示 (図面番号:) 鋼板の種類 ・ 図示 (図面番号:) ・ めっき付着量 ・ Z12 ・ F12 ・ ()
	13. 軽量シャッター (16.12.2) (表16.12.1) (16.12.3) (16.12.4)	シャッターの種類	・ 図示 (図面番号:) 開閉機能による種類 <input checked="" type="radio"/> 図示 (図面番号:) <input checked="" type="radio"/> 耐風圧強度 メーカー仕様による スラットの材質、めっき付着量 ・ メーカー仕様による <input checked="" type="radio"/> ・ JIS G 3322 ・ AZ90 ・ () スラットの形状 <input checked="" type="radio"/> メーカー仕様による ・ オーバーラッピング形

17 塗 装 工 事	④ ガラス (16.14.2) (16.14.3) (16.14.4) (表16.14.1)	板ガラスの種類、厚さ、特性による種類等 <input checked="" type="radio"/> 図示 留め材 <input checked="" type="radio"/> シーリング ・ ガasket () ガラス溝の寸法、形状等 <input checked="" type="radio"/> 標準仕様書[表16.14.1] ・ 図示 (図面番号:) 熱線反射ガラスの映像調整 ・ 実施する						
	① 材料 (18.2.2) ~ (18.14.2)	防火材料の指定箇所 (1階庫庫壁、天井)						
	② 施工一般 (18.2.2) ~ (18.14.2)	塗料塗り	種類	種類	施工箇所	下地の種類	素地ごしらえ	錆止め塗料の種類
		SOP	・ A種 <input checked="" type="radio"/> B種			木面 鉄鋼面	・ A種 <input checked="" type="radio"/> B種 ・ C種	
	EP	・ A種 ・ B種			ボード面	・ A種 ・ B種		
	3. 耐候性塗料塗り (DP) (18.7.2) (表18.7.1) (18.7.4)	下地の種類	施工箇所	上塗り等級	コケシ、EOP面における種別			
		鉄骨	鉄鋼面	・ 1級 ・ 2級 ・ 3級 (ウレタン樹脂)	・ A種 ・ B種 ・ C種			
	18 内 装 工 事	1. ビニルシート張り (19.2.2)	種類	色柄	厚さ (mm)	継目		
		2. ビニル床タイル張り (19.2.2)	寸法	種類	厚さ (mm)			
			・ 300×300	・ コンポジションビニル床タイル	半硬質	・ 2.0		
3. ビニル幅木 (19.2.2)		高さ	・ 図示 (図面番号:)	・ 60mm				
		厚さ	・ 図示 (図面番号:)	・ 1.5mm以上				
4. 施工 (19.2.3)		下地	・ モルタル ・ セルフレベリング ・ ()	・ 木造				
		継目	・ 突付け ・ 熱溶接工法					
5. カーペット敷き (19.3.3) (19.3.4) (表19.3.1) (表19.3.2)		種類	色柄	パイル形状	パイル長・総厚	工法		
		・ タフテッドカーペット	・ 無地 ・ 柄物	・ ループ ・ カット	パイル長 ・ 5~7mm ・ 4~6mm	・ グリッパー ・ 全面接着		
6. 合成樹脂塗床 (19.4.2) (表19.4.4) (表19.4.5) ~ (表19.4.8)		・ ニードルパンチカーペット	・ 無地 ・ 柄物		総厚さ ・ ()	・ 全面接着		
	・ タイルカーペット	・ 無地 ・ 柄物	・ ループ ・ カット	総厚さ、サイズ ・ 6.5mm ・ 500角	・ 全面接着			
7. 弾性ウレタン塗床材 (JISK 5970) (19.4.4) (表19.4.4) (表19.4.5) ~ (表19.4.8)	・ 弾性ウレタン塗床材 (JISK 5970)	・ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ						
	・ エポキシ樹脂塗床材 (JISK 5970)	・ 薄膜流し展べ仕上げ ・ 厚膜流し展べ仕上げ (・ 平滑 ・ 防滑) ・ 樹脂モルタル仕上げ (・ 平滑 ・ 防滑) ・ 塗膜型塗床材仕上げ						

18 内 装 工 事	8. フローリング張り (19.5.2) (19.5.4) (19.5.5) (19.5.6) (19.5.7)	材料	・ 単層フローリング ・ フローリングボード (1等) ・ モダンカーペット (1等) ・ 複合フローリング ・ 釘留め工法	
	9. 畳敷き (19.6.2) (表19.6.1)	種別	・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ D種の畳床TK- (・ I ・ II ・ III ・ IV)	
		現場塗装	仕上げ ・ ウレタン樹脂ワニス塗り (・ A種 ・ B種) ・ オイルステイン塗りのうえワックス塗り ・ 生地のままワックス塗り ・ ()	
	10. セッコウボード (19.7.1) (表19.7.1) (19.7.3) (表19.7.4) (表19.7.5)	材種	種別	厚さ (mm)
		・ セッコウボード	壁 天井	・ 9.5 (準不燃) ・ 12.5 (不燃) ・ 9.5 (準不燃)
	11. ロックウール化粧吸音板 (19.7.3) (表19.7.4) (表19.7.5)	・ ロックウール化粧吸音板	・ 普通 ・ 立体模様	・ 9 ・ () ・ ()
		・ けい酸カルシウム板	・ タイプ II 0.8FK	・ 6.0 (不燃) ・ 8.0 (不燃)
	12. 化粧ケイ酸カルシウム板 (19.7.3) (表19.7.4) (表19.7.5)	・ 化粧ケイ酸カルシウム板	・ UVコート仕上げ	・ 6.0 (不燃)
		合板張り	・ 普通合板 表面の樹種 ・ 生地のまま ・ (透明塗料塗り)ラワン ・ (不透明塗料塗り)しな ・ () 品質 () 厚さ (mm) 接着の程度 ・ 1類 (潤滑箇所) ・ () m 防虫処理 ・ () ・ 天然化粧合板 化粧板の種類 ・ () 厚さ (mm) 接着の程度 ・ 1類 (潤滑箇所) ・ () m 防虫処理 ・ () ・ 特殊加工合板 化粧加工の方法 ・ オーバーレイ ・ プリント ・ 塗装 ・ () 表面性能 () 厚さ (mm) 接着の程度 ・ 1類 (潤滑箇所) ・ () m	



11. 吸音材張り (19.7.2)

遮音シール材
・適用する(・シーリング材 ・ジョイコンパウンド)
合板類の張付け ・B種 ・A種
せっこうボードの目地工法
・継目処理 ・突付け ・目透し
下地 ・軽量鉄骨 ・木造 ・()

材種	種別	厚さ(mm)	工法
・吸音用グラスウールボード ・グラスウール成型板	・2号32K	・25	・グラスクロス19メッシュ張り(小口共) 化粧ボタン止め(タテ、ヨコ共@300程度)

特定フロンを含まないもの

施工箇所	材料	防火性能	品質

素地ごしらえ
せっこうボード面 ・B種 ・A種
コンクリート面 ・B種 ・A種
モルタル・プラスチック面 ・B種 ・A種

13. 断熱材 (19.9.2)

施工箇所	材種	種類	厚さ(mm)
	・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材		
	・押出法ポリスチレンフォーム断熱材(スキンなし)		
	・硬質ウレタンフォーム断熱材		
	・フェノールフォーム断熱材		
	・ビーズ法ポリスチレンフォーム保温材		
	・押出法ポリスチレンフォーム保温材(スキンなし)		
	・硬質ウレタンフォーム保温材		
	・フェノールフォーム保温材(3種2号を除く)		
	・繊維系断熱材	グラスウール4K	50

1. トイレブース (20.2.5)

表面仕上 ・メラミン樹脂系化粧板
・ポリエステル樹脂系化粧板
幅木 ・図示(図面番号:)
扉小口の材質 ・ステンレス製 ・アルミ製

5. 階段滑り止め (20.2.6)

・ステンレスSUS304製 ビニルタイヤ入り(両端フラットエンド付き)
・()
寸法 ・約35mm ・図示(図面番号:)
工法 ・接着工法 ・埋込み工法

6. 黒板及びホワイトボード (20.2.8)

黒板の種類 ・焼付け ・()
黒板の色 ・緑 ・()

8. 表示 (20.2.10)

区分	材質	厚さ	寸法	印刷等の種類	取付方法
・室名札 ・()	・アクリル ・()	・5mm	・()	・シルクスクリーン印刷 ・()	・()
・案内板 ・()	・アクリル ・()	・5mm	・()	・シルクスクリーン印刷 ・()	・()

・衝突防止表示 図示(図面番号:)
・非常用進入口表示 図示(図面番号:)

10. プラインド (20.2.12)

形式	スラット	開閉方式	スラットの成形幅(mm)	ヘッドボックス・ボトムレールの種類
・横形 プラインド	・アルミニウム合金 ・()	・ギヤ式 ・コード式 ・(コードとボトム)	・25 ・()	・鋼製 ・()
・縦形 プラインド	・アルミニウム合金 ・()	・ギヤ式 ・コード式 ・()	・80 ・100 ・()	・()

12. カーテン及びカーテンレール (20.2.14)

カーテンの形式等

きれ地	ひだの種類	形式	開閉操作
・ドレープ ・レース ・図示()	・フランスひだ ・箱ひだ ・つまひだ ・ブレーンひだ ・片ひだ	・片引き ・引分け	・手引き ・ひも引き ・電動
・暗幕(遮光()級)	・()	・()	・()

カーテンレール ・アルミ製 ・ステンレス製
強さ区分 ・10-90 ・()
形状 ・シングル ・ダブル
断面形状 ・角形 ・C形 ・D形

20 外構工事

1. フェンス

・ネットフェンス ・網材種(・ビニル被覆鉄線 ・())
・メッシュフェンス
網材種(・樹脂皮膜 ・工場塗装 ・())
・格子フェンス
網材種(・樹脂皮膜 ・工場塗装 ・())

②排水管 (21.2.1) (表21.2.1)

排水管用材料

材種	管の種類	呼び径	備考
・硬質ポリ塩化ビニル管	VU	100	

3. 排水樹等 (21.2.1)

・排水樹
種類及び寸法 ・図示
・適用荷重()
・排水溝
種類及び寸法 ・図示

・ふた/グレーチングの種類 ・図示

材質	用途	適用荷重	メインパーピッチ	備考

4. 舗装工事

・路床 (22.2.2) (表22.2.2) (22.2.4) (22.2.5)

路床の材料(厚さは図示(図面番号:))
・遮断層 ・川砂 ・海砂又は良質な山砂
・凍上抑制層 ・切込み砂利 ・砂 ・()
・フィルター層 ・砂
路床安定処理 ・行う
添加材料による安定処理
種類 ・普通ポルトランドセメント
・フライアッシュセメントB種 ・生石灰()号
・消石灰()号
添加量()kg/m³(目標CBR ・5以上 ・())

・路盤 (22.3.2) (表22.3.1) (22.3.3) (表22.3.2) (22.3.5)

舗装の種類	舗装の厚さ(mm) 車道部 歩道部	路盤材料
・アスファルト舗装	・図示	・再生クラッシャーラン
・カラー舗装	・()・()	・クラッシャーラン
・透水性アスファルト舗装	・()・()	鉄鋼スラグ
・インターロッキングブロック舗装	・()・()	・クラッシャーラン ・()
・()	・()・()	

・アスファルト舗装 (22.4.2)~ (表22.4.1)~ (表22.4.6)

舗装厚 ・図示
・A-3-10 ・()
表層及び基層の種類
・加熱アスファルト混合物 ・再生加熱アスファルト混合物
路盤材料
・クラッシャーラン ・再生材クラッシャーラン ・()
シールコートの施工 ・行う(適用範囲 図示(図面番号:))
試験 ・アスファルト混合材等の抽出試験

③コンクリート舗装 (22.5.2)~ (22.5.6)

早強セメント ④使用しない ⑤使用する
注入目地材料 ・低弾性タイプ ・高弾性タイプ
目地 ⑥種類(エラストイト) ⑦間隔(約@4000)
構造 ・標準仕様書[図22.5.1] ・()

・カラー舗装 (22.6.2) (22.6.3)

種類
・加熱系 構成及び厚さ()
混合物 ・アスファルト ・石油樹脂系
添加材 ・着色骨材 ・自然石
・常温系
着色部下部 ・アスファルト舗装 ・コンクリート舗装

・透水性アスファルト舗装 (22.7.2) (表22.7.1)

舗装材料及び厚さ
ストレートアスファルト
厚さ(mm) ・() ・図示(図面番号:)

5. 砂利敷き (22.9.2)

・通路部 ・A種 ・B種 ・()
・建物周囲 ・B種 ・A種 ・()

⑥植樹 (23.3.2) (23.3.3)

樹木の種類 ⑧図示(図面番号:)
寸法 ⑧図示(図面番号:)
株立数 ⑧図示(図面番号:)
刈込み ・あり ⑨なし
支柱材
・丸太(防腐処理方法 ・加圧式防腐処理方法 ・())
⑩(必要により簡易支柱のみ設置)
支柱形式 ・鳥居形 ・ハツ掛け系 ・()
幹巻き用材料 ・幹巻き用テープ ・わら ・もこ
引渡しの日から ⑪1年 ・()

新植樹木の
枯補償 (23.3.4)

7. 芝 (23.4.2) (23.4.3)

種類 ・コウライシバ ・ノシバ ・()

解体工事特記仕様書

I. 工事名称 薦原分団葛尾地区消防ポンプ庫 解体及び新築工事

II. 工事概要

1 工事場所 三重県名張市葛尾字道垣内154番

2 工事内容	棟名称	消防ポンプ庫	火の見櫓	
	構造	1階CB造	S造	
	建築面積	10.80 m ²	- m ²	
	延べ面積	10.80 m ²	- m ²	
	工事項目	解体工事	解体工事	

棟名称	棟名称			
構造	構造			
建築面積	建築面積			
延べ面積	延べ面積			
工事項目	工事項目			

III. 解体工事仕様

1 共通仕様

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、「三重県公共工事共通仕様書（令和3年4月改定版）」及び「建築物解体工事共通仕様書（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修、平成31年版）」（以下、「解共仕」という。）による。

2 特記仕様

- 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
- 特記事項は、○の付いたものを適用する。
- 項目欄に記載の（ ）内表示番号は解共仕の該当項目等を示す。

章	項目	特記事項																		
1 一般共通事項	① 適用基準等	産業廃棄物については、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（以下「建設リサイクル法」という。）及び「三重県建設副産物処理基準」に基づき適正に処理すること。																		
	② 発生材の処理等 (1.3.10) (4.4.1) (5.4.1)	<p>○ 本工事は、特定建設資材を用いた建築物等に係る解体工事等であって、その規模が、建設リサイクル法施行令で定める建設工事の規模に関する基準以上の工事であるため、建設リサイクル法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。</p> <p>工事契約後に明らかになったやむをえない事情により、予定した条件により難しい場合は、監督員と協議するものとする。</p> <p>分別解体等の方法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工程</th> <th>作業の有無</th> <th>分別解体等の方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>建築設備・内装材等</td> <td>○ 有 ・ 無</td> <td>・ 手作業 ○ 手作業、機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>屋根ふき材</td> <td>○ 有 ・ 無</td> <td>・ 手作業 ○ 手作業、機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>外装材・上部構造部分</td> <td>○ 有 ・ 無</td> <td>・ 手作業 ○ 手作業、機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>基礎・基礎ぐい</td> <td>○ 有 ・ 無</td> <td>・ 手作業 ○ 手作業、機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>その他 ()</td> <td>・ 有 ・ 無</td> <td>・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用</td> </tr> </tbody> </table> <p>引き渡しを要するもの ・ 無 ・ 金属類 ○ PCB含有物 ・ () 特別管理産業廃棄物 ・ 有 () 処理方法 () 木材の縮減 ・ 実施する (最も近い再資源化施設までの距離が50kmを超える場合に限る) 再資源化し現場で利用する建設廃棄物 ・ () 再資源化を図るもの ○ コンクリート塊 ・ アスファルトコンクリート塊 ・ 建設発生木材 ○ 金属類 ・ 小形二次電池 ○ 蛍光灯及びHIDランプ ・ 硬質ポリ塩化ビニル管及び継手 ・ ガラス</p>	工程	作業の有無	分別解体等の方法	建築設備・内装材等	○ 有 ・ 無	・ 手作業 ○ 手作業、機械作業の併用	屋根ふき材	○ 有 ・ 無	・ 手作業 ○ 手作業、機械作業の併用	外装材・上部構造部分	○ 有 ・ 無	・ 手作業 ○ 手作業、機械作業の併用	基礎・基礎ぐい	○ 有 ・ 無	・ 手作業 ○ 手作業、機械作業の併用	その他 ()	・ 有 ・ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用
工程	作業の有無	分別解体等の方法																		
建築設備・内装材等	○ 有 ・ 無	・ 手作業 ○ 手作業、機械作業の併用																		
屋根ふき材	○ 有 ・ 無	・ 手作業 ○ 手作業、機械作業の併用																		
外装材・上部構造部分	○ 有 ・ 無	・ 手作業 ○ 手作業、機械作業の併用																		
基礎・基礎ぐい	○ 有 ・ 無	・ 手作業 ○ 手作業、機械作業の併用																		
その他 ()	・ 有 ・ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用																		

③ 建設副産物情報交換システムの利用	<p>引渡しを要するもの、再資源化を図るものについては調査を作成し、監督員へ提出すること。</p> <p>引渡しを要するもの以外のものは、全て構外に搬出し、建設リサイクル法、資源の有効利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令によるほか、「建設副産物適正処理推進要綱」に従い適切に処理し、監督員に報告すること。（マニフェストA、B2、D票、E票を提示すること。）</p> <p>受注者は受注時において延べ面積が80㎡以上の解体工事については、工事着手前及び工事完了後に「再生資源利用計画書（実施書）」、「再生資源利用促進計画書（実施書）」を監督員に提出すること。</p> <p>また、工事着手前にJACICが運営する「建設副産物情報交換システム」へデータを入力し、工事完了時にはシステムへ実績報告を行うこと。</p>
4 三重県 産業廃棄物税	<p>本工事には産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となった場合には、完成年度の翌年度の4月1日から8月31日までの間に、別に定める様式に産業廃棄物税納付証明書添付して、当該工事の発注者に対して、支払請求を行うことができる。</p> <p>なお、この期間を超えて請求することはできない。</p> <p>また、産業廃棄物処理集計表（マニフェストの数量の集計）を超えて請求することはできない。</p>
⑤ 工事実績情報の登録 (1.1.4)	<p>○ 適用する（請負金額が500万円以上の場合） 受注時、変更時及び完了時にあらかじめ監督職員の確認を受け、登録手続きを行い、工事カルテの受領書を、監督員に提出すること。</p>
⑥ 電気保安技術者 (1.3.3)	<p>○ 適用する</p>
⑦ 疑義	<p>設計図書に明記のない場合、または、疑義が生じた場合は、監督員と協議し、その指示を受けてから施工すること。</p>
⑧ 施工条件 (1.3.5)	<p>○ 監督員と協議し決定する。</p> <p>施工可能日 ○ 指定なし ・ 一部に土、日曜日、祝祭日施工あり 施工可能時間帯 ・ 指定なし ○ 9時～17時 部位別の施工順序 ・ 指定なし ○ (建屋 → 塔屋) 工事車両の駐車場 ・ 指定なし ○ 図示 (図面番号：A-08) 資機材置場 ・ 指定なし ○ 図示 (図面番号：A-08)</p>
9 施工数量調査 (1.4.2)	<p>調査範囲 ・ 指定なし ・ 図示 (図面番号：) 調査方法 ・ 指定なし ・ 図示 (図面番号：)</p>
10 部分引渡し、部分使用	<p>・ 部分引き渡しあり ・ 部分使用あり 指定部分 () 時期 (平成 年 月 日 ~)</p>
11 埋蔵文化財調査	<p>埋蔵文化財の調査が行われる場合は協力すること。 ・ 発掘調査等の実施あり ・ 発見された場合、発掘調査等の実施あり</p>
⑫ 官公庁手続	<p>工事に必要な手続きは受注者が速やかに処理し、この手続きに関する諸費用は受注者負担とする。</p>
⑬ 危険災害の防止	<p>1) 工事期間中、現場内入場者、近隣居住者および周辺建物に危害を与えぬよう注意すること。万一、紛争が生じた場合は、受注者が誠意をもって解決すること。 なお、近隣等との折衝は、あらかじめその概要を監督員に報告し、その経過については記録し、遅滞なく監督員に報告する。</p> <p>2) 重機搬出時、発生材搬出時、仮設材搬出時には、交通整理のための誘導員を配置すること。</p>
⑭ 騒音・振動の防止	<p>低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規定に基づき指定された建設機械の使用に努めること。</p>
⑮ 工事進入路	<p>重機搬入、産業廃棄物搬出経路については事前に施工計画書を提出し、監督員の承認を得ること。また、工事現場から搬出入する土砂により工事用進入路を汚した場合は、速やかに清掃を行うこと。</p>
⑯ 工事写真	<p>1) 着工前：解体建物・敷地周辺・付近道路・工作物の撮影を行うこと。 2) 工事中：随時撮影を行うほか、監督員の指示による。</p>
⑰ 完成写真	<p>1) デジタルカメラで撮影し、全てL版相当サイズで印刷する。 (A4版用紙に1ページあたり3枚) 2) 全景写真のほか、監督員の指示による。</p>

⑱ 事故の発生時	<p>工事施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員に通報するとともに、所定の様式により、工事事故報告書を監督員が指示する期日までに、提出すること。</p> <p>また、事故発生後の措置について監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取、調査、検証等に協力すること。</p>
⑲ 提出書類	<p>施工計画書、仮設計画書、工事写真、工事日報、その他監督員の指示するものとする。</p>
⑳ 産業廃棄物	<p>施工計画書には、工事現場から産業廃棄物処理場までの運搬経路、産業廃棄物処理委託契約書の写し、産業廃棄物収集運搬業者及び産業廃棄物処理業者の許可証の写し、収集運搬車両等一覧表、その他監督員の指示するものを添付すること。</p>
㉑ 下請次数制限及び県内（管内）企業優先使用	<p>本工事における下請の次数は、2次（建築一式工事は3次）までとする。なお、その次数を超える下請契約を締結する場合は、下請契約締結前に書面により発注者の承諾を得ること。</p> <p>本工事において、下請契約を締結する場合は、当該契約の相手方（2次以下の請負人を含む）を三重県内に本店（建設業法において規定する主たる営業所を含む）を有する者の中から選定するように努めること。また、工事現場を所管する建設事務所管内又は隣接する建設事務所管内に本店（建設業法において規定する主たる営業所を含む）を有する者を優先して選定するよう努めること。なお、県外企業を下請契約の相手方に選定する場合は、下請契約締結前に書面により発注者に報告を行うこと。</p>
㉒ 不当介入を受けた場合の措置	<p>暴力団員等による不当介入（三重県公共工事等暴力団等排除措置要綱第2条第1項第14号）を受けた場合の措置について</p> <p>(1) 受注者は、暴力団員等（三重県公共工事等暴力団等排除措置要綱第2条第1項第12号）による不当介入を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、不ともに、不当介入があった時点で速やかに三重県警察本部に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行うこと。</p> <p>(2) (1)により三重県警察本部に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行った場合には、速やかに発注者に報告すること。発注者への報告は必ず文書で行うこと。</p> <p>(3) 受注者は、暴力団員等により不当介入を受けたことから、工程に遅れが生じる等の被害が生じた場合は、発注者と協議を行うこと。</p>
23 主任技術者又は監理技術者の専任を要しない期間	<p>1) 現場施工に着手するまでの期間 請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間）については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、現場施工に着手する日については、請負契約締結後、監督員との打合せにおいて定める。</p> <p>2) 検査終了後の期間 検査完成後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。）、事務手続、後片付け等のみが残っている期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、検査が終了した日は、発注者が工事の完成を確認した旨、受注者に通知した日とする。</p>
㉔ 工事の一時中止	<p>工事の一時中止の取り扱いについては「工事の一時中止のガイドライン（案）」（平成27年6月国土交通省）による。</p> <p>三重県建設工事契約書第20条の規定により工事の一時中止の通知を受けた場合は、中止期間中における工事現場の管理に関する計画（以下「基本計画書」という。）を発注者に提出し、承諾を受けるものとする。</p> <p>なお、基本計画書には、中止時点における工事の出来形、職員の体制、労務者数、搬入材料及び建設機械器具等の確認に関すること、中止に伴う工事現場の体制の縮小と再開に関すること及び工事現場の維持・管理に関する基本的事項を明らかにする。</p> <p>工事の施工を一時中止する場合は、工事の続行に備え工事現場を保全すること。</p>
㉕ 不正軽油の使用の禁止	<p>1) 一般事項 県工事の施工にあたり、工事現場で使用し、又は使用させる車両（資機材等の搬入車両を含む。）並びに建設機械等の燃料として、不正軽油（地方税法第144条の32（製造等の承認を受ける義務等）の規定に違反する燃料をいう。）を使用してはならない。</p> <p>2) 調査の協力 受注者は、県が使用燃料の採油調査を行う場合には、その調査に協力しなければならない。また、受注者は下請負者等に同調査に協力するよう管理及び監督しなければならない。</p> <p>3) 是正措置 受注者は、不正軽油の使用が判明した場合は、速やかに是正措置を講じなければならない。また、受注者は、下請負者等に不正軽油の使用が判明した場合は、速やかに是正措置を講じるよう管理及び監督しなければならない。</p>
㉖ 地下埋設物の確認	<p>中間検査又は完成検査において、地下埋設物の確認を受けること。 確認時期は、監督員と協議し決定する。</p>
27 技術検査 (1.6.2)	<p>中間技術検査 実施回数 ・ () 回 実施する段階 ・ () 実施方法等については、監督員の指示による。</p>

章	項目	特記事項																																																								
1 一般 共通 事項	<p>㉔ 社会保険等未入対策</p> <p>29 主任技術者の専任及び交通誘導警備員の緩和について</p> <p>㉕ 現場での安全確保（自主施工の原則）</p>	<p>適用除外でないにも関わらず、社会保険等に未加入である建設業者を下請負人としてはならない。 受注者は、施工体制台帳・再下請負通知書の「健康保険等の加入状況」欄により下請業者が社会保険等に加入しているかどうかを確認すること。また、発注者が加入状況を証明する書類の提出又は提示を求めた場合、速やかに対応すること。</p> <p>「主任技術者等の緩和措置について（平成29年12月26日付け県土第28-86号）」を適用する。</p> <p>受注者は、工事中の適切な安全確保の措置等の一切の手段について、自らの責任において定め、工事を実施すること。 設計図書に明示された施工条件と工事現場が一致せず、安全確保のために指定仮設の変更や計上が必要な場合は、監督員と協議を行い、指示を受けた後、受注者として適切な安全確保の措置を講じたいうで、工事を実施すること。</p>																																																								
2 仮 設 工 事	<p>① 仮設トイレ</p> <p>② 仮囲い</p> <p>3 監督員事務所 (2.3.1)</p> <p>④ 工事用水</p> <p>⑤ 工事用電力</p> <p>⑥ 騒音・粉じん等の対策 (2.2.1)</p> <p>⑦ 仮設鉄板敷</p> <p>⑧ 使用重機</p> <p>⑨ 散水養生</p> <p>⑩ 足場</p>	<p>構内既存の施設 ・ 利用できる ○ 利用できない</p> <p>位置 ○ 図示（図面番号： A-25 ） ・ その他（ ） 仕様 ○ 図示（図面番号： A-25 ） ・ 成形鋼板H=3000 ・ 成形鋼板H=2000 ・ その他（ ）</p> <p>・ 設置する。 監督員事務所の規模（単位：m）</p> <table border="1"> <tr> <th>適用規模</th> <th>10程度</th> <th>20程度</th> <th>35程度</th> <th>65程度</th> <th>100程度</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>監督職員事務所の仕上げ</p> <table border="1"> <tr> <th>部位等</th> <th>仕 上 げ</th> </tr> <tr> <td>床</td> <td>合板張り又はビニール床シート張り</td> </tr> <tr> <td>内壁・天井</td> <td>合板張り又はせっこうボード張り、合成樹脂エマルジョン塗リ</td> </tr> <tr> <td>屋根</td> <td>溶融亜鉛めっき鋼板又は鉄板張り、調合ペイント塗リ</td> </tr> </table> <p>備品等の設置</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>機・いす</th> <th>書棚</th> <th>黒板・白板</th> <th>掛時計</th> <th>温度計</th> </tr> <tr> <td>数量</td> <td>組</td> <td>台</td> <td>個</td> <td>個</td> <td>個</td> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>長靴</th> <th>雨合羽</th> <th>保護帽</th> <th>懐中電灯</th> <th>衣類ロッカー</th> </tr> <tr> <td>数量</td> <td>足</td> <td>着</td> <td>個</td> <td>個</td> <td>台</td> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>消火器</th> <th>掃除具</th> <th>受注者加入電話・FAX</th> <th>インターネット</th> <th>冷暖房機器</th> </tr> <tr> <td>数量</td> <td>個</td> <td>個</td> <td>台</td> <td>台</td> <td>台</td> </tr> </table> <p>構内既存の施設 ○ 利用できる ○ 有償 ・ 無償 ） ・ 利用できない 取出位置 ・ 図示（図面番号： ）</p> <p>構内既存の施設 ○ 利用できる ○ 有償 ・ 無償 ） ・ 利用できない 本工事で新規受電または既設電気回路に接続し、通電した時から、工事に起因する電力料金は、本工事に含まれる。</p> <p>○ 設ける ・ 防音パネル ○ 防音シート ・ 養生シート 適用範囲、高さ等 図示（図面番号： ） ・ 設けない</p> <p>・ 工事用進入路の養生として、鉄板(t=22)を敷き、養生を行うこと。 位置 ○ 図示（図面番号： ）</p> <p>「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規定」に基づき指定された建設機械の使用に努めること。</p> <p>解体作業時には粉塵等の飛散を防ぐため、散水養生を行うこと。</p> <p>設置する足場については、「手すり先行工法等に関するガイドライン（厚生労働省平成21年4月）」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組み立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。</p>	適用規模	10程度	20程度	35程度	65程度	100程度							部位等	仕 上 げ	床	合板張り又はビニール床シート張り	内壁・天井	合板張り又はせっこうボード張り、合成樹脂エマルジョン塗リ	屋根	溶融亜鉛めっき鋼板又は鉄板張り、調合ペイント塗リ	種類	機・いす	書棚	黒板・白板	掛時計	温度計	数量	組	台	個	個	個	種類	長靴	雨合羽	保護帽	懐中電灯	衣類ロッカー	数量	足	着	個	個	台	種類	消火器	掃除具	受注者加入電話・FAX	インターネット	冷暖房機器	数量	個	個	台	台	台
適用規模	10程度	20程度	35程度	65程度	100程度																																																					
部位等	仕 上 げ																																																									
床	合板張り又はビニール床シート張り																																																									
内壁・天井	合板張り又はせっこうボード張り、合成樹脂エマルジョン塗リ																																																									
屋根	溶融亜鉛めっき鋼板又は鉄板張り、調合ペイント塗リ																																																									
種類	機・いす	書棚	黒板・白板	掛時計	温度計																																																					
数量	組	台	個	個	個																																																					
種類	長靴	雨合羽	保護帽	懐中電灯	衣類ロッカー																																																					
数量	足	着	個	個	台																																																					
種類	消火器	掃除具	受注者加入電話・FAX	インターネット	冷暖房機器																																																					
数量	個	個	台	台	台																																																					

	<p>⑪ 損傷を与えた場合の対応</p>	<p>解体工事により解体建築物以外の建築物や舗装、樹等に損傷を与えた場合には、監督員に報告するとともに、受注者の責任において原形復旧を行うこと。</p>										
解 体 施 工	<p>③ 1 浄化槽、排水槽等 (3.2.1)</p> <p>2 杭の撤去 (3.9.2)</p>	<p>汚水、汚物の回収、洗浄、消毒等 ・ 行う ・ 行わない</p> <p>杭の撤去 ・ 行う ・ 行わない</p> <p>解体方法 ・ 引抜き工法（ ・ 振動 ・ ケーシング ・ （ ） ） ・ 破砕 ・ 図示（図面番号： ） 引き抜いた杭の処理 ・ 図示（図面番号： ）</p>										
	<p>③ 樹木等 (3.11.1)</p>	<p>樹木の伐採根及び移植 ○ 行う 図示（図面番号： A-25 ） ・ 行わない</p>										
	<p>④ 地下埋設物及び埋設配管 (3.12.1)</p> <p>⑤ 解体撤去後の整地 (3.13.1)</p>	<p>地下埋設物及び埋設配管の解体 ○ 行う 図示（図面番号： ） ・ 行わない</p> <p>・ 砕石(C-40)にて周辺地盤面まで埋め戻すこと。 ・ 山砂により埋戻後、再生クラッシュラン(RC-40)にて周辺地盤面まで敷均しすること。 ・ 山砂にて周辺地盤面まで埋め戻すこと。 ○ 現状敷き均し（状況に応じて砕石敷）</p>										
建 設 廃 棄 物 の 処 理	<p>④ 1 産業廃棄物 広域認定制度 (4.4.2)</p> <p>② 最終処分 (4.4.4)</p> <p>③ 処理に注意を要する建設廃棄物 (4.5.1)</p>	<p>特例による広域の処理 ・ 図示（図面番号： ）</p> <p>最終処分する廃棄物 ○（がれき類、金属くず） 最終処分場 ○（安定型）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>建設廃棄物の種類</th> <th>処理方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ CCA処理木材</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ (1)アスベスト含有石膏ボード</td> <td>埋立処分</td> </tr> <tr> <td>・ (2)ひ素、カドミウム含有石膏ボード</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ (1)(2)以外の石膏ボード</td> <td>・ 埋立処分（管理型最終処分場） ・ 再資源化</td> </tr> </tbody> </table>	建設廃棄物の種類	処理方法	・ CCA処理木材		・ (1)アスベスト含有石膏ボード	埋立処分	・ (2)ひ素、カドミウム含有石膏ボード		・ (1)(2)以外の石膏ボード	・ 埋立処分（管理型最終処分場） ・ 再資源化
	建設廃棄物の種類	処理方法										
	・ CCA処理木材											
・ (1)アスベスト含有石膏ボード	埋立処分											
・ (2)ひ素、カドミウム含有石膏ボード												
・ (1)(2)以外の石膏ボード	・ 埋立処分（管理型最終処分場） ・ 再資源化											
<p>4 水銀使用製品産業廃棄物</p> <p>5 水銀含有ばいじん等</p>	<p>・ 蛍光灯ランプ ・ HIDランプ ・ （ ） 「水銀廃棄物ガイドライン」（平成29年6月 環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部）に基づき適切に処理すること。</p> <p>・ 燃え殻 ・ 鉱さい ・ ばいじん ・ 汚泥 ・ 廃酸 ・ 廃アルカリ 「水銀廃棄物ガイドライン」（平成29年6月 環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部）に基づき適切に処理すること。</p>											
<p>5 特別管理産業廃棄物の処理</p> <p>1 施工調査 (5.1.2)</p> <p>2 PCBを含む機器類 (5.4.3)</p> <p>(5.4.4)</p> <p>3 廃油、廃酸、 廃アルカリ の処理の有無 (5.4.5)</p> <p>(5.4.6)</p>	<p>特別管理産業廃棄物の分析調査 ・ 行う 調査範囲 図示（図面番号： ） ・ 行わない</p> <p>微量PCB、PCB含有シーリング材の有無確認 ・ 行う 調査範囲 図示（図面番号： ） ・ 行わない</p> <p>・ 廃油 適用箇所 図示（図面番号： ） ・ 廃酸 適用箇所 図示（図面番号： ） ・ 廃アルカリ 適用箇所 図示（図面番号： ）</p>											

ア ス ベ ス ト 含 有 建 材 の 除 去 及 び 処 理	<p>4 ダイオキシン類 (5.4.7)</p> <p>5 水銀を含む特別管理産業廃棄物</p> <p>6 廃水銀等</p>	<p>サンプリング調査 ・ 行う 調査範囲 図示（図面番号： ） ・ 行わない</p> <p>解体方法及び処分方法 ・ （ ） ・ 図示（図面番号： ）</p> <p>・ 鉱さい ・ ばいじん ・ 汚泥 ・ 廃酸 ・ 廃アルカリ 「水銀廃棄物ガイドライン」（平成29年6月 環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部）に基づき適切に処理すること。</p> <p>・ 廃水銀（特定施設において生じたもの） ・ 廃水銀化合物 ・ 廃水銀（水銀使用製品が産業廃棄物となったもの等から回収したもの） 「水銀廃棄物ガイドライン」（平成29年6月 環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部）に基づき適切に処理すること。</p>											
	<p>6</p> <p>1 適用範囲 (6.1.1)</p> <p>② 施工調査 (6.1.2)</p> <p>3 アスベスト 粉じん濃度測定 (6.1.3)</p>	<p>建築設備に使用されているアスベスト含有材の処理 ・ 行う 適用箇所 図示（図面番号： ） ・ 行わない</p> <p>分析によるアスベスト含有の調査 ・ 行う 調査範囲 図示（図面番号： ） ○ 行わない</p> <p>アスベスト粉じん濃度の測定時期、測定場所及び測定点数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>測定時期</th> <th>測定場所</th> <th>測定点数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>処理作業中</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>処理作業後</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	測定時期	測定場所	測定点数	備考	処理作業中				処理作業後		
測定時期	測定場所	測定点数	備考										
処理作業中													
処理作業後													
特 殊 な 建 設 副 産 物 の 処 理	<p>4 アスベスト含有吹付け材の除去・処分 (6.3.2)</p> <p>(6.3.3)</p> <p>5 アスベスト含有保温材等 (6.4.4)</p> <p>6 アスベスト含有成形板 (6.5.3)</p> <p>⑦ アスベスト含有成形材等</p> <p>8 アスベスト含有仕上塗材</p>	<p>除去工法 ・ 共通仕様書[6.3.2](a) ・ 図示（図面番号： ） 除去したアスベスト含有吹付け材等の飛散防止措置 ・ 固型化 ・ 湿潤化 除去したアスベスト含有吹付け材等の処分 ・ 埋立処分（管理型最終処分場） ・ 中間処理（溶融又は無害化処理）</p> <p>除去したアスベスト含有保温材等の処分 ・ 埋立処分（管理型最終処分場） ・ 中間処理（溶融又は無害化処理）</p> <p>処分方法（石綿含有せっこうボードを除く） ・ 埋立処分（管理型最終処分場） ・ 中間処理（溶融又は無害化処理）</p> <p>処分方法 ○ 埋立処分（管理型最終処分場） ・ 中間処理（溶融又は無害化処理）</p> <p>除去工法 ・ 図示（図面番号： ） 除去したアスベスト含有仕上塗材等の処分 ・ 埋立処分（管理型最終処分場） ・ 中間処理（溶融又は無害化処理） ※「石綿含有仕上塗材の除去等作業における石綿飛散防止対策について」（平成29年5月30日付け 環水大発第1705301号）及び「建築物の改修・解体時における石綿含有建築用仕上塗材からの石綿粉じん飛散防止処理技術指針」（平成28年4月28日 国立研究開発法人建築研究所）に基づき適切に処理すること。</p>											
	<p>1 施工調査 (7.1.3)</p> <p>2 特殊な建設副産物の種類 (7.3.1)</p>	<p>分析調査 ・ 行う 調査範囲 図示（図面番号： ） ・ 行わない</p> <p>特殊な建設副産物の種類等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>適用箇所</th> <th>回収及び処分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ フロン</td> <td></td> <td>・ （ ）</td> </tr> <tr> <td>・ ハロン</td> <td></td> <td>・ （ ）</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ （ ）</td> </tr> </tbody> </table>	種類	適用箇所	回収及び処分	・ フロン		・ （ ）	・ ハロン		・ （ ）		
種類	適用箇所	回収及び処分											
・ フロン		・ （ ）											
・ ハロン		・ （ ）											
		・ （ ）											


特 記	<p>工事名 令和5年度（消防）第20号 蕨原分団葛尾地区消防ポンプ庫 解体及び新築工事</p>	<p>図名 解体工事特記仕様書 2</p>	<p>縮尺 -</p>	<p>図面番号 A-07</p>	<p>承認</p>	<p>管理建築士 1級 256630号 萱室 敦司</p>	<p>印</p>
	<p>白鳳アーキテック 株式会社</p>						

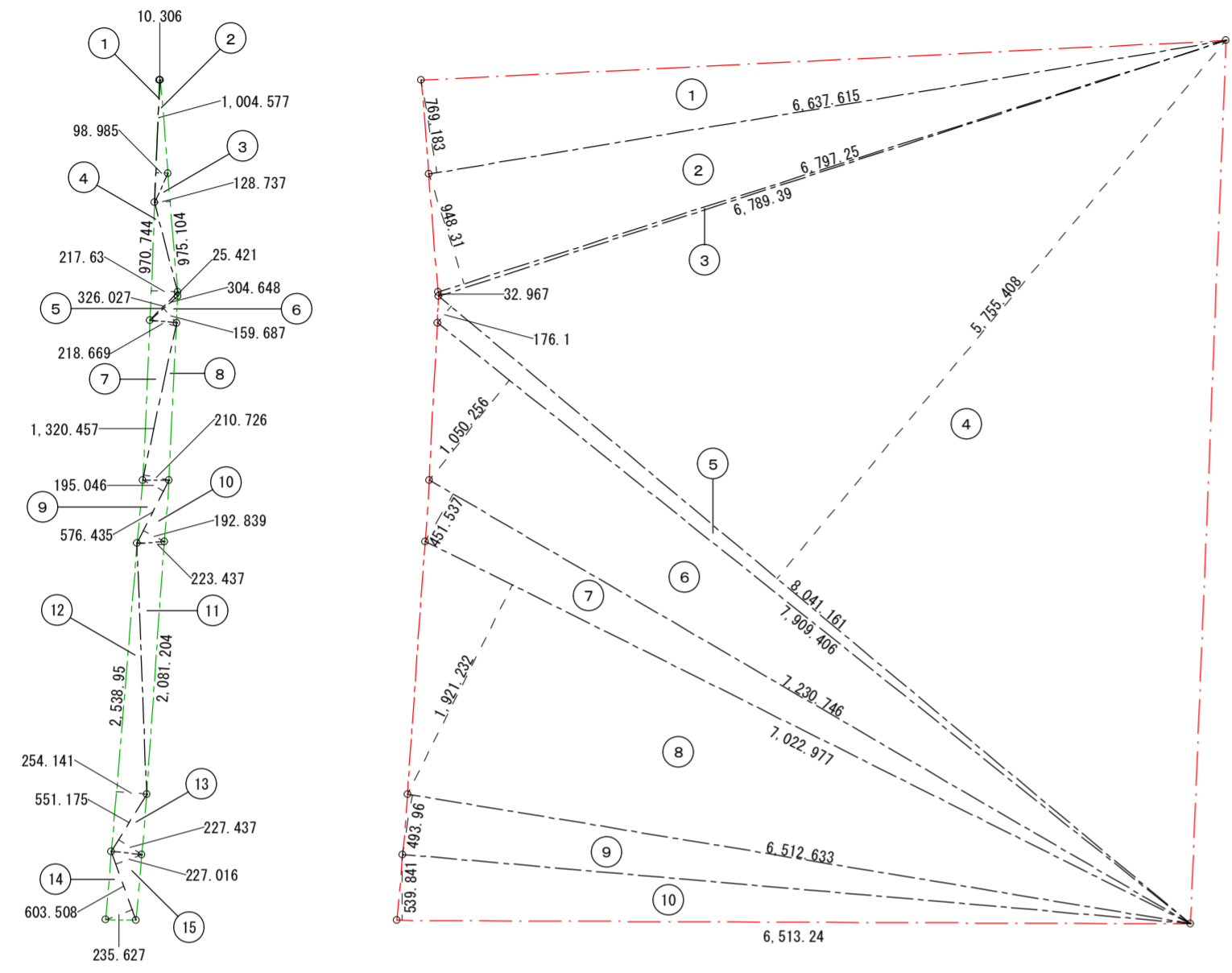
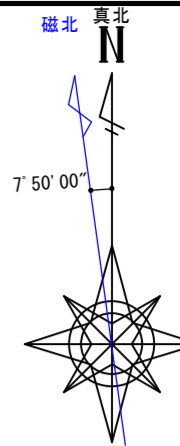


1級建築士事務所 登録(三重1-1987号)
〒518-0775 三重県名張市希央台5番町109番地
TEL 0595-48-6066 FAX 0595-48-6067
E-mail h.a.t@tuba.ocn.ne.jp



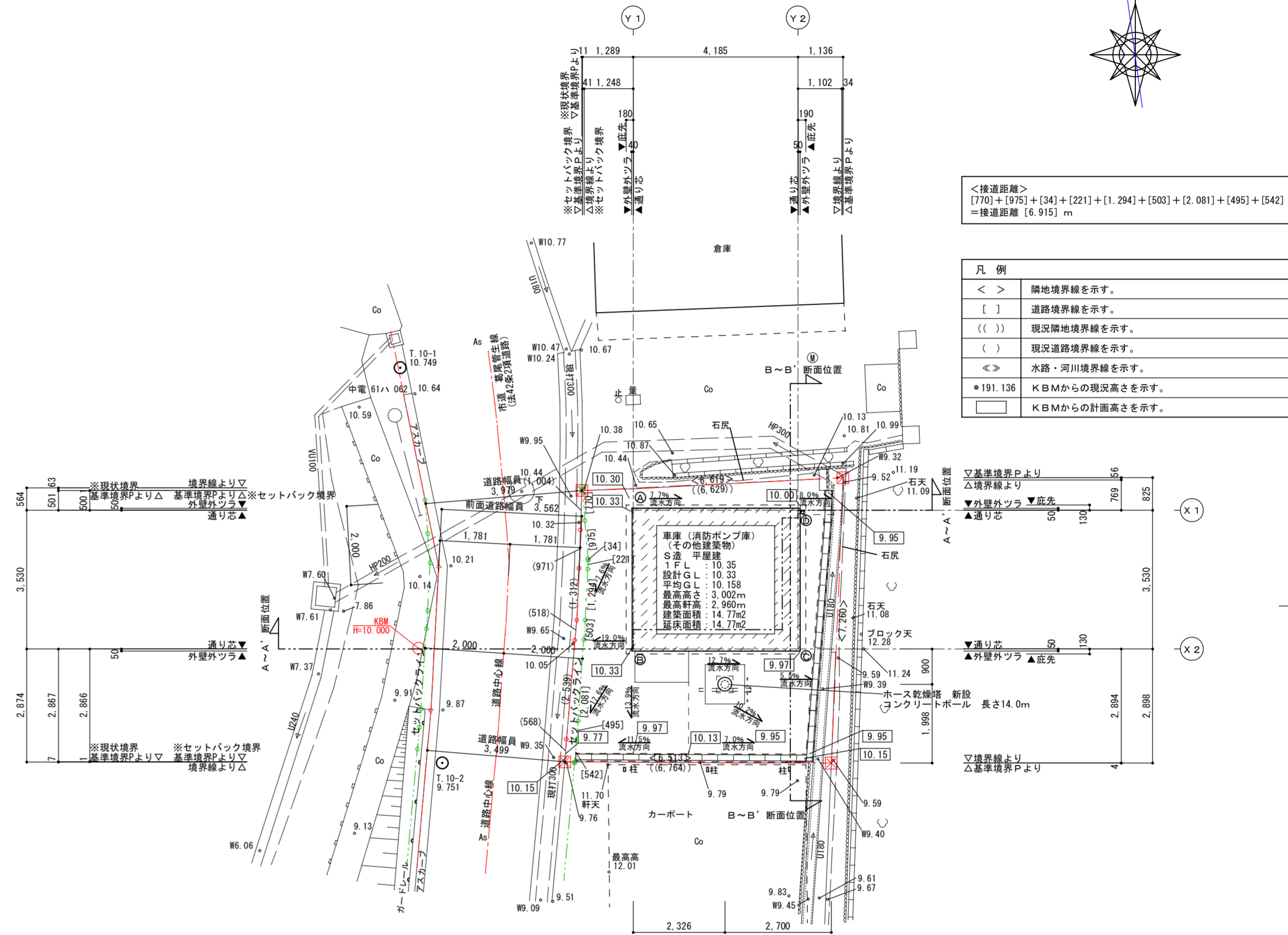
位置図 S=1/1250

特記	工事名	令和5年度(消防)第20号 薦原分団葛尾地区消防ポンプ庫 解体及び新築工事		 白鳳アーキテック 株式会社	1級建築士事務所 登録(三重1-1987号) 〒518-0775 三重県名張市希央台5番町109番地 TEL 0595-48-6066 FAX 0595-48-6067 E-mail h.a.t@tuba.ocn.ne.jp	承認	管理建築士 印
	図名	位置図	縮尺 A2: 1/1250 A3: 1/1768 A4: 1/2500				
						図面提出日	2023/08/25



セットバック部敷地求積図 S = 1 / 50

敷地求積図 S = 1 / 50



<接道距離>
 [770] + [975] + [34] + [221] + [1.294] + [503] + [2.081] + [495] + [542]
 = 接道距離 [6.915] m

凡例	
< >	隣地境界線を示す。
[]	道路境界線を示す。
(())	現況隣地境界線を示す。
()	現況道路境界線を示す。
<>>	水路・河川境界線を示す。
● 191.136	KBMからの現況高さを示す。
□	KBMからの計画高さを示す。

セットバック部敷地求積				
	計算式	倍面積	面積	
1	1.004577 × 0.010306	0.010353	0.005176	
2	1.004577 × 0.098985	0.099438	0.049719	
3	0.975104 × 0.128737	0.125532	0.062766	
4	0.970744 × 0.21763	0.211263	0.105632	
5	0.326027 × 0.025421	0.008288	0.004144	
6	0.304648 × 0.159687	0.048648	0.024324	
7	1.320457 × 0.218669	0.288743	0.144371	
8	1.320457 × 0.210726	0.278255	0.139127	
9	0.576435 × 0.195046	0.112431	0.056216	
10	0.576435 × 0.192839	0.111159	0.055579	
11	2.081204 × 0.223437	0.465018	0.232509	
12	2.53895 × 0.254141	0.645251	0.322626	
13	0.551175 × 0.227437	0.125358	0.062679	
14	0.603508 × 0.235627	0.142203	0.071102	
15	0.603508 × 0.227016	0.137006	0.068503	
合計			1.404473	
セットバック部敷地面積			1.41 m ²	
セットバック前敷地面積				
1.404473 + 45.634594 =			47.039067	47.03 m ²

敷地求積				
	計算式	倍面積	面積	
1	6.637615 × 0.769183	5.105541	2.552770	
2	6.79725 × 0.94831	6.445900	3.222950	
3	6.78939 × 0.032967	0.223826	0.111913	
4	8.041161 × 5.755408	46.280162	23.140081	
5	8.041161 × 0.1761	1.416048	0.708024	
6	7.909406 × 1.050256	8.306901	4.153450	
7	7.230746 × 0.451537	3.264949	1.632475	
8	7.022977 × 1.921232	13.492768	6.746384	
9	6.512633 × 0.49396	3.216980	1.608490	
10	6.51324 × 0.539841	3.516114	1.758057	
合計			45.634594	
敷地面積			45.63 m ²	

配置図 S = 1 / 100

<平均地盤高の算定> 建物：車庫
 計算における基準高さを10.33とする
 ● A間見付面積
 0.0m × 3.53m = 0m²
 ● B間見付面積
 -0.36m × 4.185m × 0.5 = -0.7533m²
 ● C間見付面積
 (-0.36m - 0.33m) × 3.53m × 0.5 = -1.21785m²
 ● D間見付面積
 -0.33m × 4.185m × 0.5 = -0.690525m²
 ◎ 合計：0.0 - 0.7533 - 1.21785 - 0.690525 = -2.661675m²
 -2.661675m² ÷ 全周長：15.43m = -0.1725m
 ※従って基準高さ-0.172mが平均地盤高さとなる。⇒ (10.158)

工事概要		主要用途		消防関連施設 (消防団車庫)		棟別概要		●印は本工事に該当	
工事名称	蕨原分団葛尾地区消防ポンプ庫 解体及び新築工事	主要用途	消防関連施設 (消防団車庫)			棟名	1. 消防ポンプ庫(車庫)	2.	3.
地名地番	三重県名張市葛尾字道垣内154番	工事種別	●新築 ○増築 ○改築 ○移転 ○用途変更 ○大規模の修繕 ○大規模の模様替			用途	消防関連施設 (消防団車庫)		
敷地面積	45.63 m ²	建築面積	1. 車庫(消防ポンプ庫)	14.77	m ²	工事種別	●新築 ○増築 ○改築 ○既設	○新築 ○増築 ○改築 ○既設	○新築 ○増築 ○改築 ○既設
都市計画	●都市計画区域内 ○市街化区域 ○市街化調整区域 ●区域区分未設定 ○準都市計画区域内 ○都市計画及び準都市計画区域外		2.	-	m ²	階数	地上1階、地下0階、塔屋0階		
用途地域	○第1種低層住居専用地域 ○第2種低層住居専用地域 ○第1種中高層住居専用地域		3.	-	m ²	構造	OSRC ORC ●S OCB OW OSRC ORC OS OCB OW OSRC ORC OS OCB OW		
	○第2種中高層住居専用地域 ○第1種住居地域 ○第2種住居地域 ○準住居地域 ○近隣商業地域		合計	14.77 m ²		耐火関係	○耐火建築物(○義務 ○任意) ○準耐火建築物(○義務 ○任意) ○耐火建築物(○義務 ○任意) ○耐火構造建築物(○義務 ○任意) ●その他建築物		
防火地域	○防火地域 ○準防火地域 ○指定無し ●2条指定地域	延床面積	1. 車庫(消防ポンプ庫)	14.77	m ²	設計GL	設計GL=KBM+ 設計GL=KBM+ 設計GL=KBM+		
基準建ぺい率 (%)	○30 ○40 ○50 ●60 ○70 ○80 角地緩和 +10% ○有 ●無		2.	-	m ²	最高の高さ	設計GL+ 2.830 m 設計GL+ m 設計GL+ m 平均設計GL+ 3.002 m 平均設計GL+ m 平均設計GL+ m		
	基準容積率 (%)	○50 ○60 ○80 ○100 ○150 ●200 ○300 ○400 ○500 ○600 ○700 ○800 ○900 ○1000	3.	-	m ²	最高の軒高	設計GL+ 2.788 m 設計GL+ m 設計GL+ m 平均設計GL+ 2.960 m 平均設計GL+ m 平均設計GL+ m		
道路・壁面後退		●主前面道路 (4.000m) ○その他前面道路 (m) ○都市計画道路 (○有 m ●無) ○壁面後退 (○有 m ●無)	電気設備工事	電灯、コンセント、赤色灯、サイレン【設備工事】		建築面積	14.77 m ² m ² m ²		
		消防設備工事	-		床面積		1階 14.77 m ² 1階 m ² 1階 m ² 2階 - m ² 2階 m ² 2階 m ² 合計 14.77 m ² 合計 m ² 合計 m ²		
		給排水衛生設備工事	雨水排水			外構工事	コンクリート舗装:コンクリート 厚150 刷毛引き仕上、ワイヤーメッシュ φ6×150角、砕石 厚100 路床:表層改良 H=600 固化材使用量50kg/m ³ ※外構図参照		
		空調設備工事	-		ホース乾燥塔		雨水排水管 VUφ100、CB150 2段積み(基礎共) コンクリートポール(14-19-5.0 タラップ付) 長さ:14.0m ホースハンガー、ワイヤーロープ、手動巻上げウインチ 等付属金物一式 ※詳細図参照		
		ガス設備工事	-			その他工事			
		昇降設備工事	-						
		その他	-						

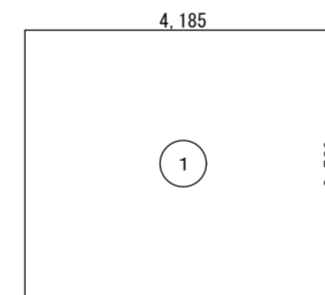
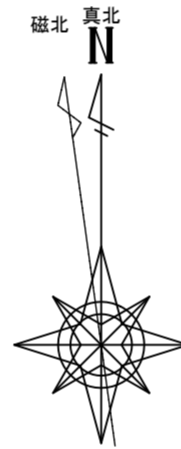
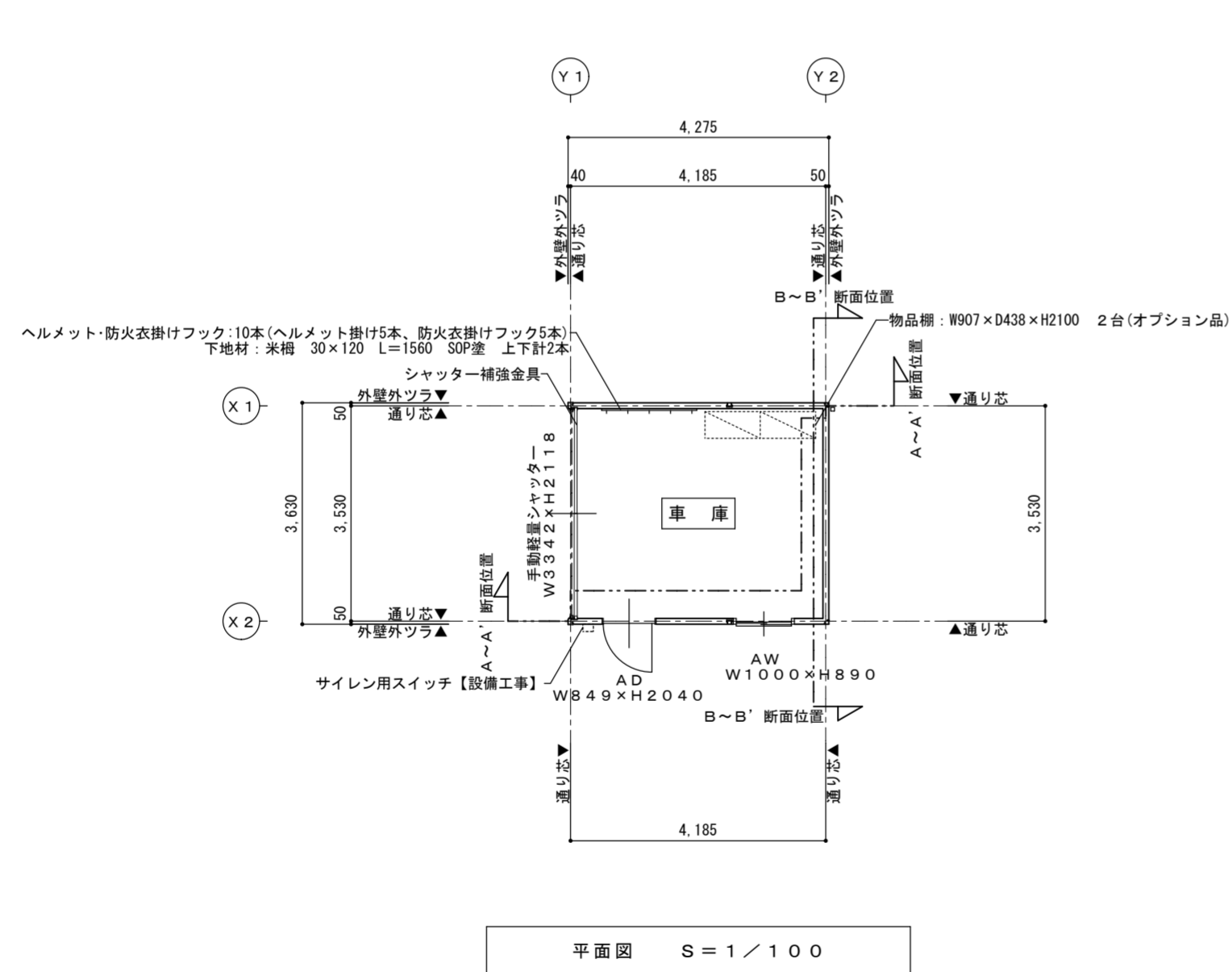
外部仕上表 (材料は全て同等品とする。)		基礎		外壁		金物		塗装		建具		その他			
基礎	基礎下補強	表層改良	※構造図参照		壁	壁パネル 溶融亜鉛メッキ鋼板 F12 厚1.2		外部	-		手動軽量シャッター アルミ製引違窓(オプション品)、アルミ製片開き戸(オプション品)---建具図参照 シャッターBOX(オプション品)、シャッター補強金具(オプション品)、 下部ゴムクッション材(メーカー外品・本工事)	手動軽量シャッター アルミ製引違窓(オプション品)、アルミ製片開き戸(オプション品)---建具図参照 シャッターBOX(オプション品)、シャッター補強金具(オプション品)、 下部ゴムクッション材(メーカー外品・本工事)	ガレージ仕様	ガレージディア・GRN-3642H (ハイルーフトタイプ)・屋根裏張等オプション有 棟箱製製作所 同等品 アンカー以降の工程材料は最終他工事内容以外メーカー材、施工は請負工事範囲とする。	
	基礎	布基礎	※構造図参照			根廻り	コンクリート打放し補修		内部	-					
外壁立上り	コンクリート立上り GL+170 厚120	※構造図参照		鉄筋: D10@300 (SC)、端部補強 1-D13	雨樋	軒樋:塩化ビニル管(オプション品) 縦樋:塩化ビニル管(オプション品)、延長パーツ(オプション品)									
	鉄筋: D10@300 (SC)、端部補強 1-D13														
床	1階床	コンクリート 厚120 金ゴテ押さえ	※構造図参照		外部	-		外部	-						
	鉄筋: D10@200 (SC)、防湿シート 厚0.15 二重敷き、砕石 厚100														
屋根	仕上材	折板葺(山高24.5) 溶融亜鉛-5%アルミニウム合金メッキ鋼板 Y10 厚0.5 裏貼:結露軽減材 厚4(オプション品)	※構造図参照		内部	-		外部	-						
	下地材	溶融亜鉛メッキ鋼板 F12 厚1.2													
	鼻隠し	溶融亜鉛-5%アルミニウム合金メッキ鋼板 Y10 厚0.5			内部	-		内部	-						
	妻板	溶融亜鉛-5%アルミニウム合金メッキ鋼板 Y10 厚0.5													

内部仕上表 (材料は全て同等品とする。)		法的規制 居室種別		床		巾木		H		腰壁		壁		天井		天井高		廻縁		備考	
F	室名	内装制限	-	下地	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	物品棚: W907×D438×H2100 2台(オプション品) ヘルメット:防火衣掛フック:10本(ヘルメット掛け5本、防火衣掛けフック5本) 下地材:米柵 30×120 L=1560 SOP塗 上下計2本
1	車庫	-	非居室	仕上	コンクリート金ゴテ押さえ 厚120	-	-	-	-	コンクリート打放し補修 FL+H150	-	壁パネル	-	屋根アラワシ	-	-	-	-	-	-	

特記	令和5年度(消防)第20号		工事名		蕨原分団葛尾地区消防ポンプ庫 解体及び新築工事		図名		新築 工事概要・仕上表		縮尺		-		図番番号		A-10		1級建築士事務所 登録(三重1-1987号) 〒518-0775 三重県名張市希央台5番町109番地 TEL 0595-48-6066 FAX 0595-48-6067 E-mail h.a.t@tuba.ocn.ne.jp		承認		管理建築士		印	
	白鳳アーキテック 株式会社		HAKUHO Architech		1級 256630号		図面提出日		2023/08/25		萱室 敦司															

その他建築物の仕様					防火材料認定番号			シックハウス対策仕様			特記事項
部位	使用等級	構造	認定番号	備考	材料	等級	認定番号	部位	建築材料の種類	ホルムアルデヒド建材種別	※ メーカー記載品は同等品可とする
屋根	不燃材料	折板葺(山高24.5) 溶融亜鉛-5%アルミニウム合金メッキ鋼板 厚0.5	NM-4248-1	裏貼:結露軽減材 厚4	シャッター(スラット)	不燃	NM-8697	塗料	SOP、DP、AEP、 CL、OS、OSCL	規制対象外建材を使用(F☆☆☆☆)	折板等の標準取付金物、付属品は全て見込んで置く事。
外壁	不燃材料	壁パネル 溶融亜鉛メッキ鋼板 厚1.2	NM-5380		結露付屋根パネル(オプション)	不燃	NM-4248-1	屋根	溶融亜鉛メッキ鋼板 厚1.2	告示対象外建材	
柱	不燃材料	溶融亜鉛メッキ鋼板 厚1.2	NM-5380		土台枠	不燃	NM-5380	壁	溶融亜鉛-5%アルミニウム合金メッキ鋼板 厚0.5	告示対象外建材	
梁	不燃材料	溶融亜鉛メッキ鋼板 厚1.2	NM-5380		柱	不燃	NM-5380				
シャッター(スラット)	不燃材料	塗装溶融亜鉛メッキ鋼板 厚0.6	NM-8697		梁	不燃	NM-5380				
					壁パネル	不燃	NM-5380				
					母屋	不燃	NM-5380				
					桁板	不燃	NM-5380				
					妻板	不燃	NM-5380				
					鼻隠し	不燃	NM-5380				
					SOP、DP、AEP、 CL、OS、OSCL	不燃	NM-8585				

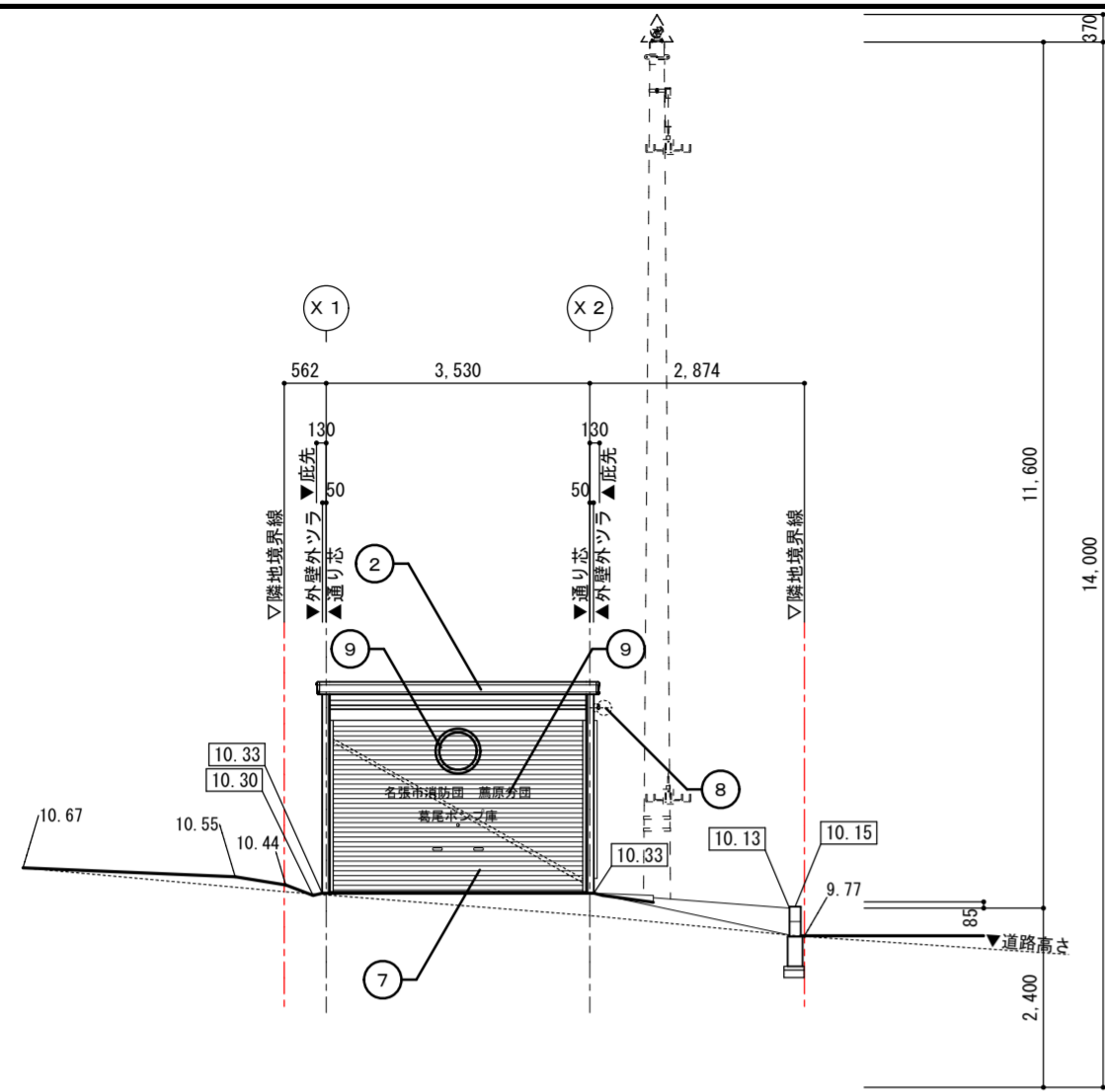
有窓階・無窓階の算定(消防法施行規則第5条の2)							
消防活動に必要な開口 1/30		床面積		有窓階・無窓階算定対象床面積			
				1階床面積: 14.77㎡			
階	必要開口面積	建具符号	有効開口面積				有効開口面積(㎡)
			床面からの高さ (開口下端1.2m以下)	ガラスの種類 (厚さ6.8mm以下)	備考	幅(m) × 高さ(m) × ヶ所 (直径100cm以上の円が内設する開口、もしくは75cm以上×120cm以上の開口が2ヶ所以上) + (直径50cm以上の円が内設する開口)	
1	0.50	SS-1	FL±0	-	手動軽量シャッター	3.342 × 2.118	7.078
		AD-1	FL+0.247	-		0.849 × 2.040	1.731
※ ガラスの厚みは、外部に破壊作業用のバルコニー等、足場のある場合は10mm程度まで有効とする(S58、9、19 消防予186) ※ 有効な開口部は、道又は道に通ずる幅員1m以上の通路その他の空地に面したものであること。 ※ ガラス記号 FL-透明ガラス F-型板ガラス PW-網入りガラス TG-強化ガラス ST-スクリーン付 A-空気層							



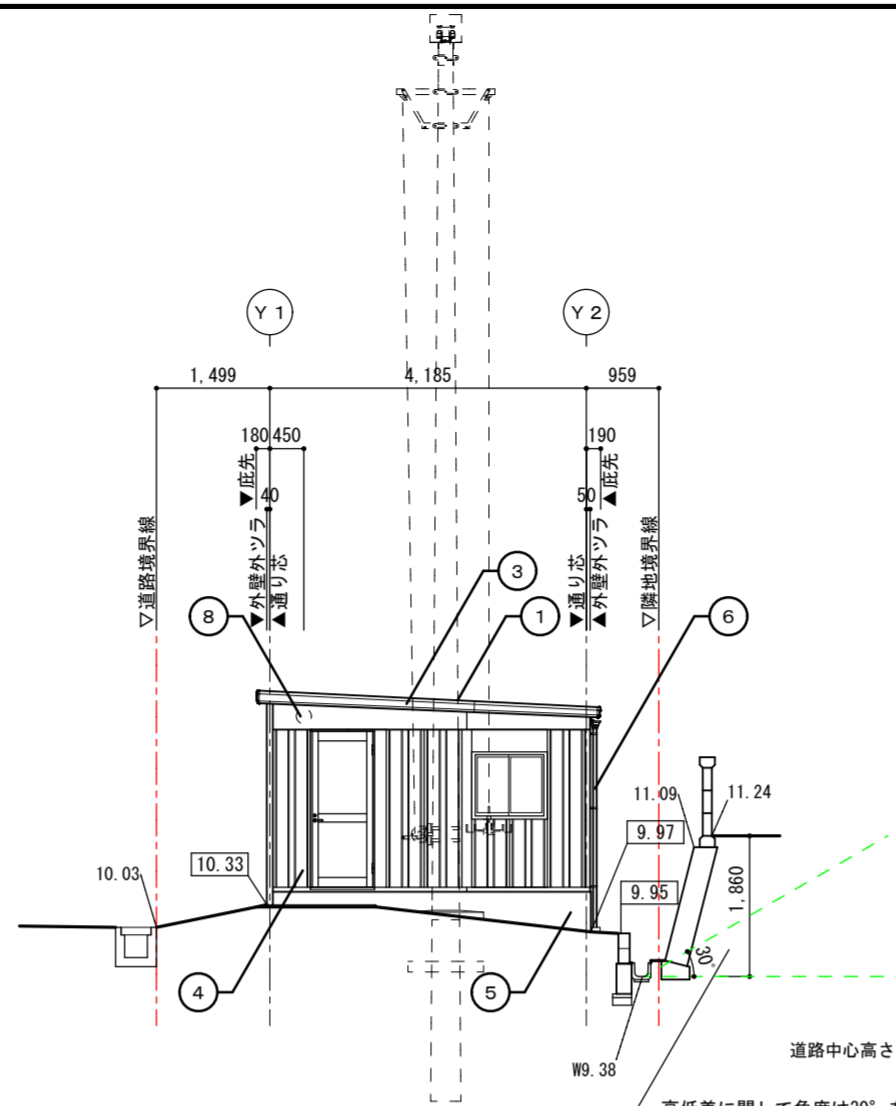
面積表			
車庫	①	4.185 × 3.530	14.77305
延床面積	①		14.77 m2
建築面積	①		14.77 m2

建物求積図 S = 1 / 100

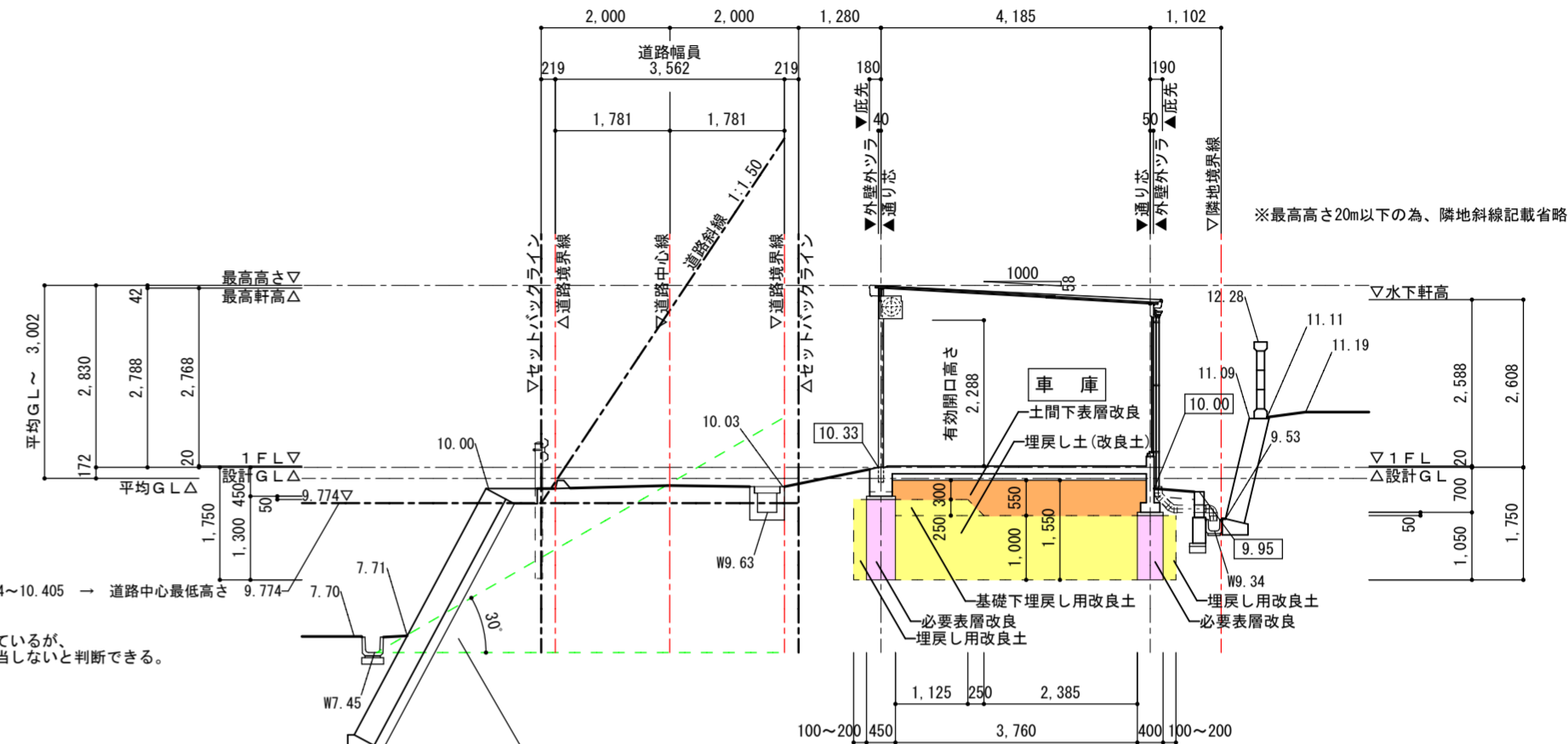
特記	工事名	令和5年度(消防)第20号 蕨原分団葛尾地区消防ポンプ庫 解体及び新築工事		 白鳳アーキテック株式会社	1級建築士事務所 登録(三重1-1987号) 〒518-0775 三重県名張市希央台5番町109番地 TEL 0595-48-6066 FAX 0595-48-6067 E-mail h.a.t@tuba.ocn.ne.jp	承認	管理建築士 1級 256630号 壹室 敦司	印
	図名	新築 法テック図・平面図・建物求積図						



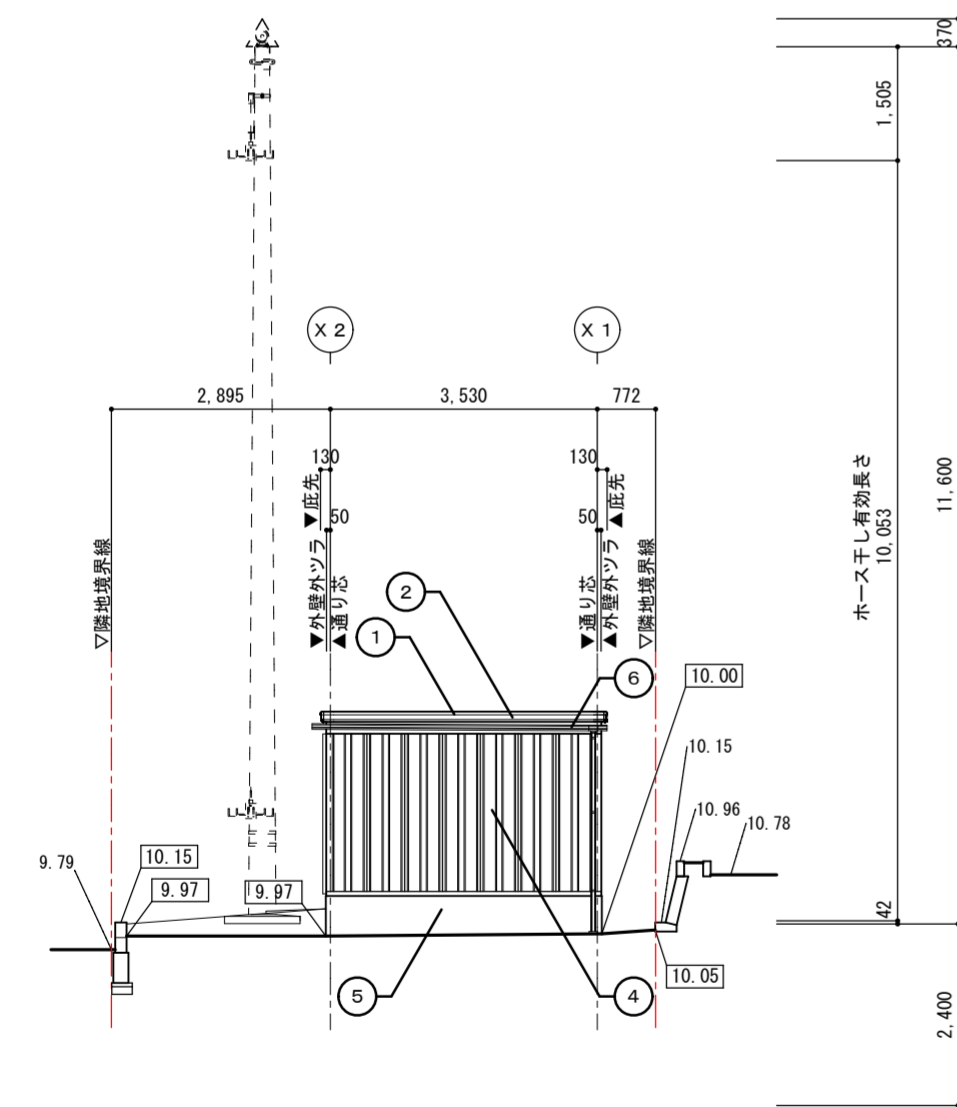
西側立面図 S = 1 / 100



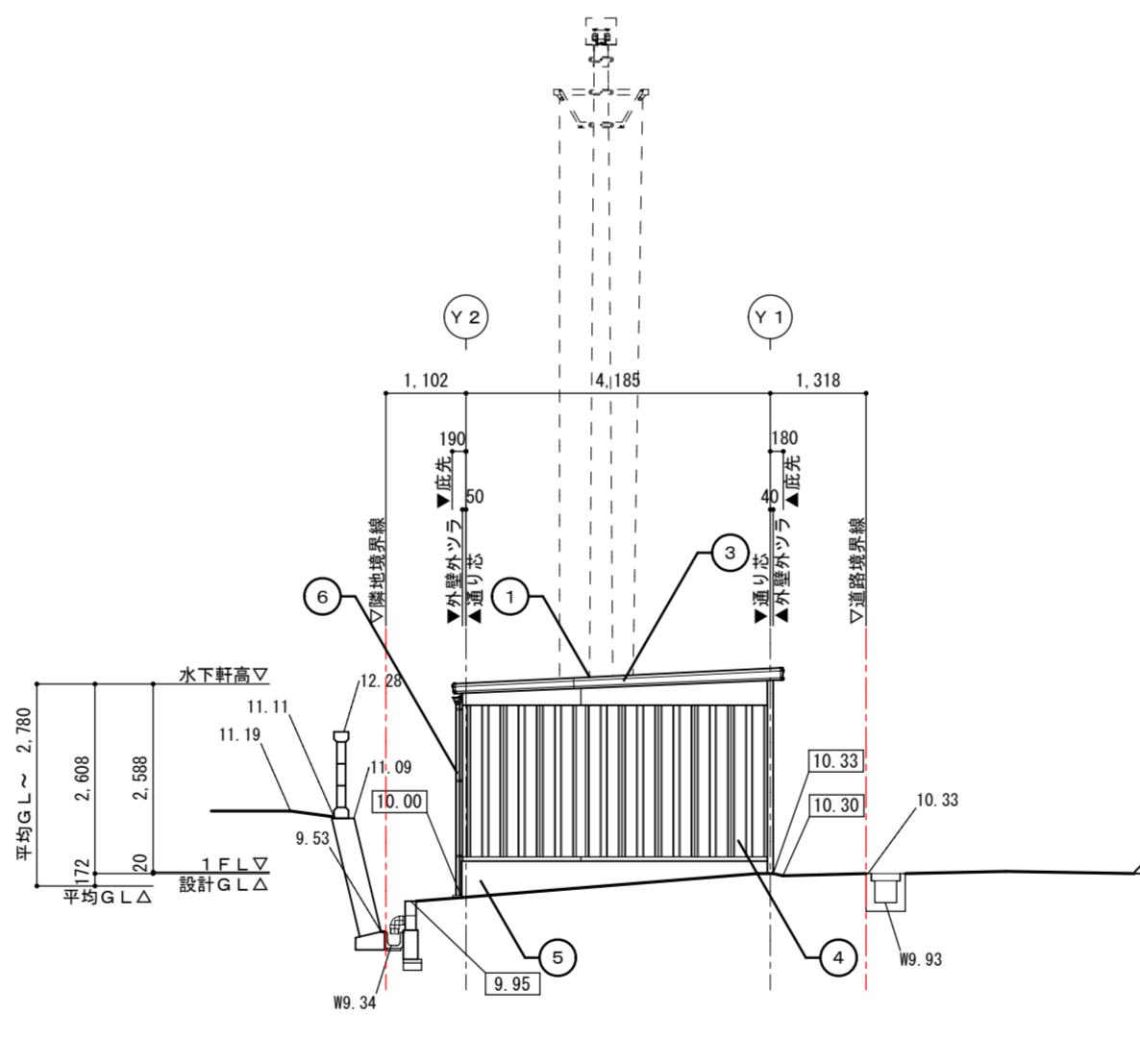
南側立面図 S = 1 / 100



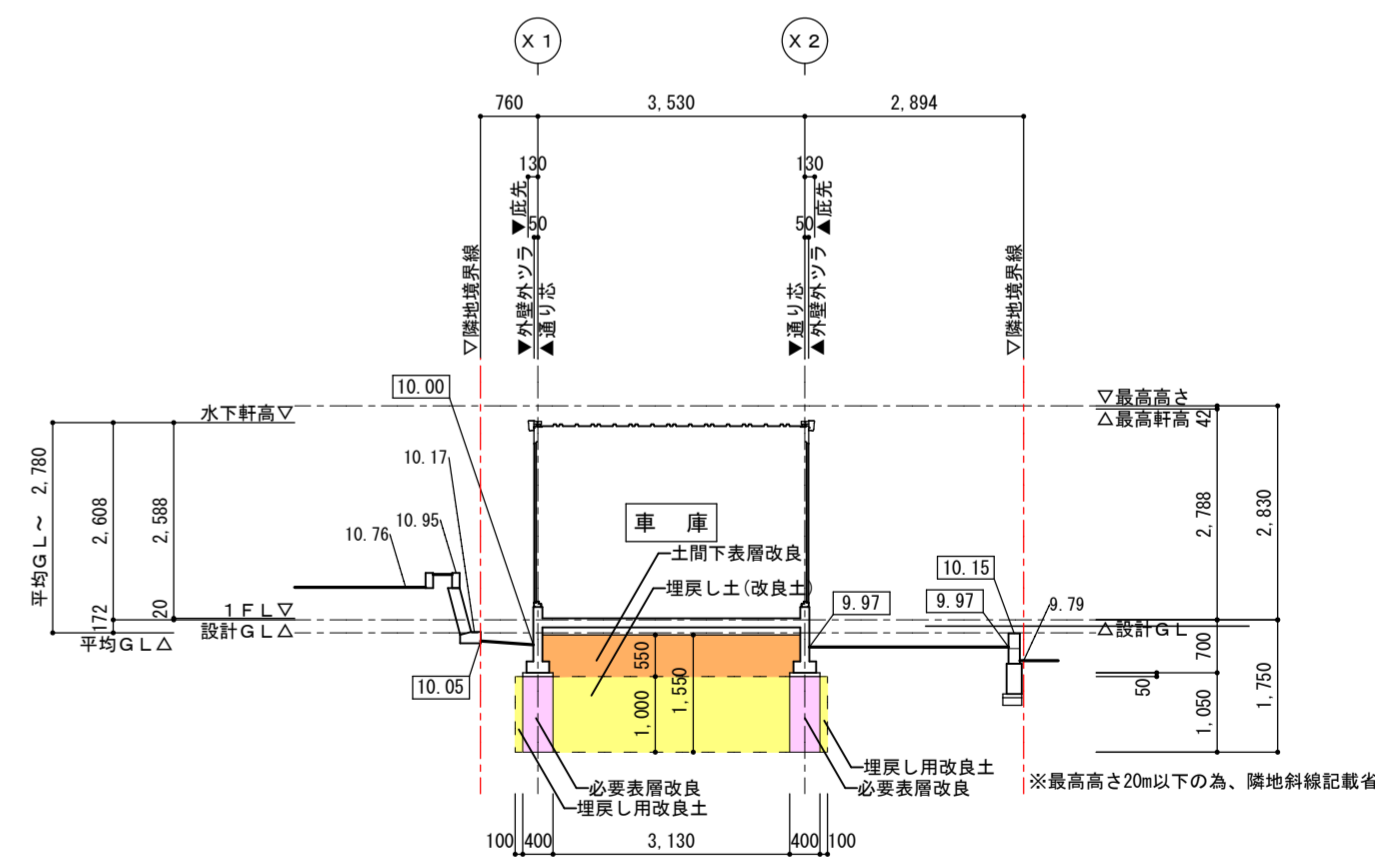
A ~ A' 断面図 S = 1 / 100



東側立面図 S = 1 / 100



北側立面図 S = 1 / 100



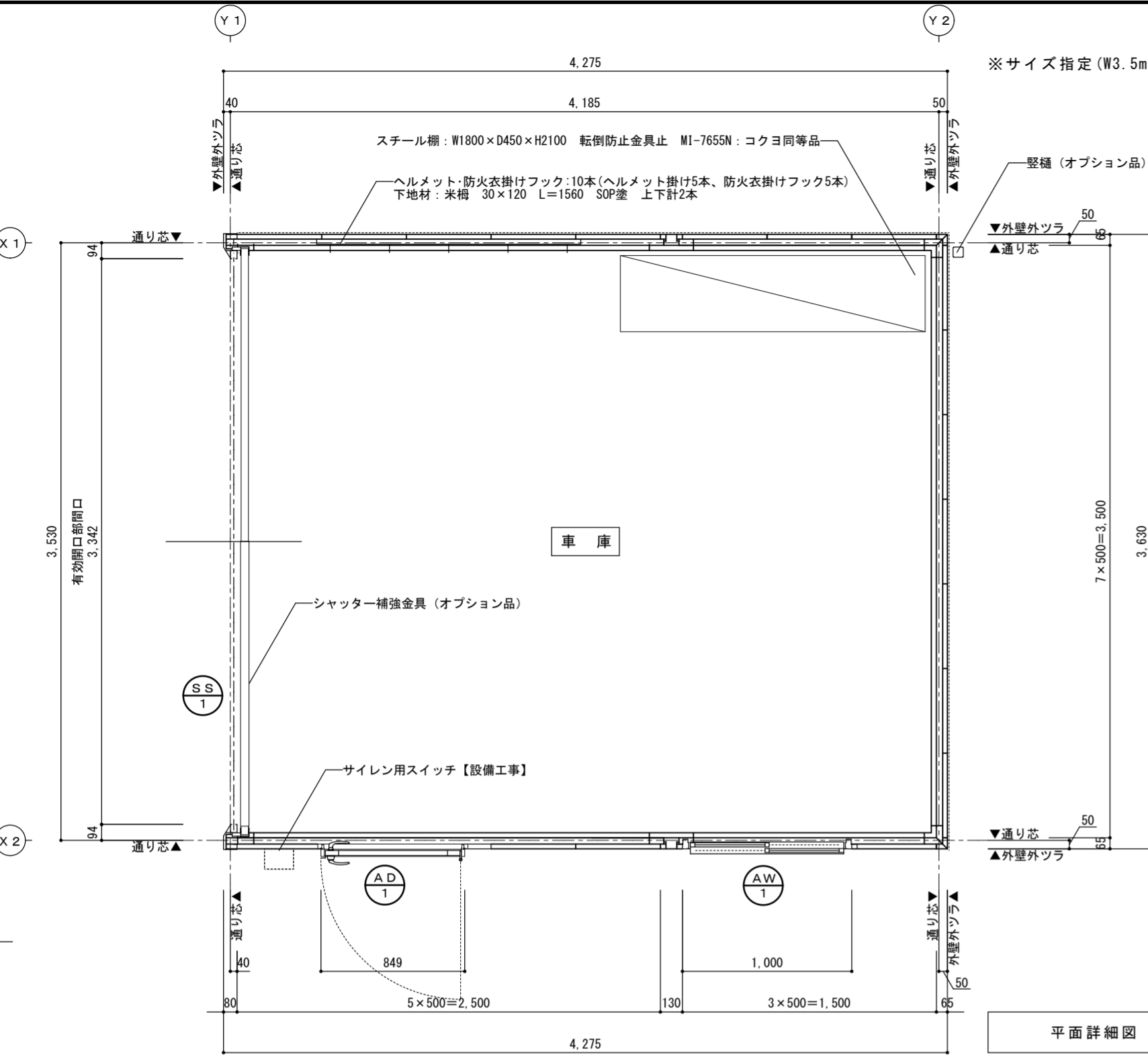
B ~ B' 断面図 S = 1 / 100

高低差に関して角度は30°を超えているが、高さが2m以上ない為がけとして該当しないと判断できる。

高低差に関して高さが2m以上あり角度は30°を超え、がけとして該当するが30°未満の部分に基礎底版があるので、建物に影響が無いと判断できる。また、公共物擁壁である為、安全であると判断できる。

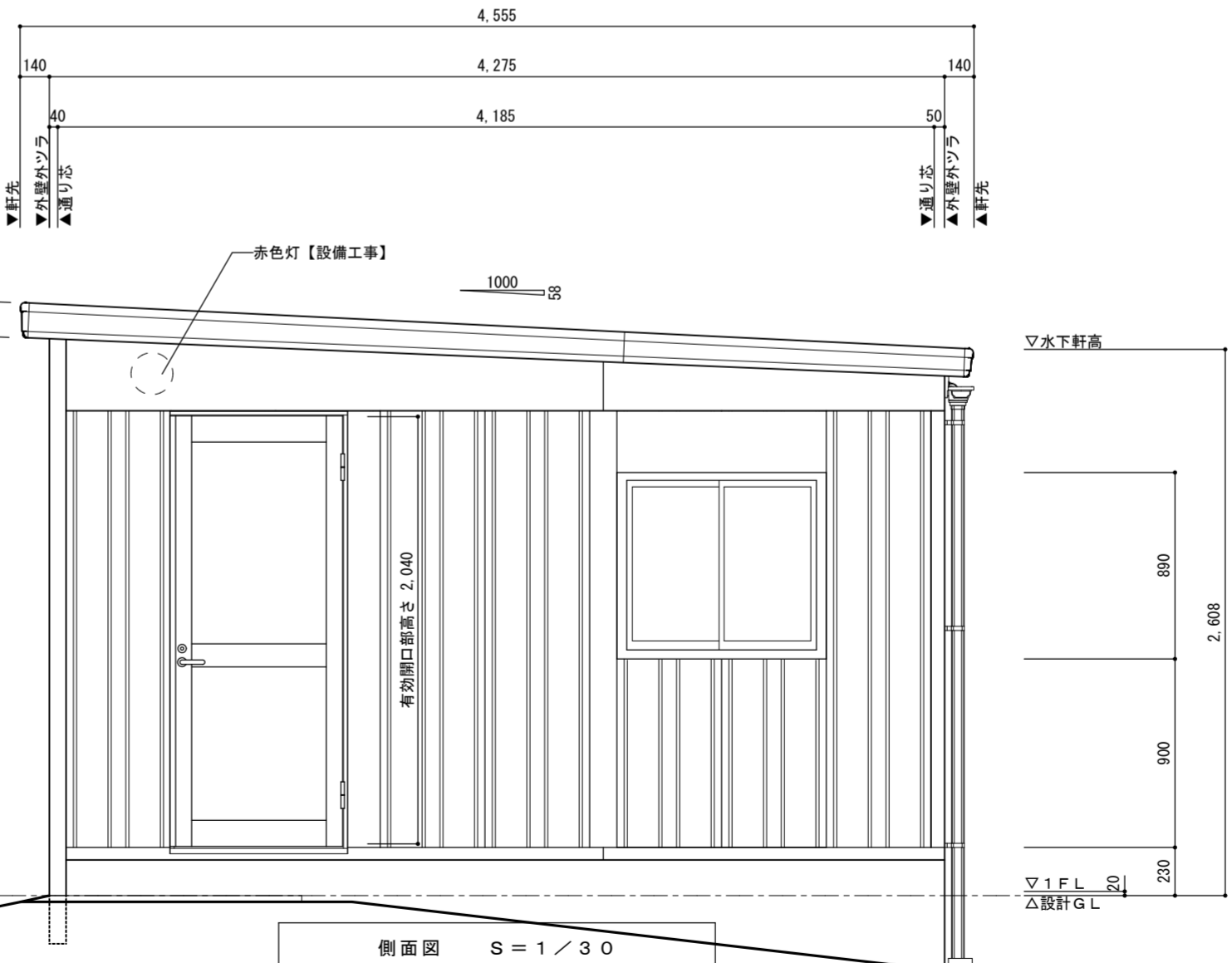
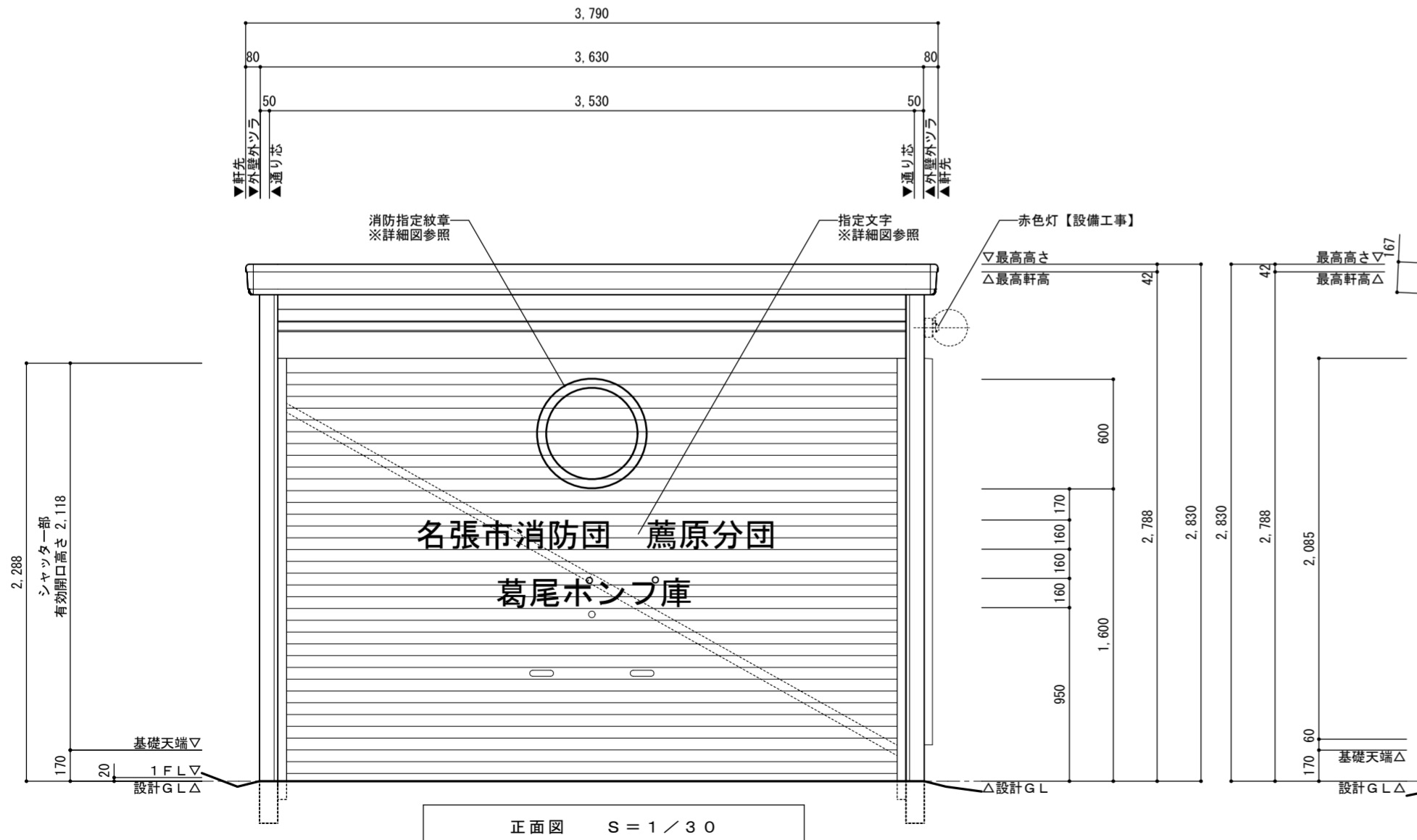
記号	部位	仕上	記号	部位	仕上	記号	部位	仕上
①	屋根	折板葺(山高24.5) 溶融亜鉛-5%アルミニウム合金メッキ鋼板 Y10 厚0.5 裏貼: 結露軽減材 厚4 (オプション品)	④	外壁	壁パネル 溶融亜鉛メッキ鋼板 F12 厚1.2	⑦	手動軽量シャッター	スラット: 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 Z08 厚0.6
②	鼻隠し	溶融亜鉛-5%アルミニウム合金メッキ鋼板 Y10 厚0.5	⑤	根廻り	コンクリート打放し補修	⑧	赤色灯	アルミ板 厚0.8、ガラス 【設備工事】
③	妻板	溶融亜鉛-5%アルミニウム合金メッキ鋼板 Y10 厚0.5	⑥	樋	軒樋: 塩化ビニル管(オプション品) 縦樋: 塩化ビニル管(オプション品)、延長パーツ(オプション品)	⑨	サイン	カットティングシート切文字

特記	工事名	令和5年度(消防)第20号 蕨原分団葛尾地区消防ポンプ庫 解体及び新築工事		 白鳳アーキテック 株式会社	1級建築士事務所 登録(三重1-1987号) 〒518-0775 三重県名張市希央台5番町109番地 TEL 0595-48-6066 FAX 0595-48-6067 E-mail h.a.t@tuba.ocn.ne.jp	承認	管理建築士 印
	図名	新築 立面図・断面図	縮尺 A2: 1/100 A3: 1/141				
						図面提出日	2023/08/25



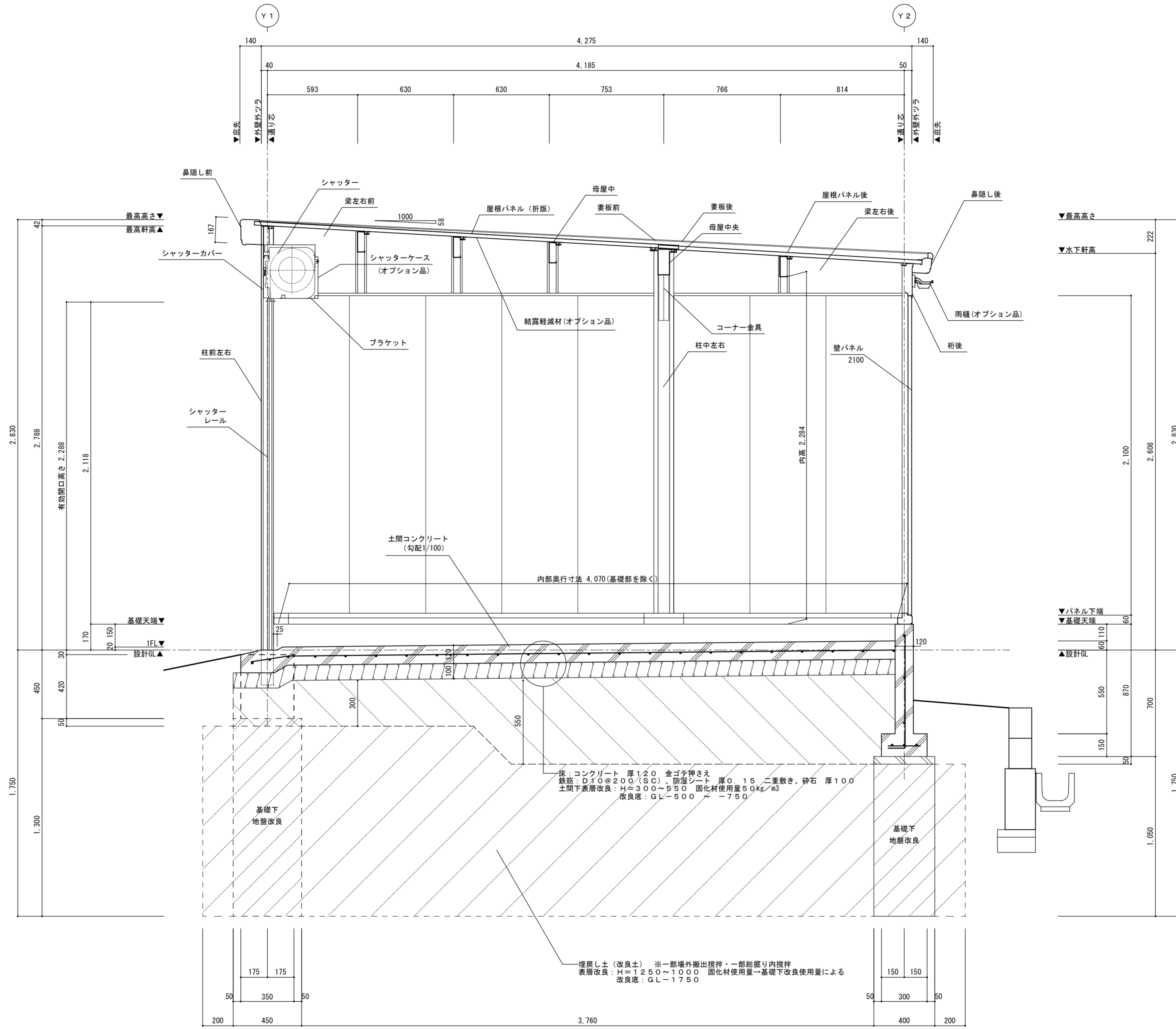
※サイズ指定 (W3.5m×D4.1m×H2.8m程度) で他メーカー同等品提案に関して、採用できるかは別として再考することは可能とする。

建 具 表		S = 1 / 3 0				
記号 数量	SS-1	1ヶ所	AD-1 ※オプション品	1ヶ所	AW-1 ※オプション品	1ヶ所
図	有効開口: 3.342		849		1.000	
建 具	手動軽量シャッター	見 込	アルミ製片開き戸	見 込	アルミ製引違い窓	見 込
仕 上	スラット: 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 Z08 厚0.6		アルミ標準色	70	アルミ標準色	70
硝 子	-		アルミ樹脂複合パネル 厚3.0		型板 厚4.0	
金 物	シャッターカバー、シャッターレール、シャッターケース、ブラケット、手掛け シリンダー錠 (内部: サムターン)	...	ドアクローザー、レバーハンドル、丁番 シリンダー錠、サムターン	...	クレセント錠	...
備 考	下部: ゴムクッション材後付 (メーカー外品・本工事) オプション品: シャッターケース、シャッター補強金具		アルミ枠		アルミ枠	



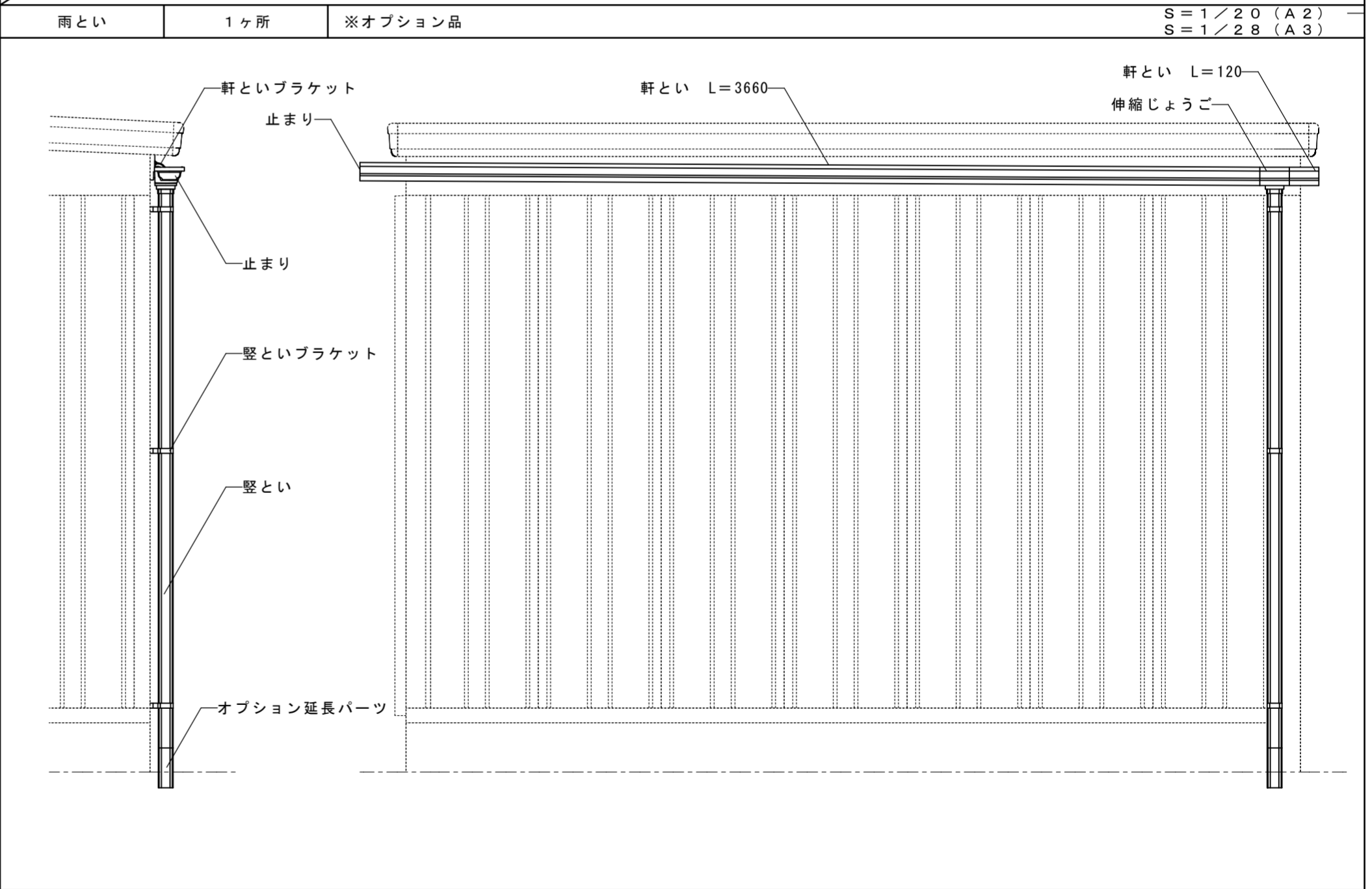
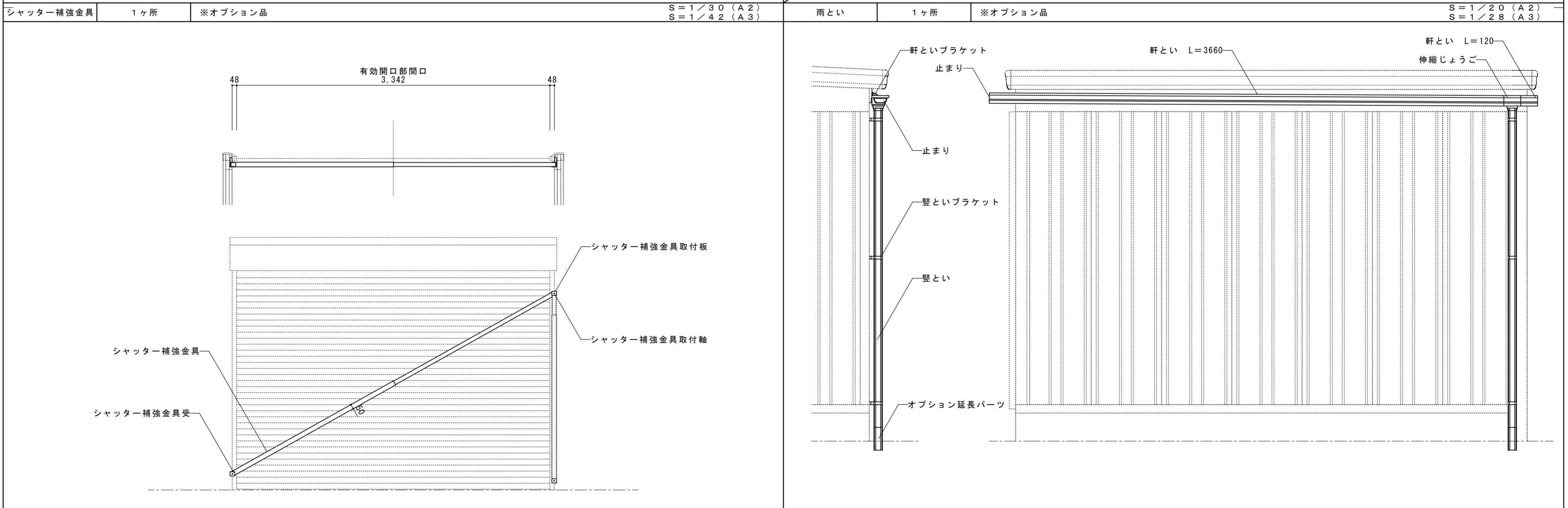
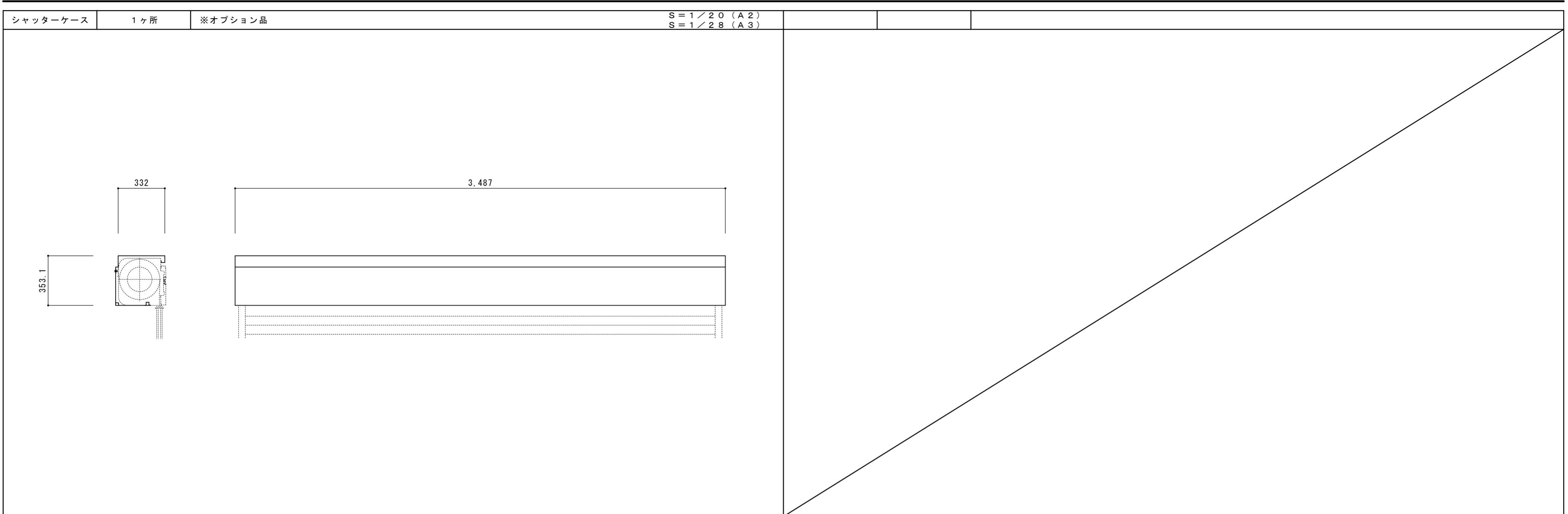
品番	部 品 名	材料 (材質)	単位	mm
1	土台枠	F12	1.2	
2	柱前左右	F12	2.3	
3	柱前中	F12	1.6	
4	柱中左右	F12	1.2+1.6	
5	柱後左右	F12	1.6	
6	柱後中	F12	1.2+1.6	
7	豪雪柱 (豪雪地型のみ)	F12	2.3	
8	梁中柱取付金具	F12	3.2	
9	桁前	Y10	1.6	
10	桁後	Y10	1.6	
11	梁左右	Y10	1.0	
12	梁中前	F12	2.0+3.2	
13	梁中後	F12	2.0+3.2	
14	梁中屋根板	Y10	1.0	
15	下枠カバ	F12	2.3	
16	梁中カバ	Y10	0.7	
17	母屋中央	F12	1.6	
18	母屋中	F12 1.2 (豪雪地型 1.6+2.3)		
19	屋根パネル	Y10	0.5	
20	結露軽減材 (不燃材) - 別売	ポリエチレンフォーム	4.0	
21	壁パネル	F12	0.7	
22	妻板左右	Y10	0.7	
23	鼻隠シ前後	Y10	0.7	
24	コーナー金具	F12	2.3	
25	シャッター (スラット)	Z08	0.6	
26	シャッターカバー	F12	0.7	
27	シャッターレール	アルミニウム合金製		
28	シャッターケース	F12	0.6+1.2	
29	シャッター補強金具	F12	1.6, 2.3	

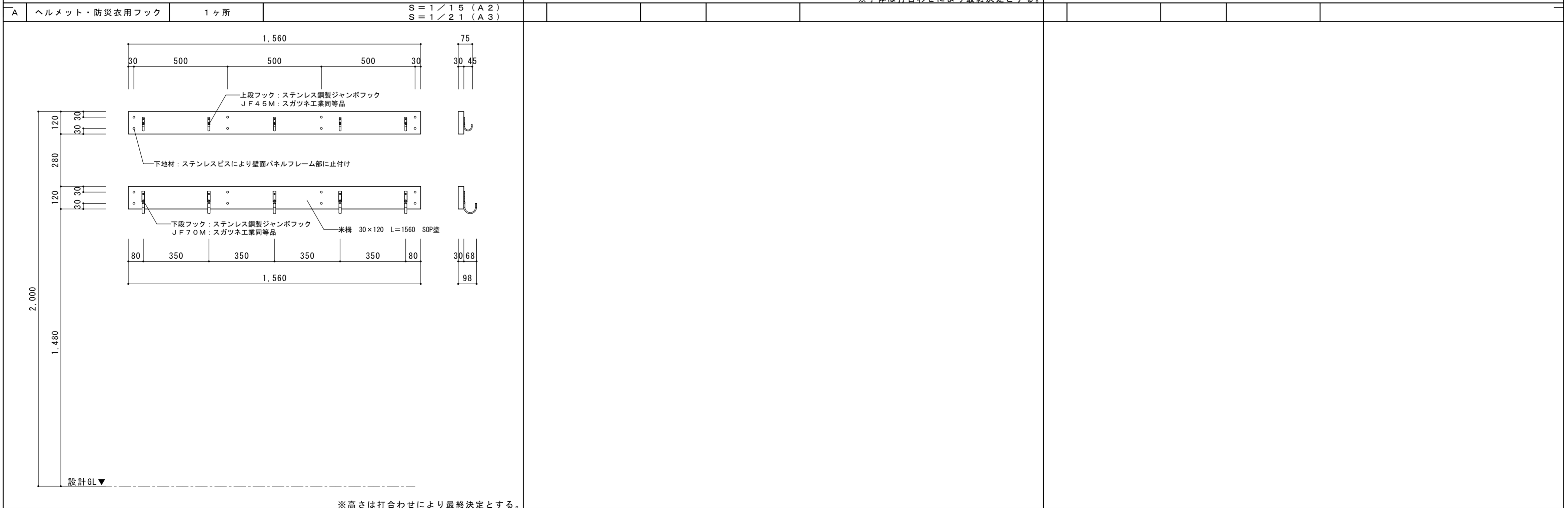
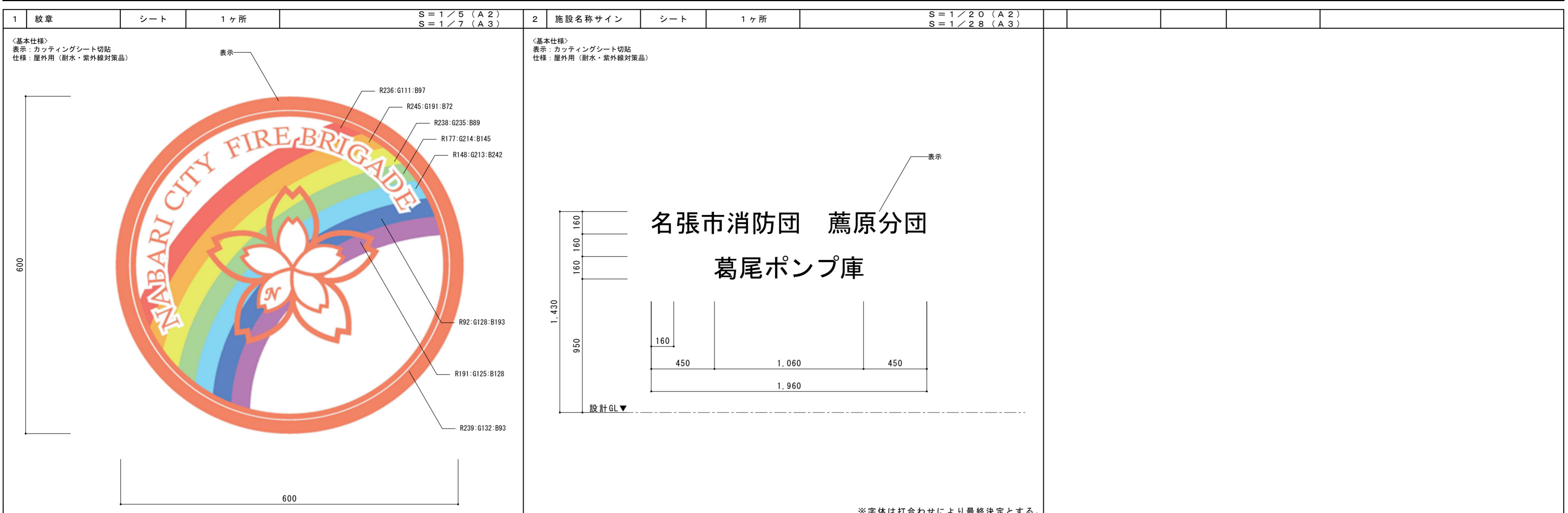
F12→溶融亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3302)
Y10→溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板 (JIS G 3317)
Z08→塗装溶融亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3312)
※連棟時のみ使用



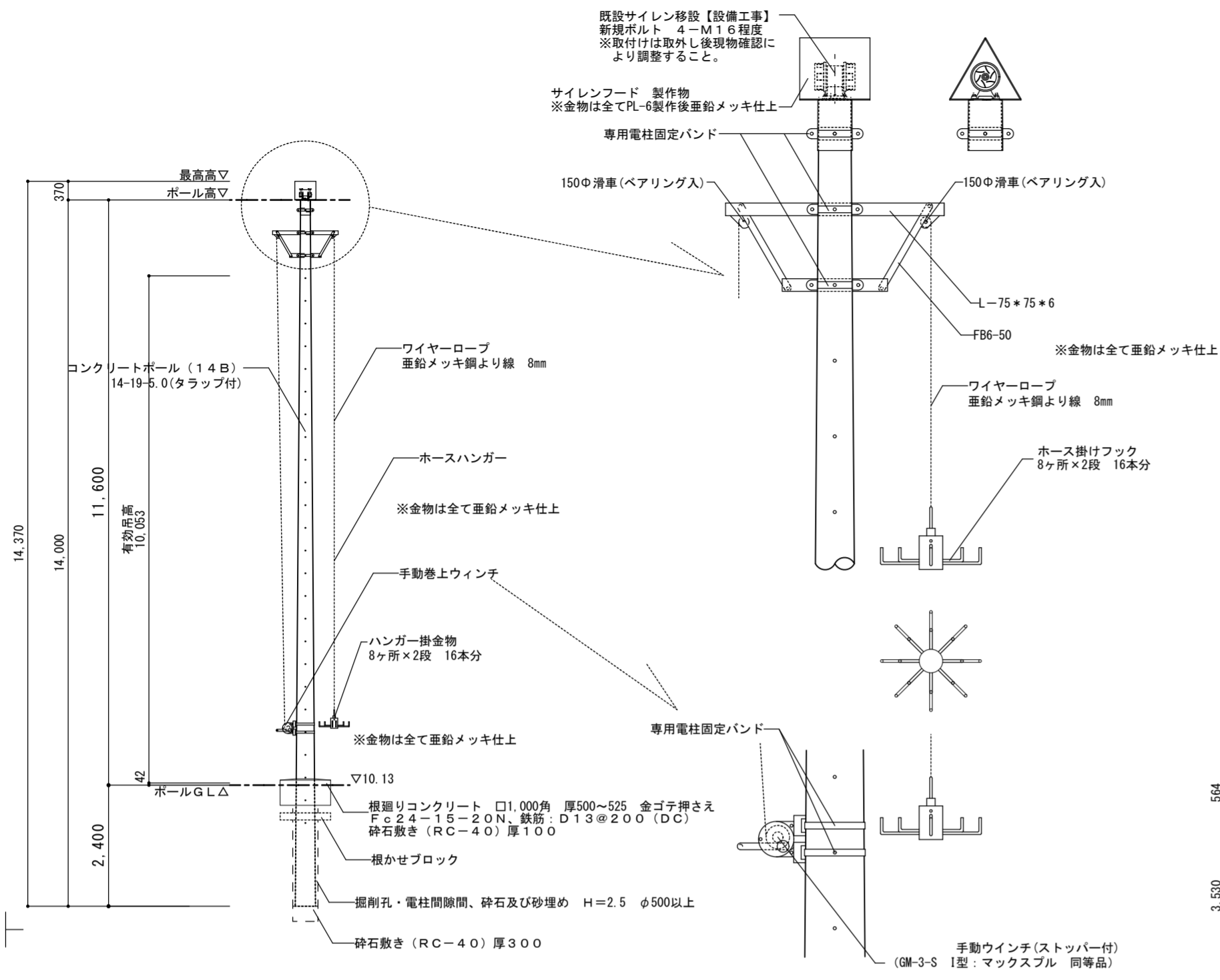
断面詳細図 S = 1 / 20

特記	工事名	令和5年度(消防)第20号 蕨原分団葛尾地区消防ポンプ庫 解体及び新築工事		 白鳳アーキテック 株式会社	1級建築士事務所 登録(三重1-1987号) 〒518-0775 三重県名張市希中央5番町109番地 TEL 0595-48-6066 FAX 0595-48-6067 E-mail h.a.t@tuba.ocn.ne.jp	承認	管理建築士	印
	図名	新築 断面詳細図	縮尺		A 2 : 1 / 20 A 3 : 1 / 28	図番番号	A - 14	1級 256630号 萱室 敦司





特記	工事名 令和5年度（消防）第20号 薦原分団葛尾地区消防ポンプ庫 解体及び新築工事	白鳳アーキテック 株式会社	1級建築士事務所 登録（三重1-1987号） 〒518-0775 三重県名張市希央台5番町109番地 TEL 0595-48-6066 FAX 0595-48-6067 E-mail h.a.t@tuba.ocn.ne.jp	承認	管理建築士	印
	図名 新築 部分詳細図2・サイン図 縮尺 A2: 図示 A3: 図示 図面番号 A-16			1級 256630号 萱室 敦司	図面提出日 2023/08/25	



ホース乾燥塔詳細図 S = 1 / 100

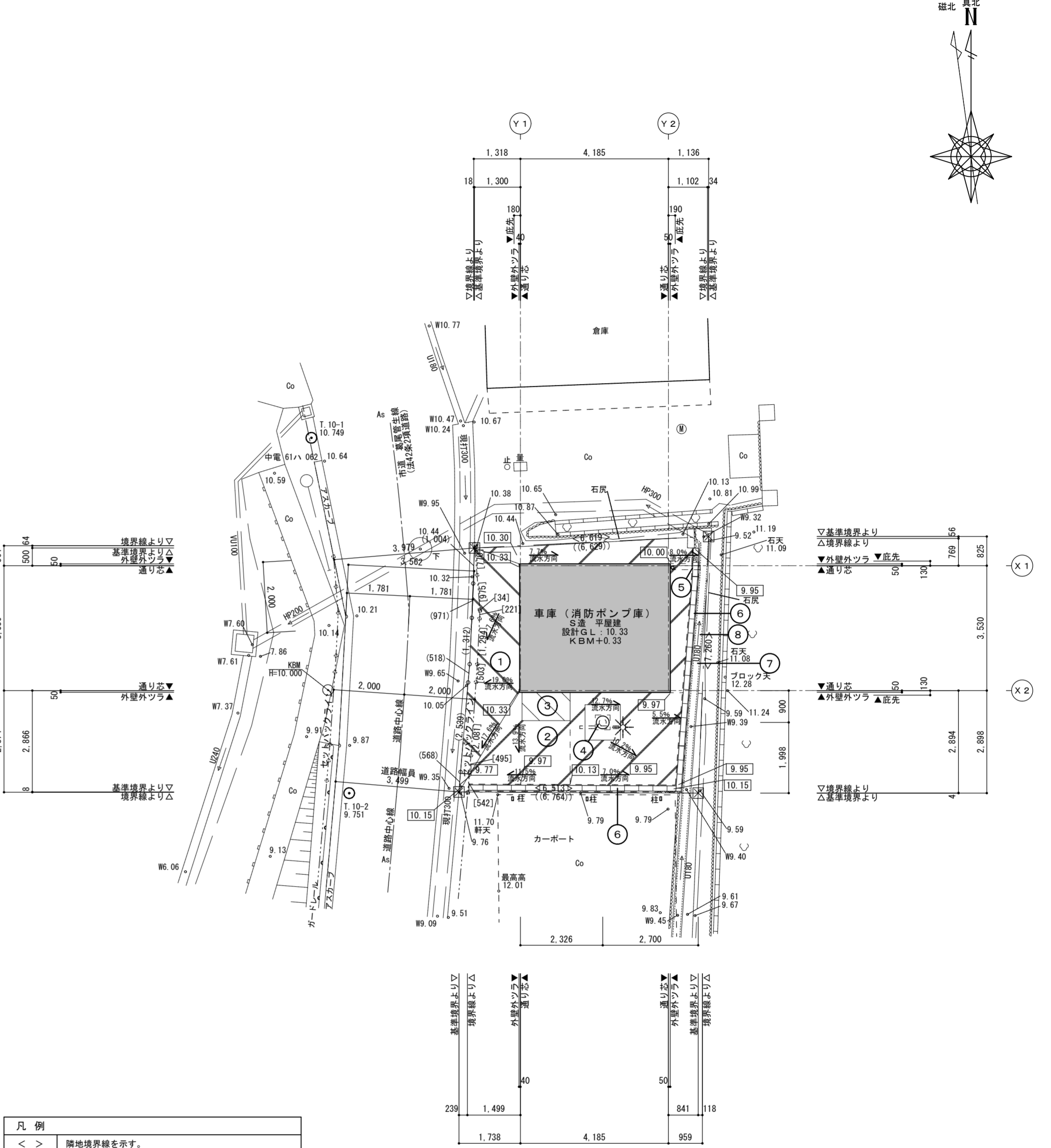
拡大図 S = 1 / 30

※1 既設建物解体後すぐに3t（一点吊り）オーガー掘削の上、4tロングで運搬、荷降ろし、建柱作業。
4t待機・クレーン掘削で半日～1日程度の道路通行制限を想定する。
※2 地盤が悪い為、下部根元は砕石及び砂にて密実に締め固めること。

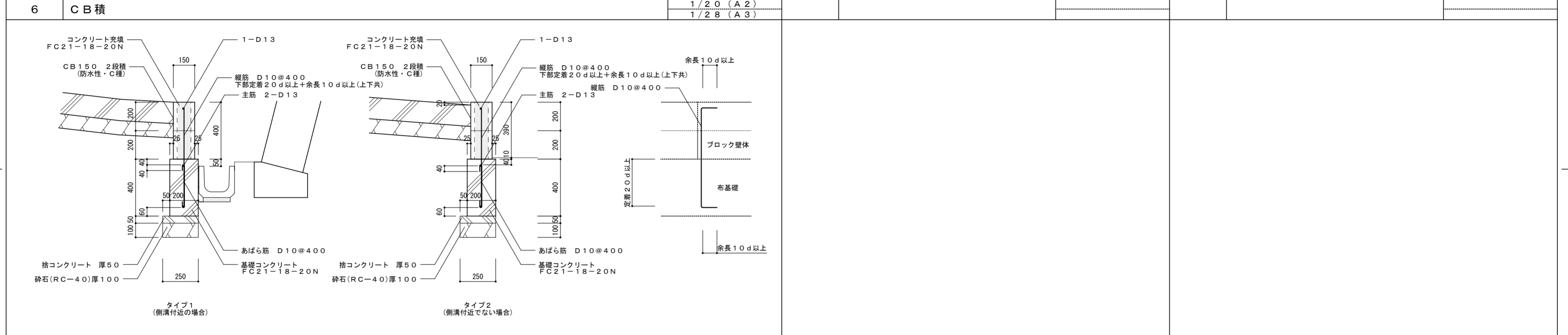
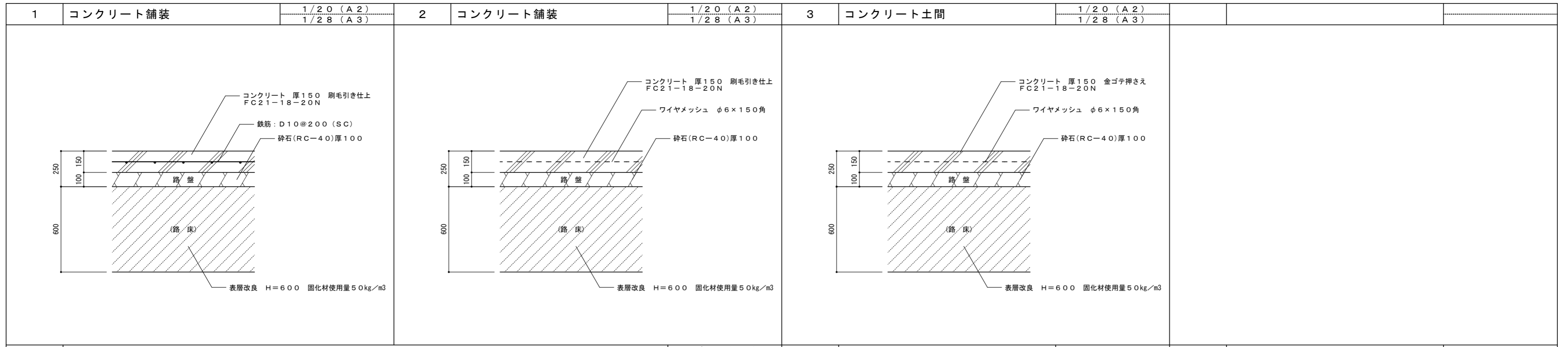
外構工事概要

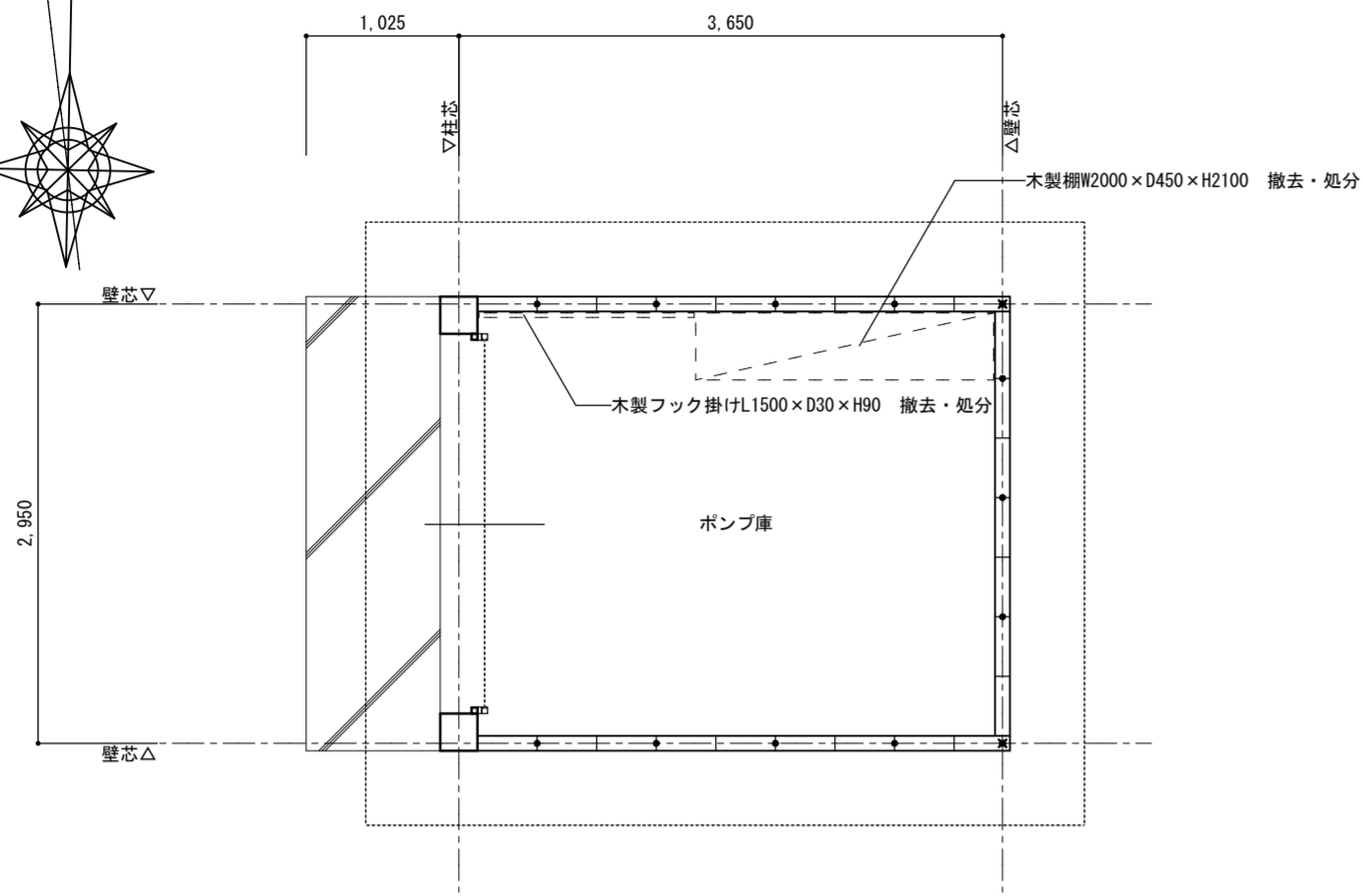
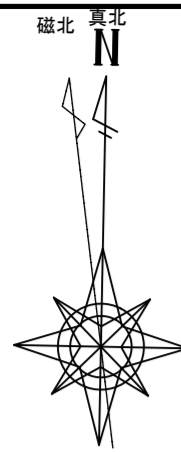
①	コンクリート舗装 (≒7.3m ²)	コンクリート 厚150 刷毛引き仕上、エラストイト@4000程度 (L=4.5m)、 鉄筋: D10@200(S/C)、砕石 厚100、表層改良H=600 固化材使用量50kg/m ³
②	コンクリート舗装 (≒8.0m ²)	コンクリート 厚150 刷毛引き仕上、エラストイト@4000程度 (L=3.8m)、 ワイヤメッシュ φ6×150角、砕石 厚100、表層改良H=600 固化材使用量50kg/m ³
③	コンクリート土間 (≒1.1m ²)	コンクリート 厚150 金ゴテ押さえ (水勾配付) W1.36×D0.80 ワイヤメッシュ φ6×150角、砕石 厚100、表層改良H=600 固化材使用量50kg/m ³
④	ホース乾燥塔	コンクリートホール 長さ: 14.0m ホースハンガー、手動巻き上げウインチ 等付属金物一式
⑤	雨水排水	VUφ100
⑥	CB積	CB150 2段積 ※基礎共 南面: L=5.9m 東面: L=6.9m
⑦	U字溝	U180新設 L=1.8m
⑧	U字溝コンクリート製蓋	取外し、復旧 L=7.0m

凡例	
< >	隣地境界線を示す。
[]	道路境界線を示す。
(())	現況隣地境界線を示す。
()	現況道路境界線を示す。
≪ ≫	水路・河川境界線を示す。
● 191.136	KBMからの現況高さを示す。
□	KBMからの計画高さを示す。



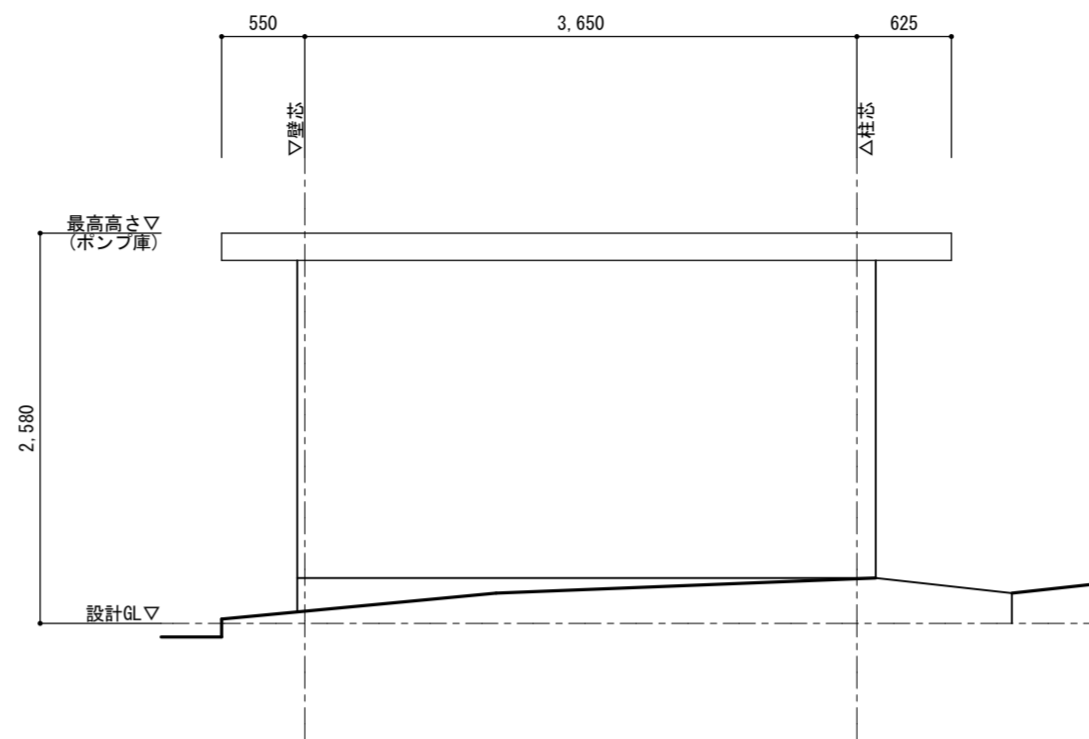
外構図 S = 1 / 100



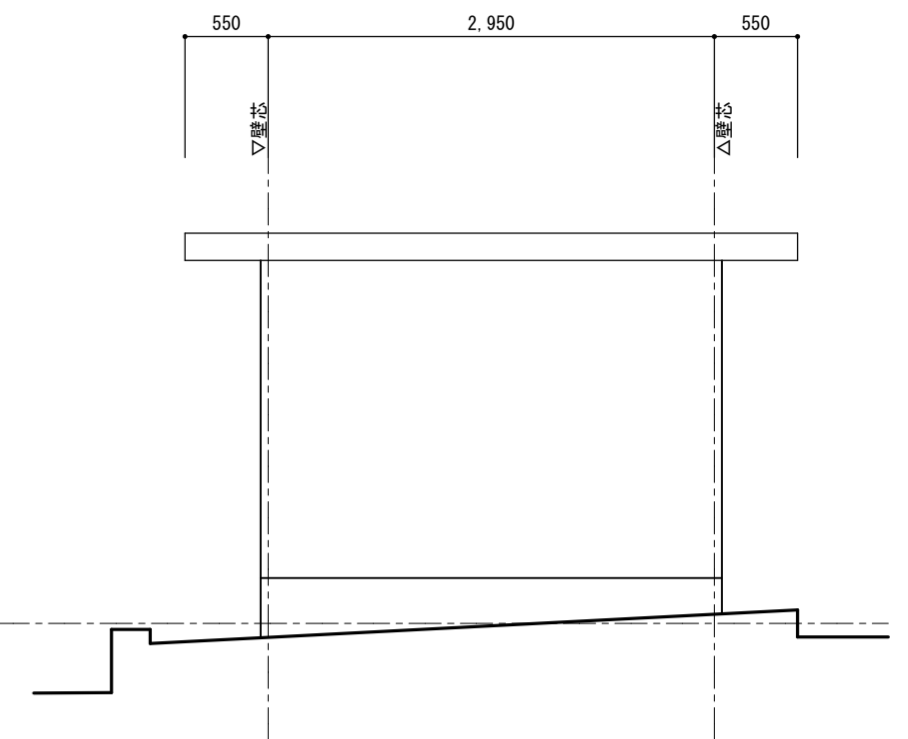


平面図 S = 1 / 5 0

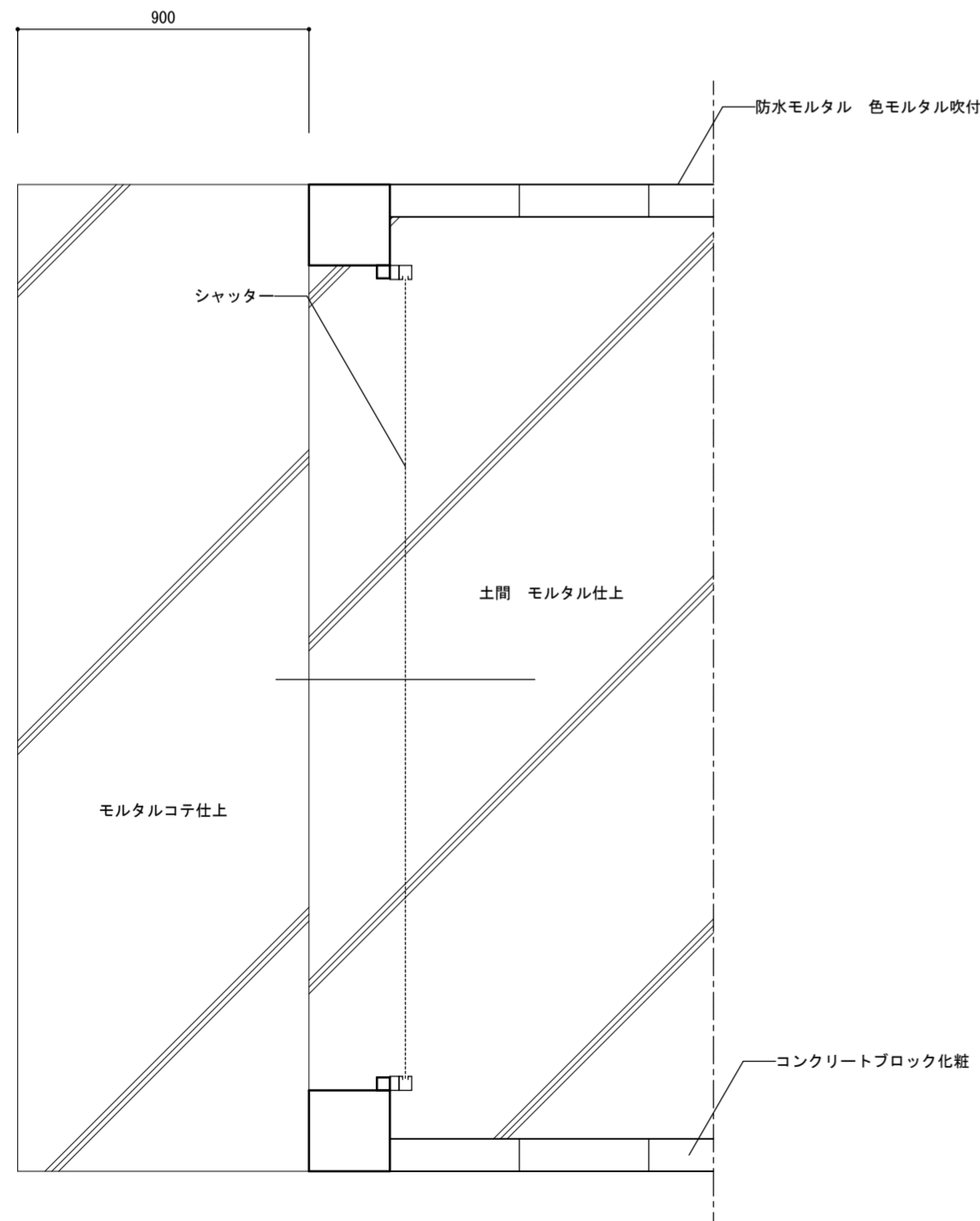
※注
 ・ 9φ 鉄筋
 ※ 13φ 鉄筋



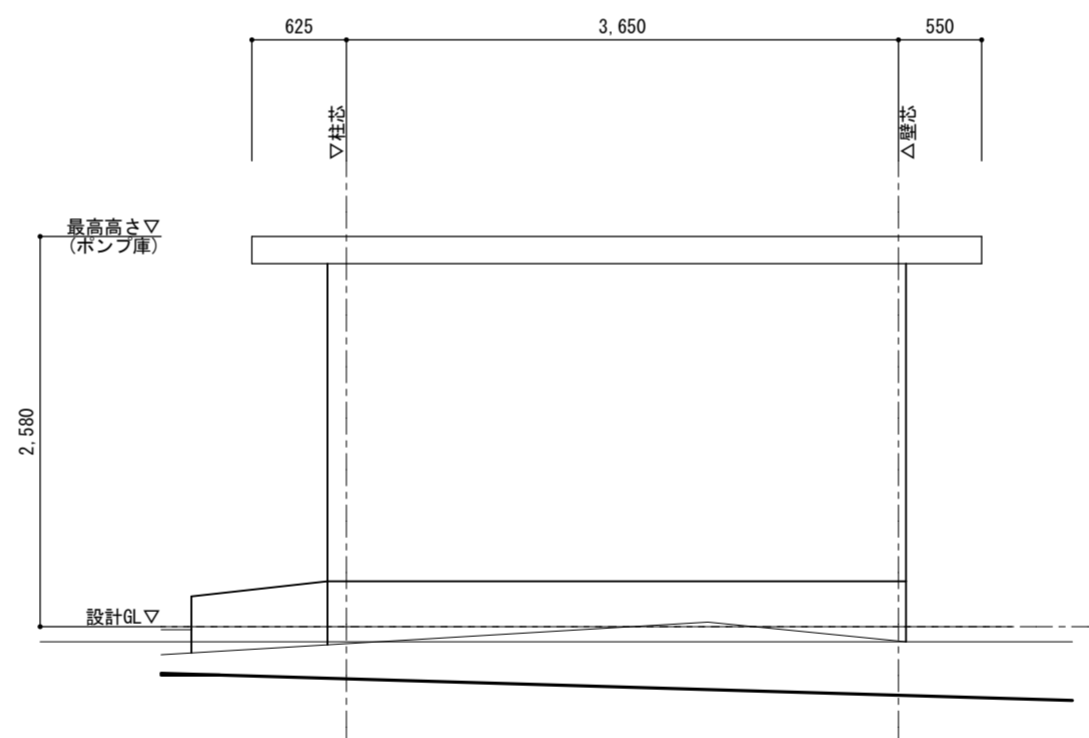
北側立面図 S = 1 / 5 0



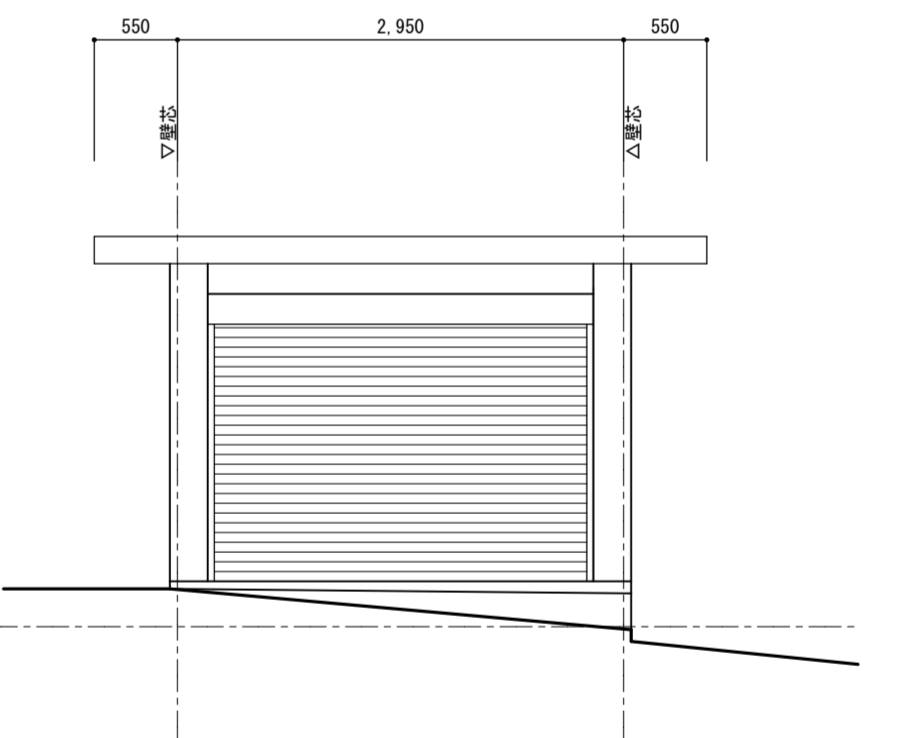
東側立面図 S = 1 / 5 0



平面詳細図 S = 1 / 2 0



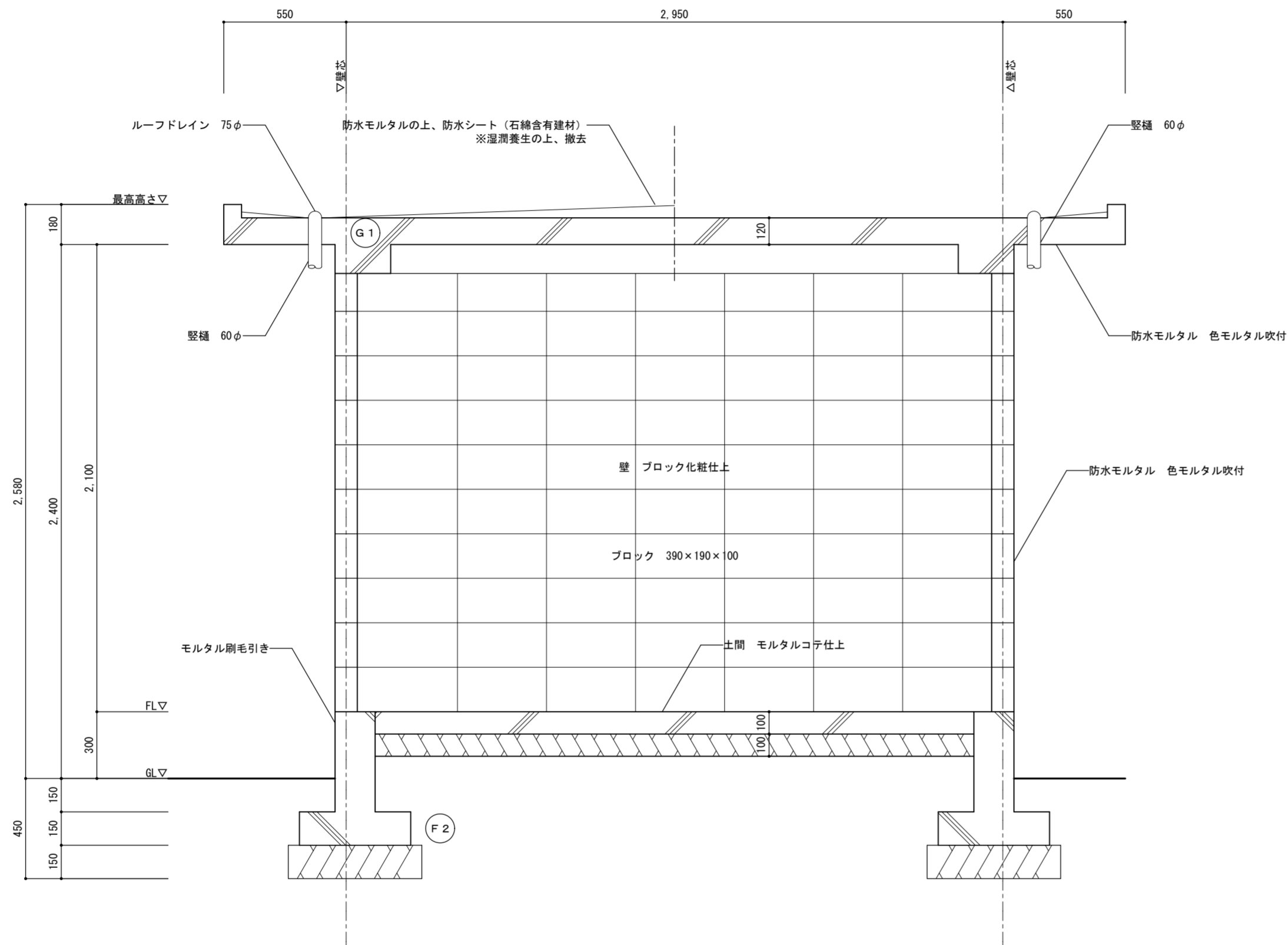
南側立面図 S = 1 / 5 0



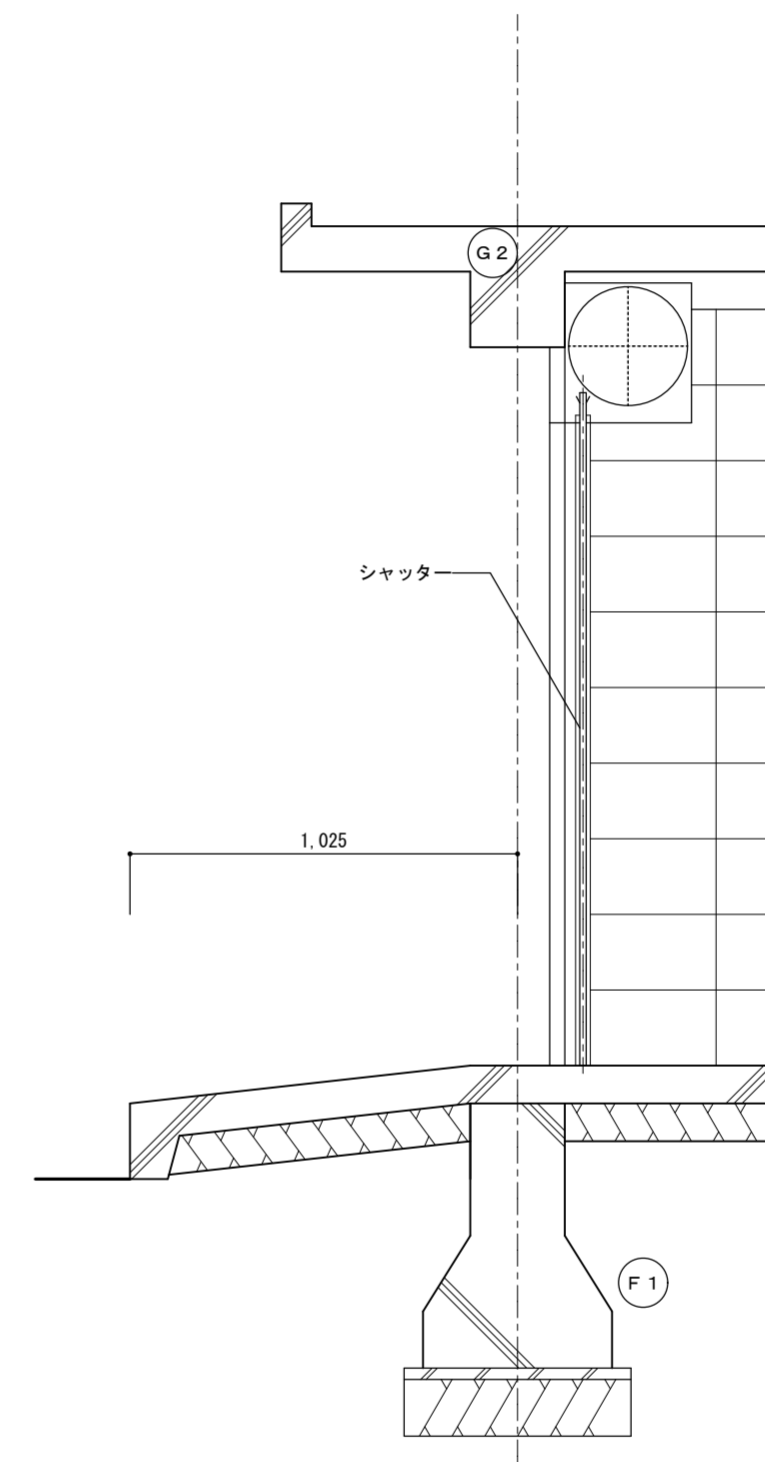
西側立面図 S = 1 / 5 0

外部仕上表 (材料は全て同等品とする。)	
基礎	砕石、鉄筋コンクリート布、外部見掛モルタル刷毛引き
外壁	防水モルタル刷毛引き、色モルタル吹付
屋根	モルタル防水、ルーフトレイン2ヶ所、防水シート (石綿含有建材) ※湿潤養生の上、撤去

内部仕上表 (材料は全て同等品とする。)							
F	室名	床	巾木	腰壁	壁	天井	備考
1	ポンプ庫	モルタルコテ仕上	モルタルコテ仕上	ブロック化粧	ブロック化粧	コンクリート打放し	室内灯 (low)、外灯赤グループ、コンセント

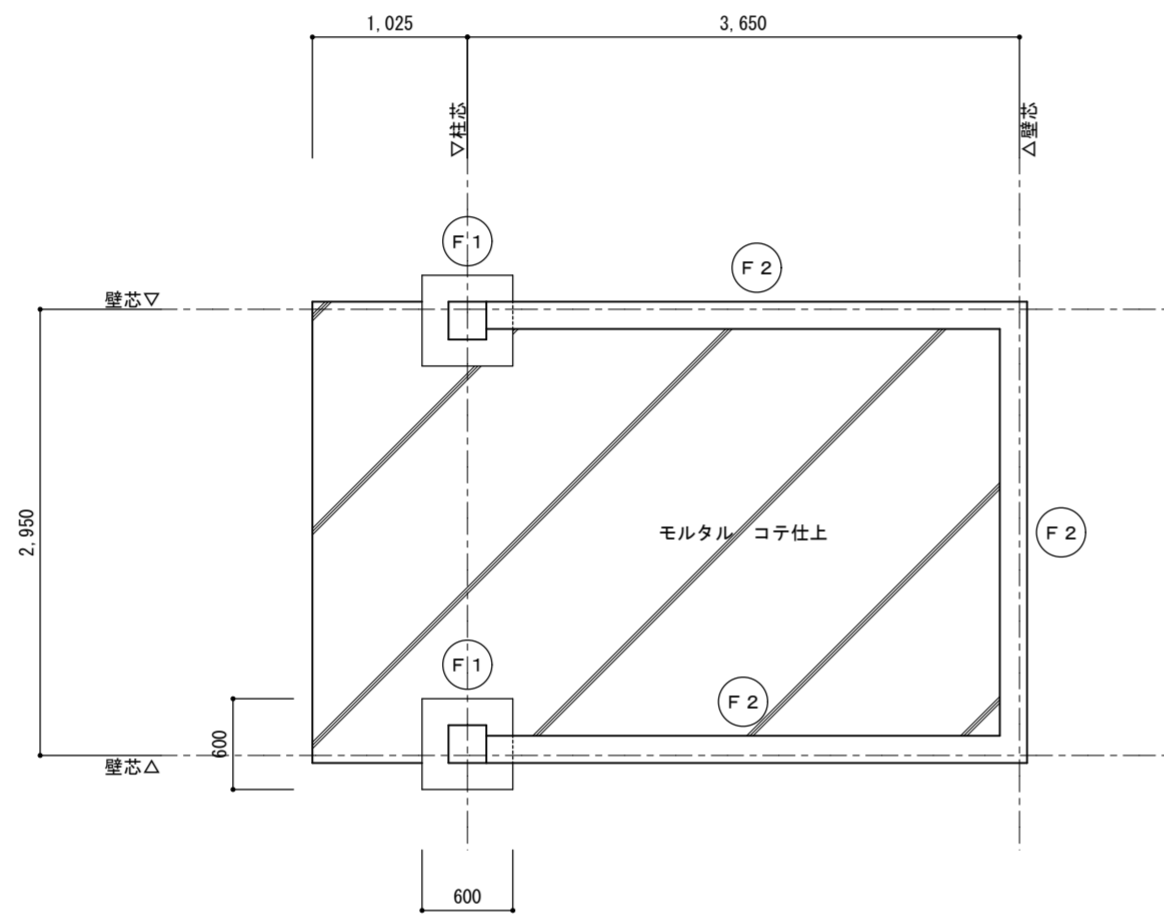
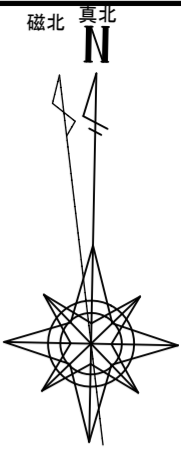


断面詳細図1 S = 1 / 20

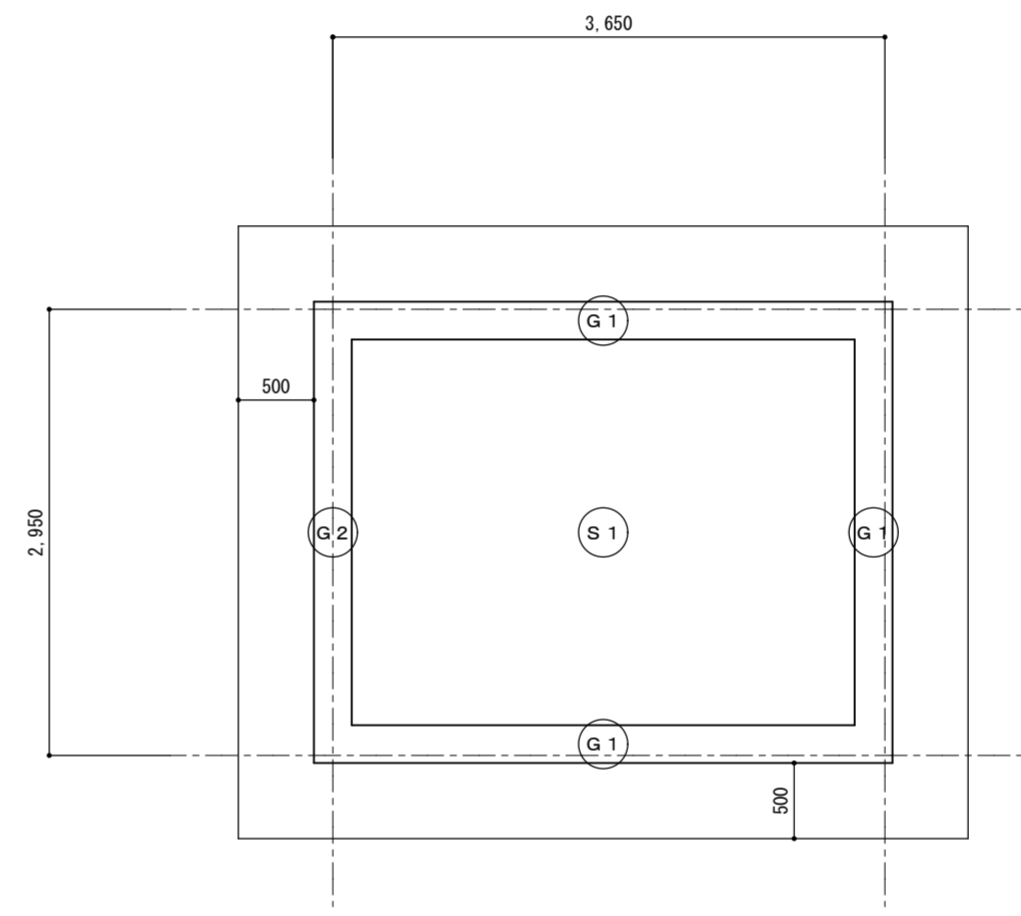


断面詳細図2 S = 1 / 20


特記	※提供図面を元に作成しており、細部位置を確認しているものではありません。	工事名	令和5年度(消防)第20号 蕨原分団葛尾地区消防ポンプ庫 解体及び新築工事		 白鳳アーキテック株式会社	1級建築士事務所 登録(三重1-1987号) 〒518-0775 三重県名張市希中央5番町109番地 TEL 0595-48-6066 FAX 0595-48-6067 E-mail h.a.t@tuba.ocn.ne.jp	承認	管理建築士	印
	図名	現況 断面詳細図	縮尺	A2 : 1 / 20 A3 : 1 / 28		図面番号	A-21	1級 256630号 萱室 敦司	図面提出日

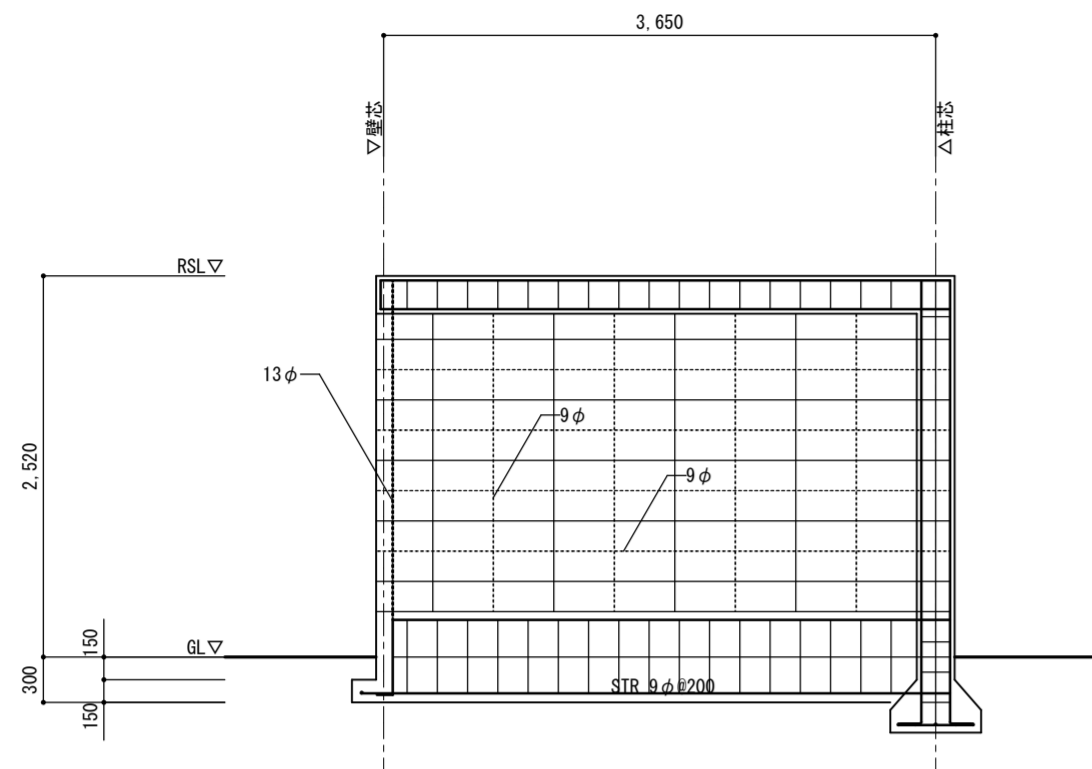


基礎伏図 S = 1 / 5 0

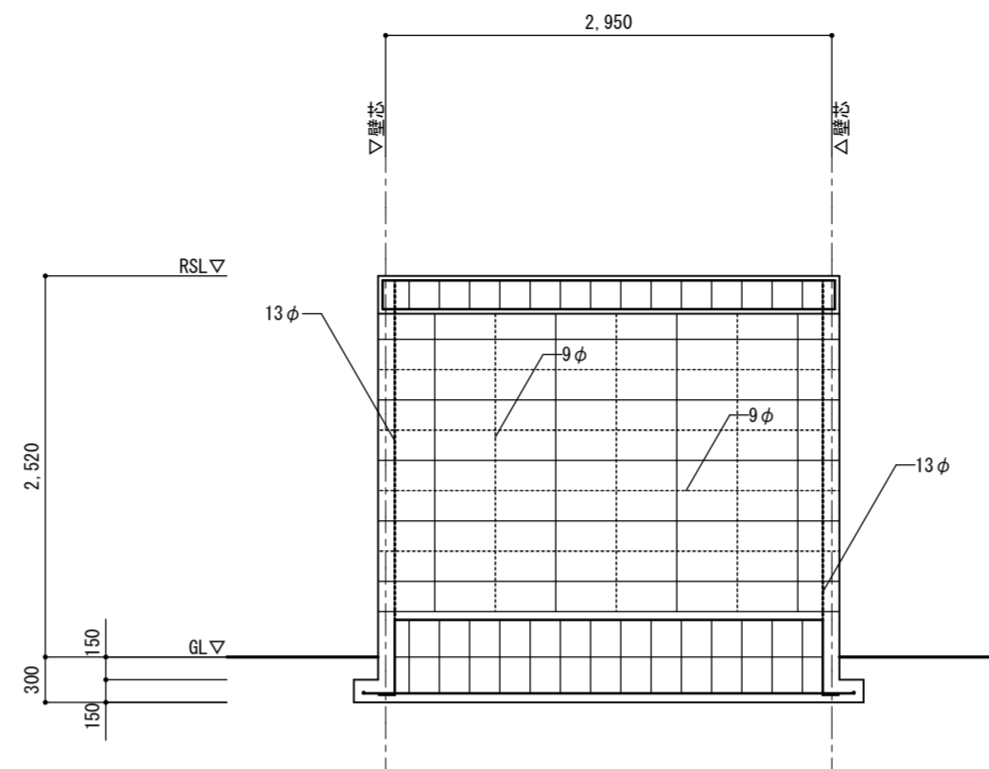


梁伏図 S = 1 / 5 0

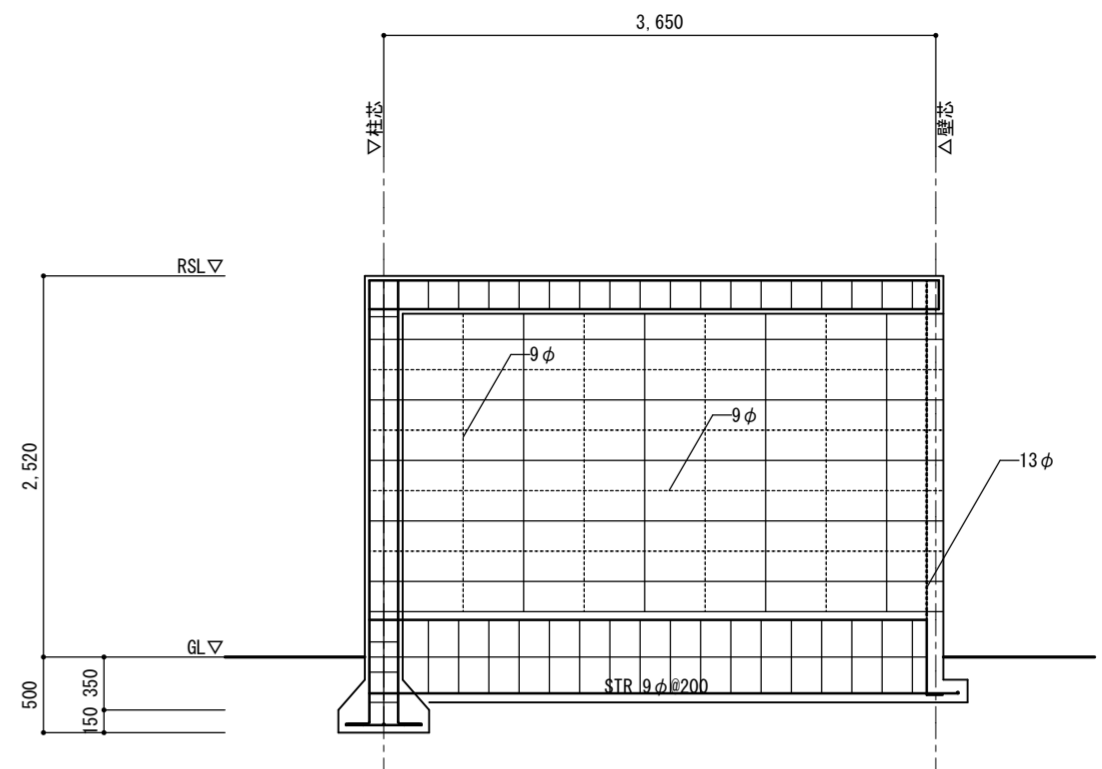
特記	※提供図面を元に作成しており、細部位置を確認しているものではありません。	工事名	令和5年度(消防)第20号 蕨原分団葛尾地区消防ポンプ庫 解体及び新築工事		 白鳳アーキテック 株式会社	1級建築士事務所 登録(三重1-1987号) 〒518-0775 三重県名張市希中央5番町109番地 TEL 0595-48-6066 FAX 0595-48-6067 E-mail h.a.t@tuba.ocn.ne.jp	承認	管理建築士	印
			図名	現況 基礎伏図・梁伏図		縮尺 A2 : 1 / 5 0 A3 : 1 / 7 1	図面番号 A - 2 2	1級 256630号 萱室 敦司	図面提出日



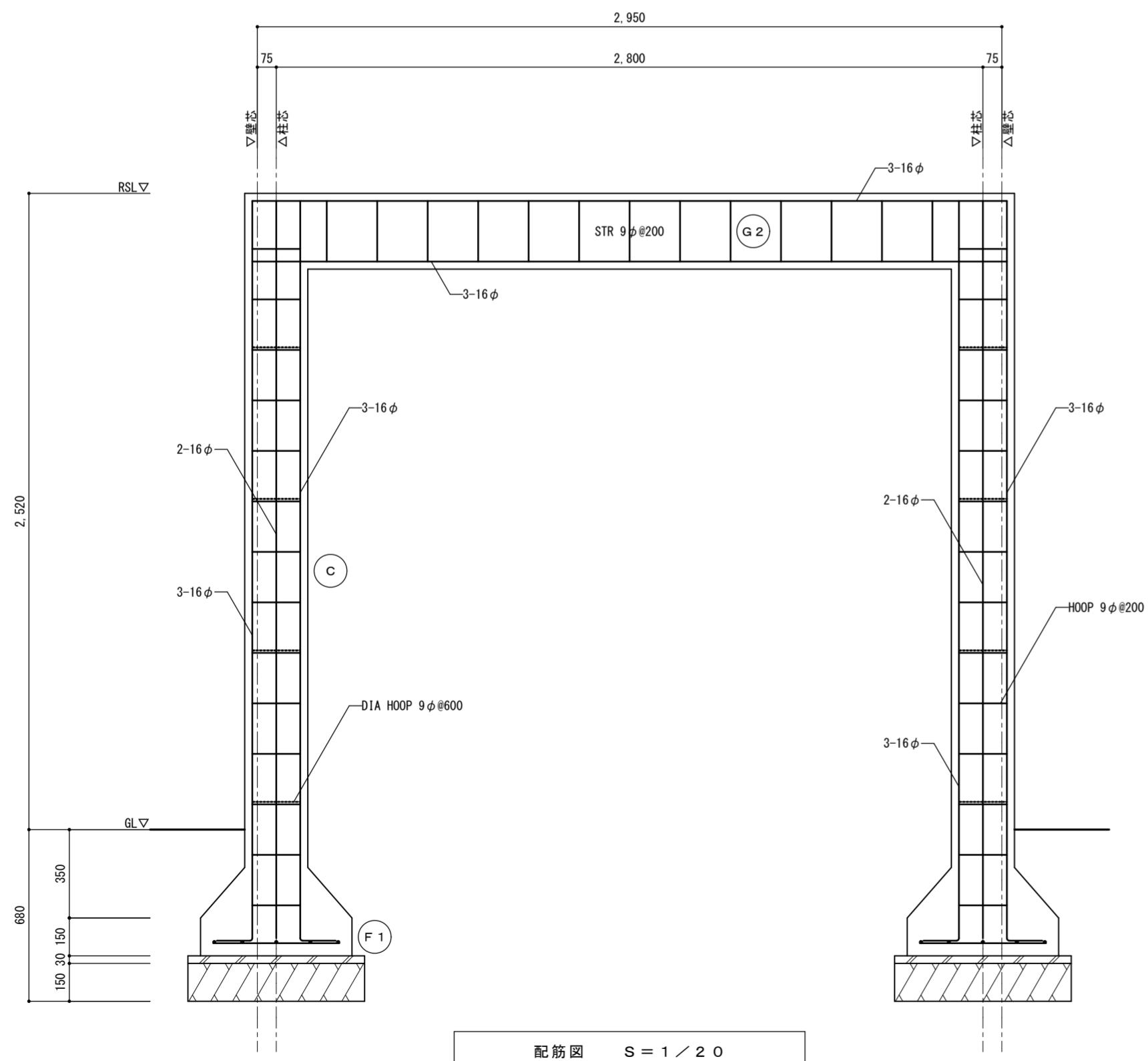
配筋図 S = 1 / 50



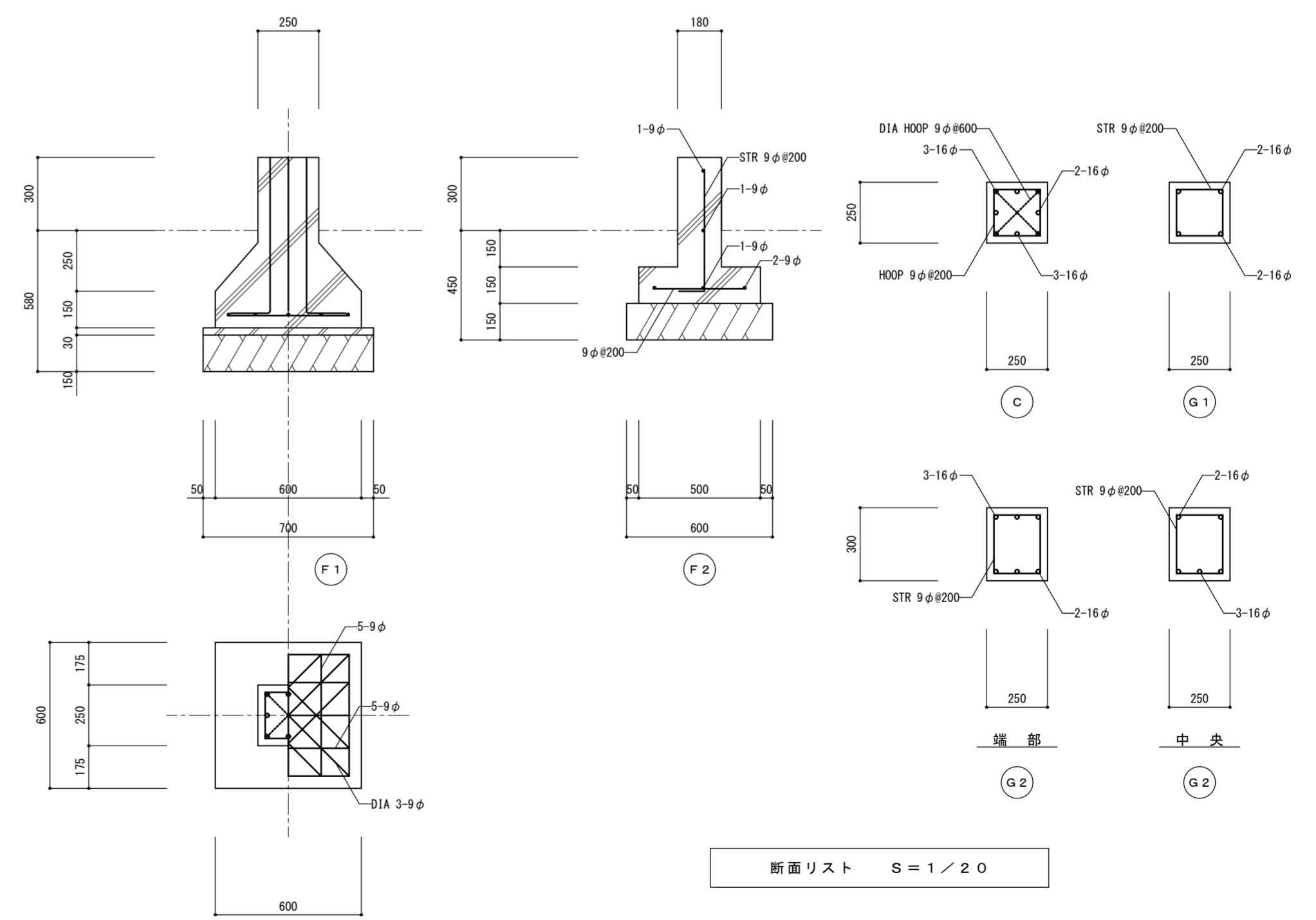
配筋図 S = 1 / 50



配筋図 S = 1 / 50



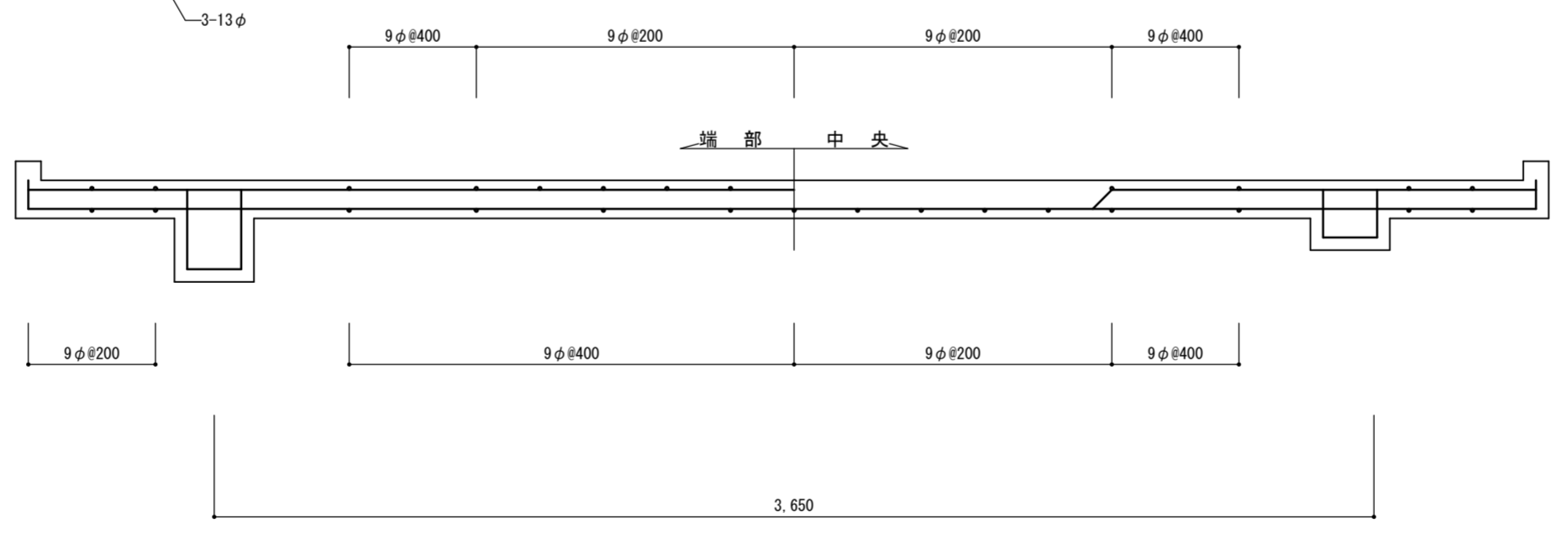
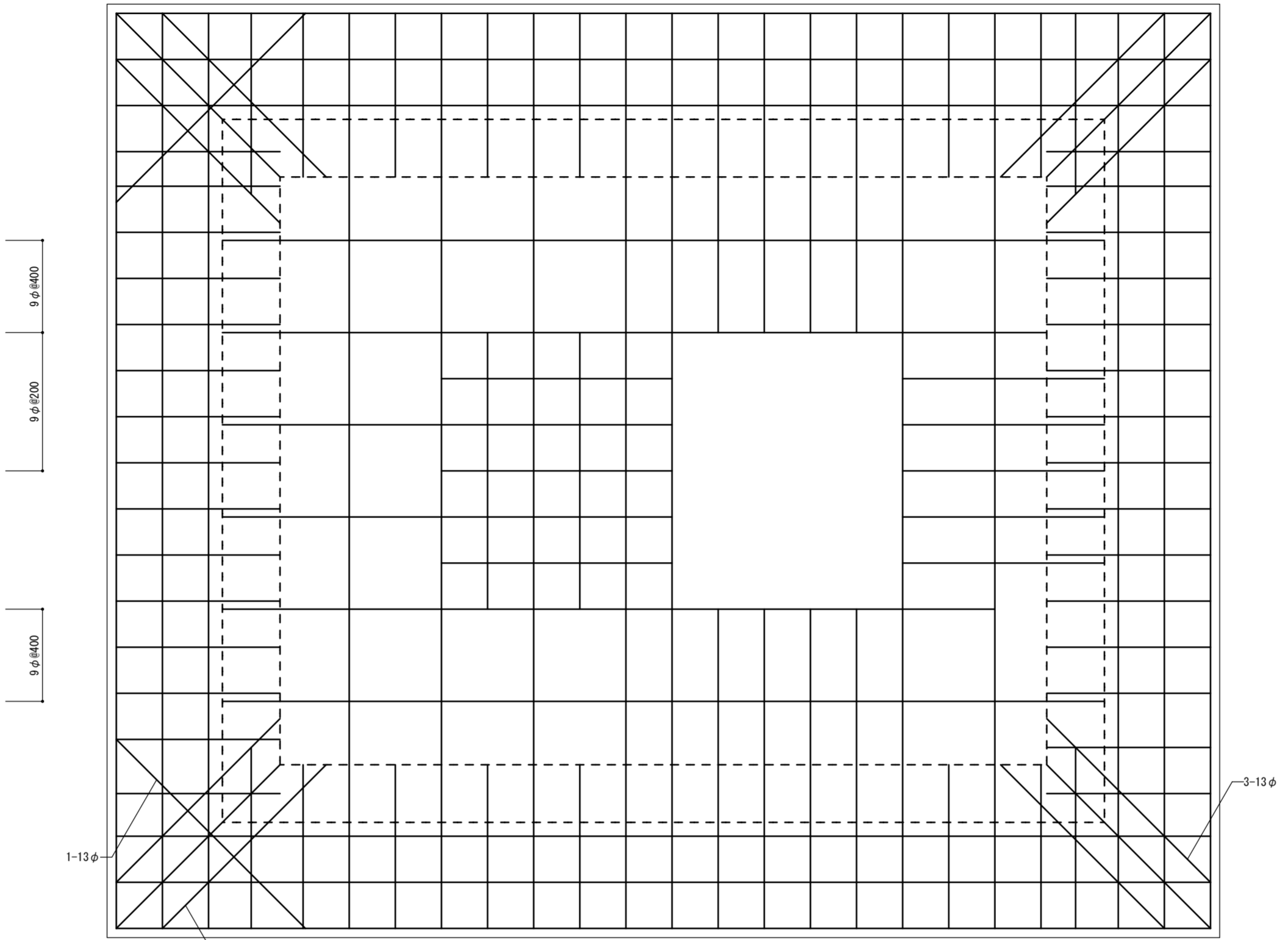
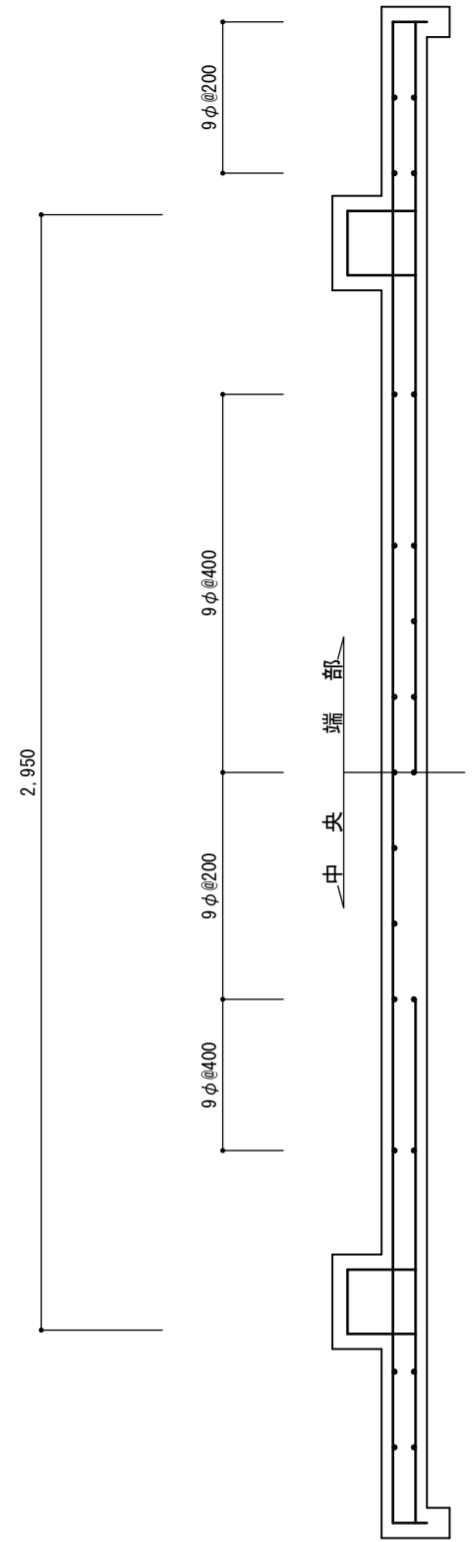
配筋図 S = 1 / 20




断面リスト S = 1 / 20

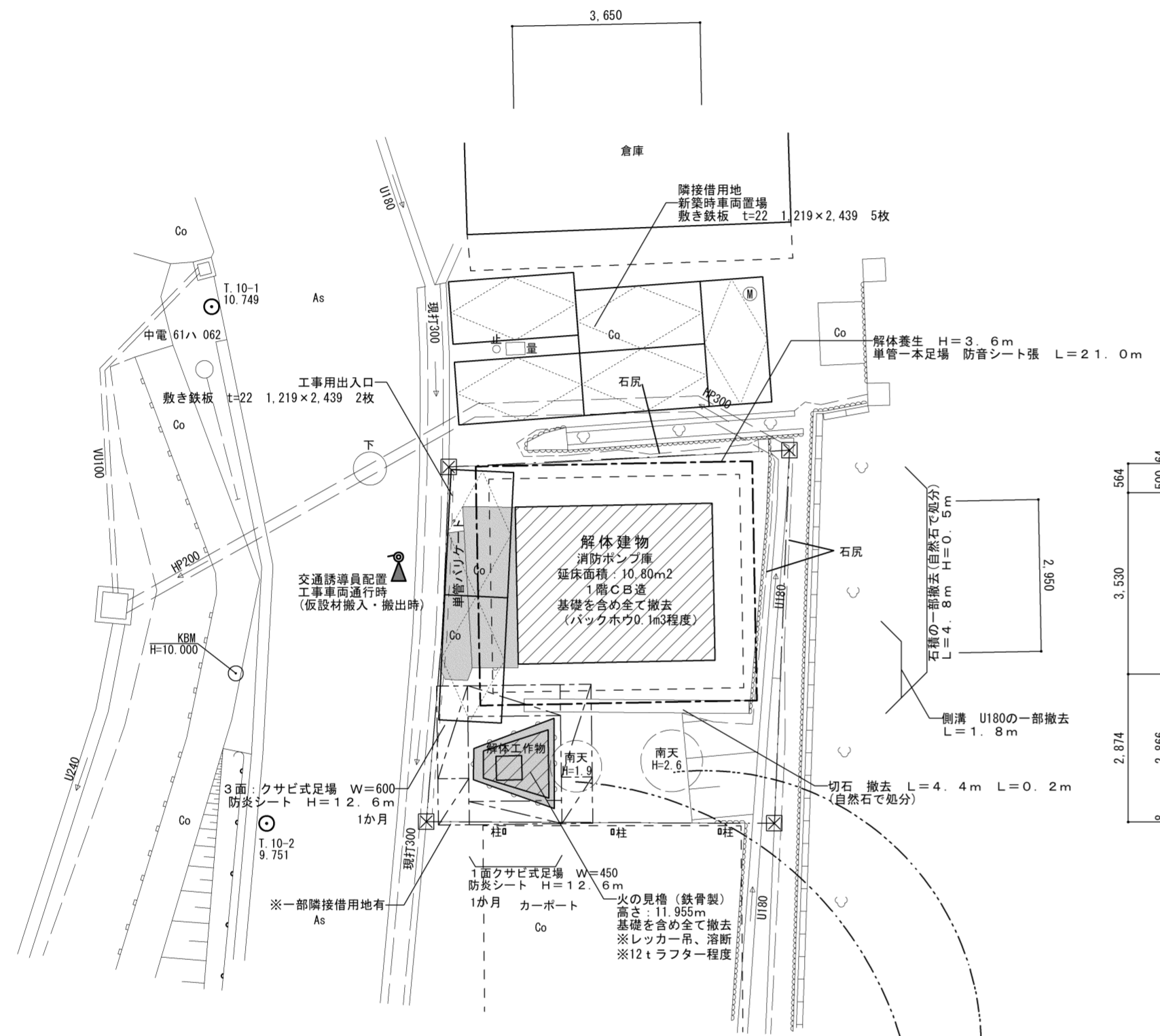
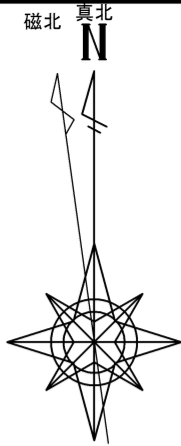
特記	※提供図面を元に作成しており、細部位置を確認しているものではありません。	工事名	令和5年度(消防)第20号 蕨原分団葛尾地区消防ポンプ庫 解体及び新築工事		 白鳳アーキテック 株式会社	1級建築士事務所 登録(三重1-1987号) 〒518-0775 三重県名張市希央台5番町109番地 TEL 0595-48-6066 FAX 0595-48-6067 E-mail h.a.t@tuba.ocn.ne.jp	承認	管理建築士	印
	図名	現況 配筋図・断面リスト	縮尺	A2: 1/20・50 A3: 1/28・71		図面番号	A-23	図面提出日	2023/08/25

下層 上層



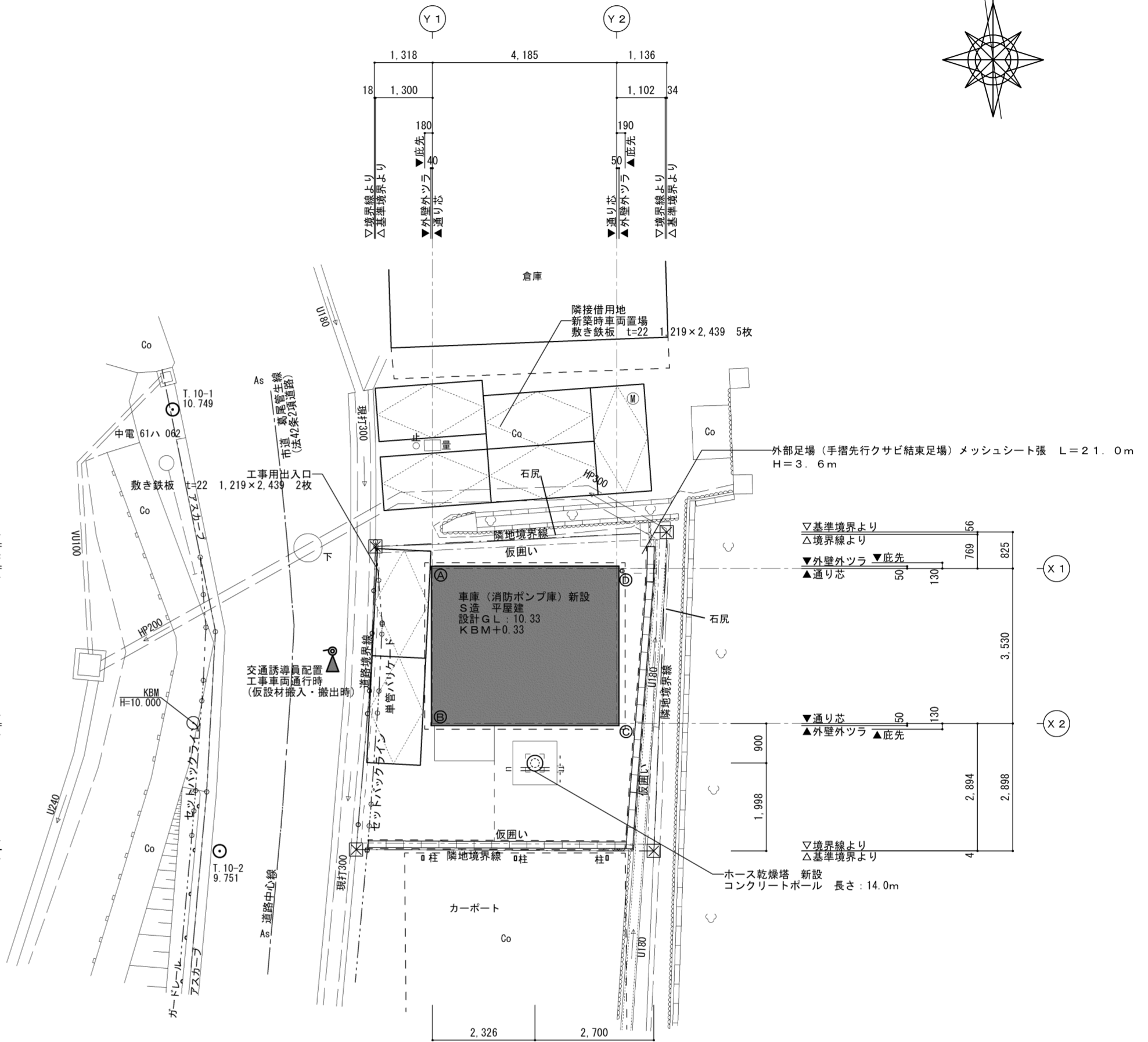
スラブ配筋図 S = 1 / 2 0

特記	※提供図面を元に作成しており、細部位置を確認しているものではありません。	工事名	令和5年度(消防)第20号 蕨原分団葛尾地区消防ポンプ庫 解体及び新築工事	 白鳳アーキテック 株式会社	1級建築士事務所 登録(三重1-1987号) 〒518-0775 三重県名張市希央台5番町109番地 TEL 0595-48-6066 FAX 0595-48-6067 E-mail h.a.t@tuba.ocn.ne.jp	承認	管理建築士	印
		図名	現況 スラブ配筋図		縮尺 A2 : 1 / 20 A3 : 1 / 28	図面番号 A-24	1級 256630号 萱室 敦司	図面提出日



- 凡例 (指定仮設)
- 出入口: 単管バリケード L=6.60m 3か月
 - 敷鉄板範囲を示す。敷き鉄板 t=22 1,219×2,439 計7+6枚 3か月(火の見櫓解体後に6枚追加 1週間程度)
 - 交通誘導員Bを示す。(延べ10人程度)
- ※処分解体跡は、敷き均し整地とする
※解体用 12t ラフター 1台

解体時仮設計計画図 S=1/100



- 凡例 (指定仮設)
- 仮囲い: メッシュシート H=1.8m L=19.8m 2か月
単管一本足場下地 (養生に対しては、近隣協議の上設置すること)
 - 出入口: 単管バリケード L=6.60m 3か月
※解体時からそのまま流用
 - 敷鉄板範囲を示す。敷き鉄板 t=22 1,219×2,438 7枚 3か月
 - 交通誘導員Bを示す。(延べ8人程度)

※工事用仮囲いの位置や工事用車両経路等は、十分施設側と協議の上決定すること。
※大型工事車両進入時(仮設材搬出時、撤去材搬出時、資材搬入時等)には必ず交通誘導員を配置すること。
※工事用車両の駐車場及び資材置き場については、監督員及び地区長と協議の上、決定すること。
※必要に応じて適切な路面等の養生を行うこと。

仮設計計画図 S=1/100

特記	※提供図面を元に作成しており、細部位置を確認しているものではありません。 ※前面道路は原則通行止めは不可とする。	工事名	令和5年度(消防)第20号 蕨原分団葛尾地区消防ポンプ庫 解体及び新築工事		 白鳳アーキテック 株式会社	1級建築士事務所 登録(三重1-1987号) 〒518-0775 三重県名張市希央台5番町109番地 TEL 0595-48-6066 FAX 0595-48-6067 E-mail h.a.t@tuba.on.ne.jp	承認	管理建築士	印
	図名	仮設計計画図	縮尺	A2: 1/100 A3: 1/141		図面番号	A-25	1級 256630号 萱室 敦司	図面提出日

構造特記仕様書 2020年度版

§1 一般事項
 選択項目は◎印を適用し、○印が無い場合は*印を適用する。
 ○印が複数有る場合は、共に適用する。

1-1 使用材料は原則としてJIS規格品、又は大臣認定品とする。
 1-2 設計図書は優先順位は下記による。

1)本特記仕様書
 2)設計図
 3)標準図 (◎鉄筋コンクリート構造配筋標準図 ◎鉄骨工作標準図
 ・鉄筋鉄骨コンクリート構造標準図 ・高強度せん断補強筋施工仕様書
 ・鉄筋コンクリート壁式標準配筋図)

4)仕様書 (・公共建築協会 ・日本建築家協会)
 5)日本建築学会標準仕様書・JASS5・JASS6

1-3 各工事に際して、施工計画書及び施工図を提出し、工事監理者の承諾を得る。
 1-4 構造関係材料及び各種試験成績書・検査報告書を作成し提出する。
 第三者機関による検査・試験費用は工事費に(含む 含まない)
 1-5 設計図書に示されていない材料、工法等を採用する場合は文書にて工事監理者の承諾を得る。
 1-6 梁貫通位置、径、及び箇所数は(・意匠図 ・構造図 ・設備図)による。
 1-7 その他

§2 構造計算ルート

2-1

方向	構造計算ルート
X	◎ルート1-1 ・ ルート2 ・ ルート3
Y	◎ルート1-1 ・ ルート2 ・ ルート3

2-2 鉄筋の継手
 構造計算ルート別による主筋又は、耐力壁の鉄筋の継手の重ね長さ
 ・ 建築基準法施行令第73条(改令第73条第2項)による仕様規定
 ・ 日本建築学会 JASS5(2015)鉄筋コンクリート造配筋指針・同解説
 ・ 日本建築学会 RC規準2010
 XY両方向共ルート3及び限界耐力計算の場合は、改令第73条の仕様規定によらずJASS5(2015)鉄筋コンクリート造配筋指針・同解説及びRC規準2010とすることができる。

§3 仮設工事、土工

3-1 山留め、根切り
 3-2 埋戻し土、盛土、残土処分
 埋戻し土 ◎根切り土の中の良土 ・ 搬入良土
 盛土 ◎根切り土の中の良土 ・ 搬入良土
 残土処分 ・ 場内地均し ◎場外搬出処分(*自由 ・ 指定場所)

§4 地業工事

4-1 基礎及びスラブ下地業 (単位mm)

場所	※(1) 捨てコンクリート厚さ	A : 砕石 B : 割栗石				厚さ
		50	60	100	150	
基礎	独立布	◎50	◎60	◎100	◎A	◎B
	ベタ	◎50	◎60	◎100	◎A	◎B
地中梁		◎50	◎60	◎100	◎A	◎B
構造スラブ		◎50	◎60	◎100	◎A	◎B
土間スラブ	屋内	◎50	◎60	◎100	◎A	◎B
	屋外	◎50	◎60	◎100	◎A	◎B

注(1)アンカーボルト支持用フレームの、あと施工アンカーを打込む部分は100以上とする。
 (2)端部は100以上とする。

4-2 設計地耐力 長期 50 kN/m² 短期 100 kN/m² 終局 kN/m²
 地耐力載荷試験 ・ 行う(箇所、長期設計耐力の3倍を確認する) *行わない

4-3 地盤改良 ◎室内配合試験を行う
 ・ 無筋コンクリート地業 ・ 締固め工法 ・ ソイルセメント杭
 ◎セメント系固化材攪拌 ・ 圧密排水工法 ・ ラップルコンクリート
 [・ 載荷試験 ◎一軸圧縮試験] ◎行う (3箇所) *行わない
 [◎六価クロム溶出試験] ◎行う *行わない

4-4 既製コンクリート杭、鋼管杭、その他特殊杭
 1)杭種
 ・ PHC杭 ・ A種 ・ B種 ・ C種
 ・ ST杭 ・ A種 ・ B種 ・ C種
 ・ SC杭 t mm
 ・ PRC杭 ・ I種 ・ II種 ・ III種 ・ IV種
 ・ 節杭 ・ A種 ・ B種 ・ C種

2)工法
 ・ 打撃工法 ・ 油圧ハンマー ・ ディーゼルハンマー
 ・ 埋込み工法 ・ プレポーリングセメントミルク注入工法
 ・ プレポーリング拡大根固め工法(認定工法)
 杭周固定液 ・ あり ・ なし
 ・ 中掘拡大根固め工法(認定工法)
 ・ 回転埋設根固め工法(認定工法)

3)杭径、設計耐力、本数表

杭径(底部部)mm	長期kN	短期kN	終局kN	本数	備考
()					
()					
()					
()					

4)杭の構成は設計図による。
 5)杭頭補強
 ・ かご筋 ・ スタッド溶接 ・ 杭外周溶接

4-5 場所打鉄筋コンクリート杭、場所打鋼管コンクリート杭

1)工法
 ・ アースドリル工法 ・ 拡底アースドリル工法
 ・ リバース工法 ・ オールケーシング工法 (・ベント工法)
 ・ BH工法

2)杭径、設計耐力、本数表(拡底部は施工図を示す)

杭径(底部部)mm	管厚mm	長期kN	短期kN	終局kN	本数	備考
()						
()						
()						
()						
()						

3)杭先端深さ $q_{ul} = m$
 4)孔型測定 (2方向)
 ・ 行う (全数 %) ・ 行わない

5)使用材料 コンクリートの仕様は設計図による。特記のない場合JASS5水中コンクリートによる。

コンクリート F_c (・普通ポルトランドセメント ・ 高炉セメント B種)
 鉄筋 ・ D 以下 SD295A ・ D 以上 SD345
 ・ D 以上 SD390
 鋼管(リブ付) ・ SKK400 ・ SKK490

4-6 杭打地業共通事項
 1)[・ 杭長決定用先行杭 ・ 試験掘] ・ 行う(本) ・ 行わない
 2)載荷試験 行う(箇所、長期設計耐力の3倍を確認する) *行わない
 3)SL散布 ・ 行う *行わない

§5 鉄筋工事

5-1 材種

種類	径	継手
◎SD295A	D 16 以下	◎重ね継手 ・ スパイラル ・ 工場溶接
・ SD345	D 19 以上	・ 重ね継手 ・ 溶接継手 ・ 機械継手(級)
・ SD390	D 以上	* 溶接継手 ・ 機械継手(級)
・ SD490	D 以上	* 溶接継手 ・ 機械継手(級)
◎溶接金網	6φ@150	◎重ね継手
・ 高強度せん断補強筋	・ 1275級 P ・ 785級 K ・ 685級 UD UR	・ 重ね継手 ・ スパイラル ・ 工場溶接

溶接継手 ・ ガス圧接 ・ 突き合せ溶接(D16以下は重ねアーク溶接でも可)
 溶接部の検査(第三者機関による)外観検査全般
 ・ 抜取り検査
 ・ 引張り試験 (JISZ3120)
 1検査ロットにつき ◎3本 ・ 原則 柱・梁の径毎に3本
 ・ 超音波探傷試験 (JISZ3062) ・ 熱間押抜き試験
 1検査ロットにつき ・ 30箇所
 ○ 不合格となった溶接部は切り取って再溶接を行う。また残り全数に対して超音波探傷試験を行う。
 1検査ロットは1組の作業班が1日に施工した溶接箇所の数量で200箇所以内

5-3 梁貫通補強
 補強筋は原則として工場製品(評定品)を使用する。
 その他
 基礎梁、基礎小梁の継手及び定着は原則として ①一般 ・ ②地反力を受ける
 ・ ③上載荷重が大きい場合 とする。
 鉄筋の組立は適切な位置にスペーサーを使用し、組立後は形状保持のための養生を行う。
 コンクリートを2回打する部材は、初回の打設後に鉄筋の清掃を行う。
 コンクリート打設前に工事監理者の検査を受け不備な箇所は修正を行う。

§6 コンクリート工事

6-1 設計基準強度 (N/mm²)
 1)セメント ◎普通ポルトランドセメントJISR5210 ・ 高炉セメントB種
 ・ 低熱ポルトランドセメントJISR5210
 2)粗骨材 ・ 砂利 ◎砕石 ・ 高炉スラグ骨材 ・ 人工軽量骨材 ・ 再生骨材
 最大径(mm) ◎20 ・ 25 ・ 40
 3)躯体
 ・ 普通コンクリート
 ・ Fc18 ◎Fc21 ・ Fc24 ・ Fc27 ・ Fc30 ・ Fc
 ・ 軽量コンクリート(*1種 ・ 2種 気乾単位容積質量 *18.5)
 ・ LFc18 ・ LFc21 ・ LFc24 ・ LFc27 ・ LFc30 ・ LFc

4)土間コンクリート ◎Fc 21 (ただし柱、壁等と同時に打込む場合は躯体の強度とする)
 5)捨てコンクリート ◎Fc 18
 6)防水押さえコンクリート ・ Fc ・ LFc (気乾単位容積質量 *18.5)
 7)かさ上げコンクリート ・ Fc ・ LFc (気乾単位容積質量 *18.5)
 6-2 混和材 *AE減水剤 ・ 高性能AE減水剤 ・ 躯体防水材料 ・ 膨張材

注1.混和剤は所定の品質を確保するためにプラントの特性に応じたものを使用する。

箇所	基礎、地中梁	一般	土間コンクリート	捨てコンクリート	備考
スランプ cm	18	18	18	15	
水セメント比 %	60以下	60以下	65以下		60以下
単位水量 kg/m ³	185以下	185以下	185以下		185以下
単位セメント量 kg/m ³	270以上	270以上	270以上	250以上	270以上

6-4 試験(躯体コンクリートの28日圧縮試験は公的機関において行う)
 1)骨材 [◎塩分含有量 ◎アルカリシリカ反応性] ◎行う ・ 行わない
 2)フレッシュコンクリート [◎スランプ ◎空気量] ◎行う ・ 行わない
 3)躯体のせき板取り外し時期決定圧縮試験 ◎行う ・ 行わない
 4)コンクリートコア抜き取り圧縮試験 ・ 行う ◎行わない
 5)マスコンクリートのひび割れ照査(温度応力解析) ・ 行う ◎行わない
 6)単位水量測定 ・ 行う ◎行わない

6-5 調合(補正値は工事費に含む)
 計画供用期間の級()は耐久設計基準強度F_d
 ・ 短期(18) ◎標準(24) ・ 長期(30) ・ 超長期(36)
 調合管理強度 F_m=Max(F_c, F_d)+S S=3~6
 材齢28日の調合強度Fは下記の両式を満足するものとする。
 F≥F_m+1.73σ F≥0.85F_c+3σ

6-6 せき板及び支柱の在置期間(普通ポルトランドセメントの場合)

	基礎、梁側、柱、壁	スラブ下	梁下
コンクリートの材料	15℃以上	3日	17日
の材料	5℃以上	5日	25日
による場合	0℃以上	8日	28日
圧縮試験による場合	5N/mm ²	0.85F _c または12N/mm ²	設計強度

6-7 住宅性能表示
 劣化等級 ・ 等級2 ・ 等級3
 劣化等級2又は3を指定する場合は、鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)2-7かぶり厚さが変わる場合があるので注意すること。
 6-8 Fc36を超える高強度コンクリートは別記特記仕様書(JASS5等)による。

§7 鉄骨工事

7-1 材種及び使用箇所

規格名称	鋼材名	柱	通し	内	大梁	プレス	小梁
一般構造用圧延鋼材	・ SS400		ダイア	ダイア			
溶接構造用圧延鋼材	・ SM400A ・ SM490A						
建築構造用圧延鋼材	・ SM400A ・ SM400B ・ SM490B						
一般構造用角形鋼管	・ SN400C ・ SN490C						
冷間成形角形鋼管	・ STKR400 ・ STKR490						
熱間成形角形鋼管	・ BCR295 ・ BCP235						
一般構造用炭素鋼管	・ SHC400B ・ SHC400C						
一般構造用軽量鋼管	・ SHC490B ・ SHC490C						
建築構造用圧延棒鋼	・ STK400 ・ STK490						
・ SS400							
・ SNR400B							

7-2 高力ボルト

高力ボルトの種類	使用箇所
トルシア形高力ボルト	* S10T 全般
JIS形高力ボルト	* F10T トルシア形が使用できない部分
溶融亜鉛メッキ高力ボルト	* F87 母材が亜鉛メッキされている部分
超高力ボルト	* S14T 屋内環境

7-3 普通ボルト、アンカーボルト
 1)材質 ◎SS400 ・ SS490 (M以上)
 ・ ABR400 ・ ABR490 ・ ABM400 ・ ABM490(ABMはM24以上)
 2)大臣認定柱脚(メーカー仕様による) ・ 使用する ・ 使用しない
 頭付きスタッド

径	長さ(mm)	使用箇所
16φ	・ 80 ・ 100 ・ 120 ・ 150	
19φ	・ 80 ・ 100 ・ 120 ・ 150	
22φ	・ 100 ・ 120 ・ 150	

7-5 溶接材料
 1)アーク溶接に使用する溶接棒、ワイヤ及びフラックスは母材の種類、寸法、及び溶接条件に相応したものを選定する。
 2)ガスシールドアーク溶接に使用するシールドガスは溶接に相応したものとする。

7-6 スカラップ形状 ・ スカラップ工法 ・ ノンスカラップ工法
 7-7 継手

	柱	梁
フランジ	・ 高力ボルト ・ 現場溶接	* 高力ボルト ・ 現場溶接
ウェブ	・ 高力ボルト ・ 現場溶接	* 高力ボルト ・ 現場溶接

7-8 溶接手法及び管理
 1) 使用する溶接ワイヤー、入熱量及びバス間温度等の仕様については鉄建協又は全構協の仕様で、専任の溶接施工管理技術者により管理を行うこと。
 2) 本工事で代替タブを使用する場合は、代替タブ溶接技能者技量検定付加試験を ・ 行う ・ 行わない
 3) AW検定(工場・現場・代替タブ)の有資格者で、係員の承認を受けた者は技量検定付加試験を免除する。

7-9 デッキプレート(単位 mm)
 1) 床用 高さ ・ 板厚 ・
 2) 合成スラブ用 高さ ・ 板厚 ・
 3) 型枠用 高さ ・ 板厚 ・ 形板 タイプ
 4) 防錆処理 ・ プライマー ・ 亜鉛メッキ ・ Z12 ・ Z27

7-10 錆止め塗装(工場塗 *2回 ・ 1回、現場タッチアップ程度とする)
 1) 素地こしらえ *ケレン ・ プラスト
 2) 錆止め塗料

適用	塗料		種別	標準膜厚
屋外	室内			
*	*	鉛、クロムフリー錆止め	JISK5674	30μm
*	*	一般用錆止めペイント	JISK5621	*1種 ・ *2種 35μm
*	*	ジンクリッチプライマー	JISK5552	*1種 ・ *2種 15μm
*	*	鉛クロムフリー錆止めペイント	JISK5674	*1種 ・ *2種 35μm

3) 溶融亜鉛メッキ ・ 行う ・ 行わない
 4) 常温亜鉛メッキ ・ 行う ・ 行わない

7-11 溶接部の検査(受入検査) *行う ・ 行わない
 1) 受入検査を行う第三者検査機関は、建築主、設計者、工事監理者又は工事施工者(元請)との直接契約による。
 2) 第三者検査機関は(社)日本溶接協会によるO₂検査事業者認定種別における超音波探傷検査部門の認定を取得した事業者とし、当該工事の鉄骨製作工場の社内検査を行っていない事業者とする。
 3) 受入検査は目視による外観検査と超音波探傷検査とし、社内検査完了後に行う。
 4) 外観検査の可否判定は国土交通省告示1464号による。ただし告示に定めないものは日本建築学会「JASS6 鉄骨工事 2007 付則6 鉄骨精度検査基準」の限界許容差による。
 5) 超音波探傷検査は日本建築学会「鋼構建築溶接部の超音波探傷検査規準・同解説」2008により、可否判定は7.2.1歳方を考慮しない溶接部のうち、引張応力が作用する溶接部の項を適用する。
 6) 溶接箇所数の数え方は「JASS6 鉄骨工事 2007」表5.1溶接箇所数の数え方による。
 7) 受入検査の抜取り方法及び抜取り率は以下による。
 a) 工場溶接の場合
 i. 検査ロットは各節、各工区毎に溶接箇所300箇所以内で構成する。
 ii. 抜取り率は各ロット毎に30箇所をランダムにサンプリングする。
 iii. サンプリングの結果、不合格率が5%以内の場合ロットを合格とし、不合格率が5%を超えた場合は更に同一ロットの中から30箇所をサンプリングし、合計60箇所の不合格率が5%以内の場合合格とする。不合格率が5%を超えた場合は残り全数の検査を行う。
 b) 現場溶接の場合
 i. 全数検査とする。
 8) 検査により不合格と判定された溶接部はすべて補修を行い、再検査して合格とならなければならない。
 9) ずれ、食い違いの補修方法は、独立行政法人 建築研究所監修「突き合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」等を参考にする。

7-12 鉄骨製作工場

国土交通省大臣認定(グレード)				
S	H	M	R	J

§8 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板・PCa板工事

8-1 コンクリートブロック
 1)種類 ・ A種 ・ B種 ◎C種
 2)厚さ mm ・ 100 ・ 120 ◎150 ・ 190

8-2 ALCパネル
 1)使用箇所 ・ 床 ・ 屋根 ・ 外壁 ・ 内壁
 2)厚さ mm ・ 75(80) ・ 100 ・ 120 ・ 150 ・ 175
 3)外壁取り付け構法

方向	構法	使用箇所	備考
縦	・ スライド構法		
	・ ロッキング構法		
横	・ カバープレート構法		
	・ ボルト止め構法		

8-3 押出成形セメント板
 外壁取付構法及び厚さ mm

方向	構法	使用箇所	備考
縦	・ スライド構法		
	・ ロッキング構法		
横	・ スライド構法		
	・ ロッキング構法		

8-4 PCa板
 1)床及び屋根 ・ 床 ・ 屋根
 ・ PCa板単独 厚さ mm
 ・ 合成板

PCa板厚さ mm	現場打厚さ mm	合計厚さ mm	備考

2)外壁 厚さ mm

鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1) 2020年度版

§1 一般事項

- 仕様材料、工法等は構造特記仕様書による。
- 設計図書に記載なき場合は本標準図に従うものとする。
また本標準図に明記なき場合は構造特記仕様書1-2-4に指定した共通仕様書及び日本建築学会「JASS5(2015)」及び「鉄筋コンクリート造筋指針・解説」による。
- 本標準図は異形鉄筋を対象とし、dは呼び名に用いた数値とする。
- 本標準図に示す単位は特記なき限りすべてmmとする。

§2 共通事項

鉄筋の表示記号及び最外径は下表による。

記号	●	×	◇	○	◎	⊗	⊕	◆	⊞		
呼び径 d	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32	D35	D38	D41
最外径 D	11	14	18	21	25	28	33	36	40	43	46

○フックのない場合
○フックのある場合
○本数に差がある場合
○機械式継手表示
○溶接継手表示
(ガス圧接、付き合せ溶接)

2-2 鉄筋の折り曲げ

折り曲げ角度	図	鉄筋の使用箇所による呼称	鉄筋の種類	鉄筋の径による区分	鉄筋の折り曲げ内法直径(D)
180°		柱・梁主筋	SD295	D16以下	3d以上
		基礎主筋	SD345	D19~D41	4d以上
		あばら筋	SD390	D41以下	5d以上
		1/4筋			
		スラブ筋			
		壁筋	SD490	D25以下	5d以上
135°				D29~D41	6d以上
90°					

2-3 鉄筋の定着及び重ね継手の長さ

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 (N/mm²)	重ね継手の長さ	定着の長さ	
			一般	小梁・床スラブ
SD295 SD345 ○はSD345を示す	18	45d (50d) 35d	40d 30d, 20d	15d (20d)
	21	40d (45d) 30d	30d (35d) 25d, 15(20)d	
	24~27	35d (40d) 25d (30d)	20(25)d, 15(20)d	L _s =20d L _s h=10d
	30~36	35d 25d	30d 20d, 15d	15d
	39~45	30d (35d) 20d (25d)	25d (30d) 15d (20d), 15d	床スラブの場合 L _s =10d かつ 150以上
	48~60	20d	25d 15d, 15d	
SD390 (SD490) (-)は適用外	21	50d (-) 35d (-)	40d (-) 30d (-), 20d (-)	20d (-)
	24~27	45d (55d) 35d (45d)	40d (45d) 30(35)d, 20(25)d	SD490は適用外
	30~36	40d (50d) 30d (35d)	35d (40d) 25(30)d, 20(25)d	
	39~45	40d (45d) 30d (35d)	35d (40d) 25(30)d, 15(20)d	15d (-)
	48~60	35d (40d) 25d (30d)	30d (35d) 20(25)d, 15(20)d	

一般定着の直線L₂またはフック付のL₂h, L_a, L_bの図

直線定着 90°フック付き定着 135°フック付き定着 180°フック付き定着

- 重ね継手の長さは鉄筋の折り曲げ起点間の距離、又、フック付きのL₂hは仕口面から鉄筋の折り曲げ起点までとし、末端のフックは定着長さに含まない。
- 軽量コンクリートを使用する場合は、2-3の数値に5dを加算する。

2-4 継手一般

- 溶接継手
- 機械接合

2-5 鉄筋のフック

柱・梁・基礎の主筋、及び、その他の鉄筋の折り曲げ形状・寸法

折り曲げ角度	図	鉄筋の使用箇所による呼称	鉄筋の種類	鉄筋の径による区分	鉄筋の折り曲げ内法直径(D)
180°		柱・梁主筋	SD295	D16以下	3d以上
		基礎主筋	SD345	D19~D41	4d以上
		あばら筋	SD390	D41以下	5d以上
		1/4筋			
		スラブ筋			
		壁筋	SD490	D25以下	5d以上
135°				D29~D41	6d以上
90°					

2-6 鉄筋のあき

鉄筋のあきaは原則として下記による。

- あばら筋及び帯筋
- 煙突の鉄筋
- 柱及び梁(基礎梁を除く)の出隅部分の鉄筋(下図参照)

○鉄筋のあきaは原則として下記による。
呼び名の数値dの1.5倍以上
粗骨材の最大寸法の1.25倍以上

○鉄筋径が異なる場合は大きい方による。 ※Dは最外径を示す
○二段筋のあきは1.5dとする。

2-7 かぶり厚さ

鉄筋に対するコンクリートの設計かぶり厚さと最小かぶり厚さ

部 位	かぶり厚さ	
	仕上げあり	仕上げなし
土に接しない部分	屋根スラブ	屋 内 30(20)
	床スラブ	屋 外 30(20)
	非耐力壁	屋 内 40(30)
	柱・梁	屋 外 40(30)
土に接する部分	耐力壁	屋 内 40(30)
	擁 壁	屋 外 50(40)
	基礎・擁壁	50(40)

§3 柱

3-1 主筋の継手

溶接継手(機械式継手) 重ね継手

○印内に継手中心部を設けることを原則とする。

3-2 主筋の定着

(L₂h)はRC規準2010 17条によってもよい。又は右図による。

3-3 帯筋

第一帯筋 交互帯筋 副帯筋(180°フック可)

○第一帯筋(D13以上使用の事)は梁面に入れ、その間を設計ピッチ以下に割り付ける。
○帯筋の加工は下図による。

○パネルゾーン内の帯筋は設計図によるが、明記なき場合は下記による。ただし、帯筋量(pw)は0.2%以上とする。
※1.設計ピッチの1.5倍以下とする。□形以上の場合は同径同材質で○形@100以下とする。
※2.基礎部分部分は、同径で□形@150以下とする。

○スパイラル筋の末端処理及び継手は下記の通りとする。
1. 末端は1.5巻き以上の添巻きをし、図aのフックをつける。
2. 重ね継手は重ね長さ50d以上とし、図a又は図bのフックをつける。

3-4 補助筋

○補助筋はD10をピッチ600以内に割り付ける。
○巾止筋を設ける場合は、設計者の指示による。

3-5 柱のコンファインド補強

a スパイラル帯筋@60~75 (有効間隔50程度)
b 溶接閉鎖型帯筋@60~75 (有効間隔50程度)

§4 梁

4-1 主筋の継手

○印内に継手中心部を設けることを原則とする。(告示平12第1463号 使用基準参照) 溶接継手の場合でも柱面より500以上はなすこと。
○定着形状を下記以外とする場合は設計図書による。

4-2 主筋の定着及び余長

外柱

○梁主筋は原則として通し筋とするが、拘束筋□をあばら筋と同径同ピッチで落とし込む。

中柱

梁成り異なる場合

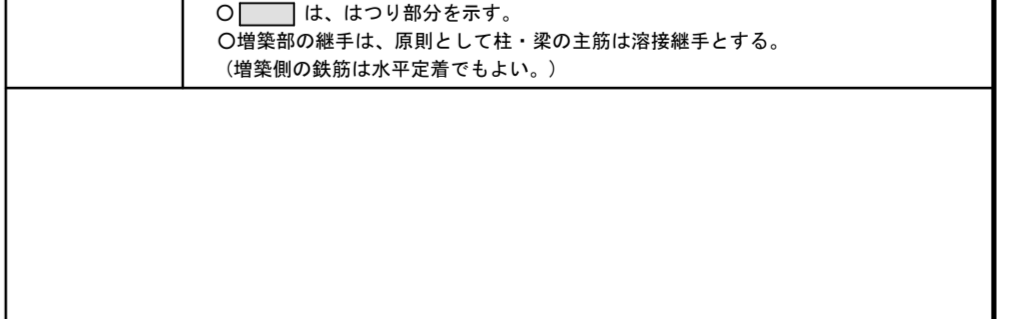
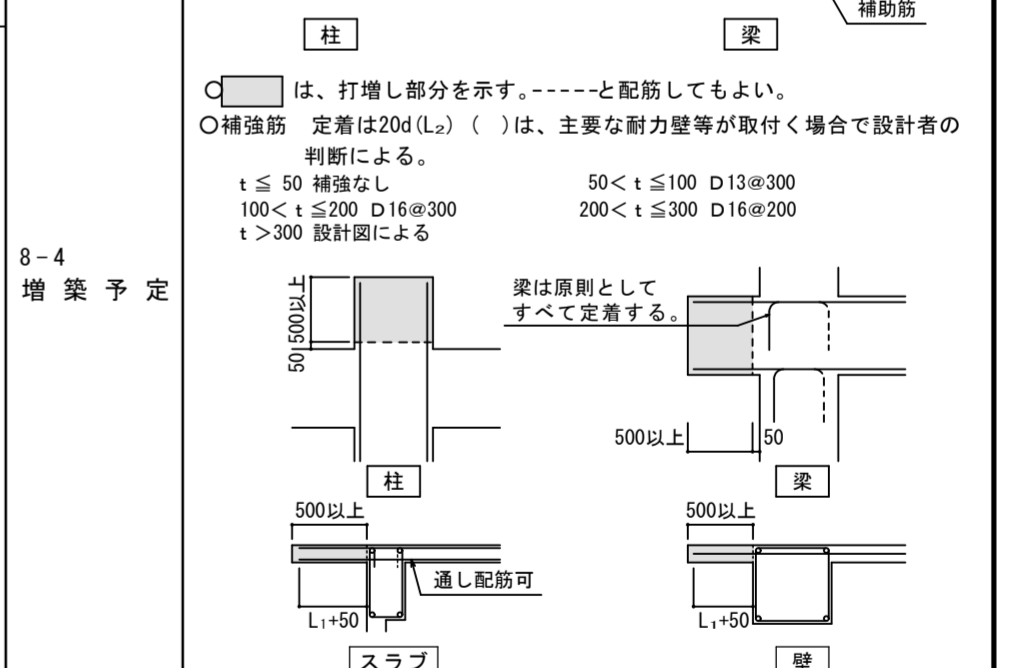
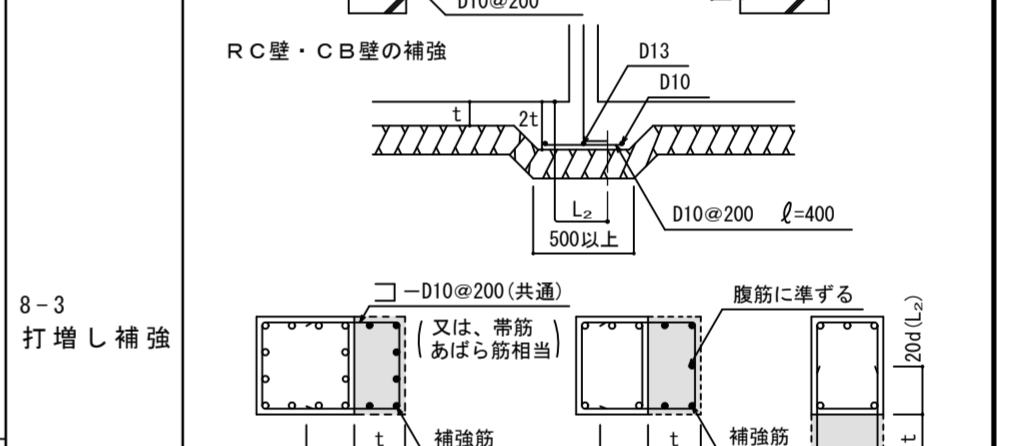
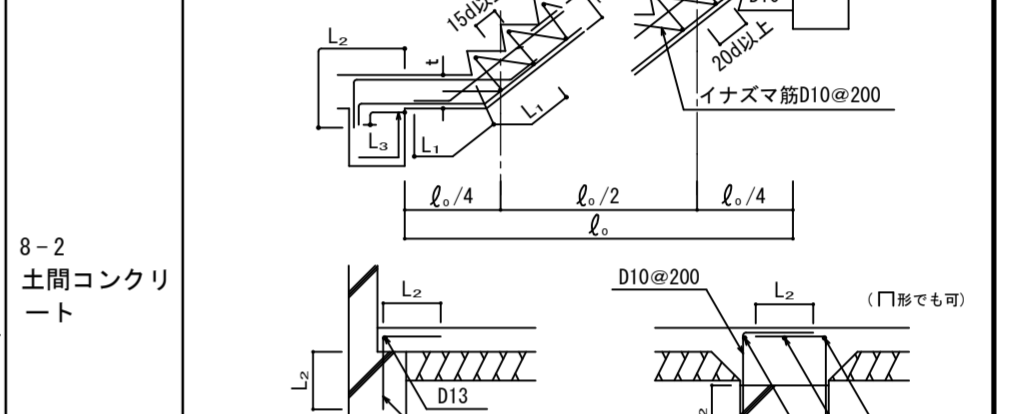
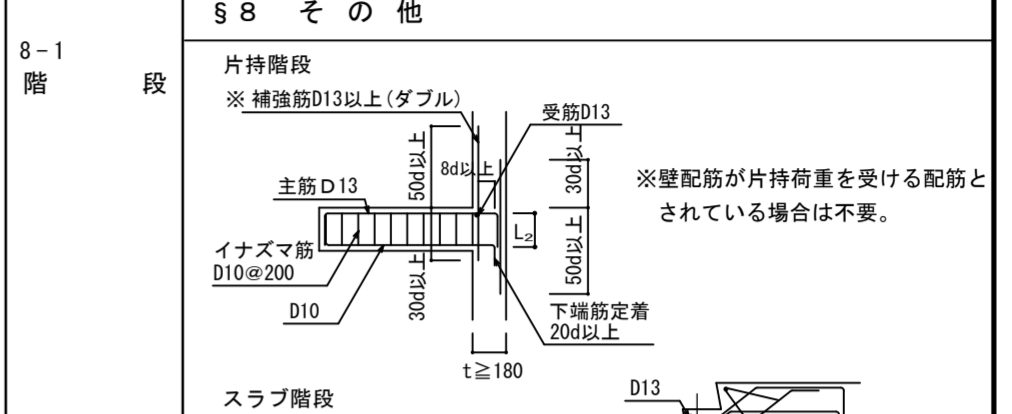
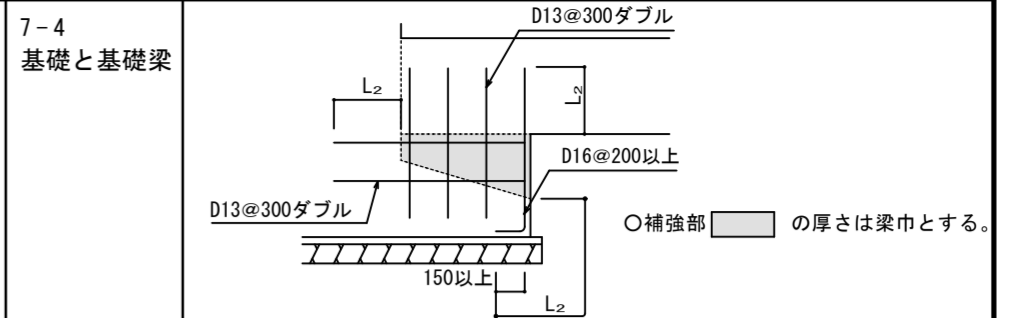
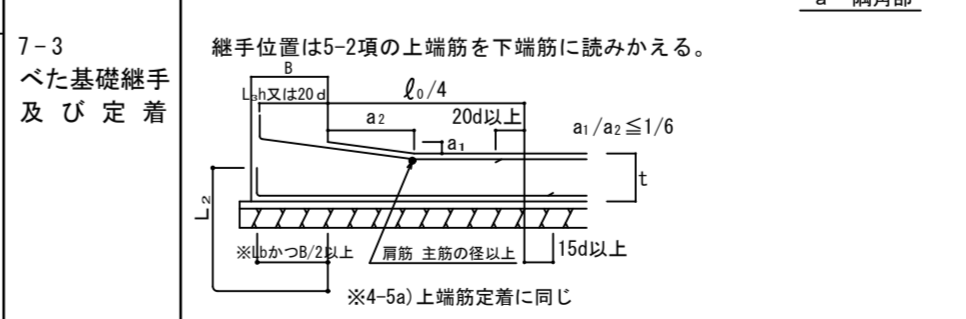
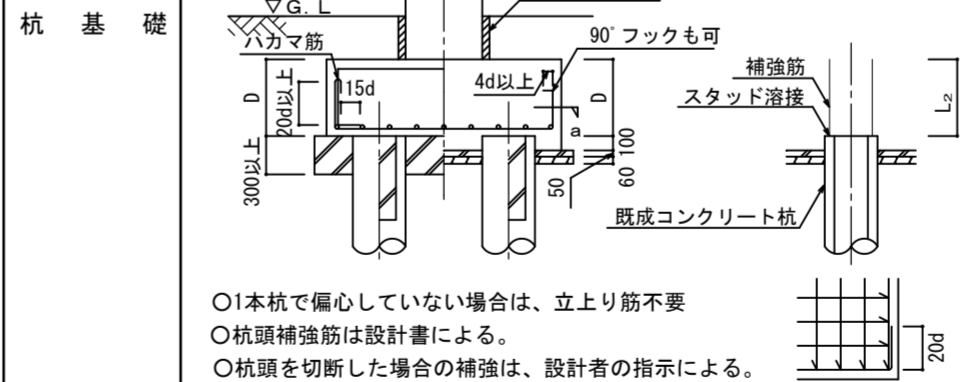
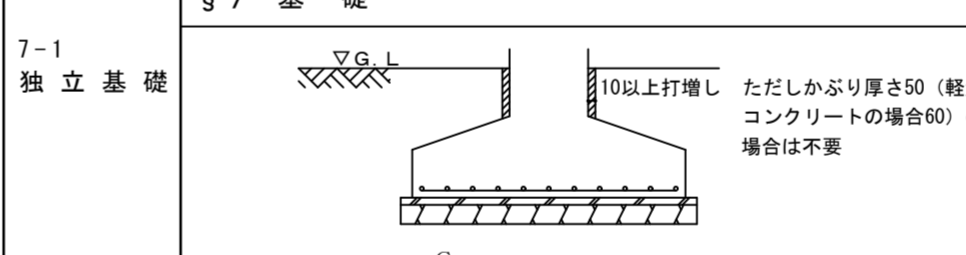
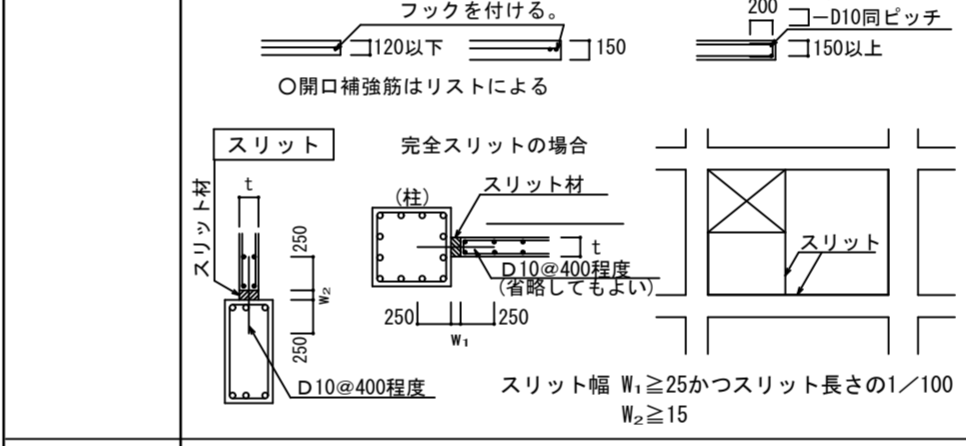
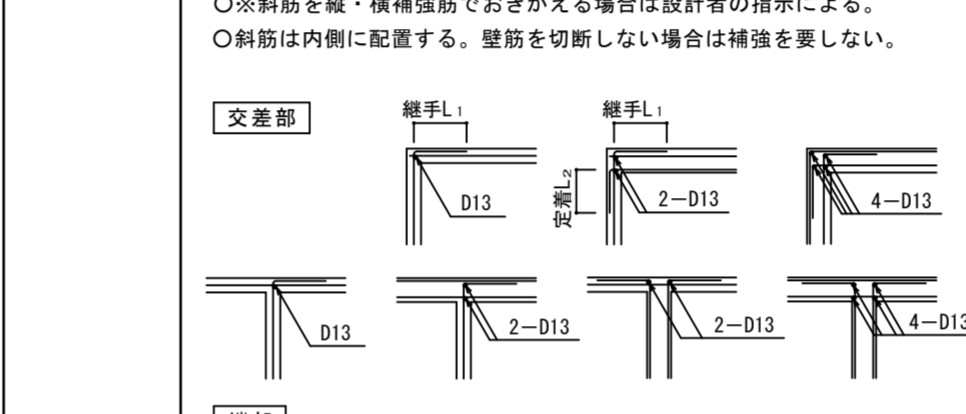
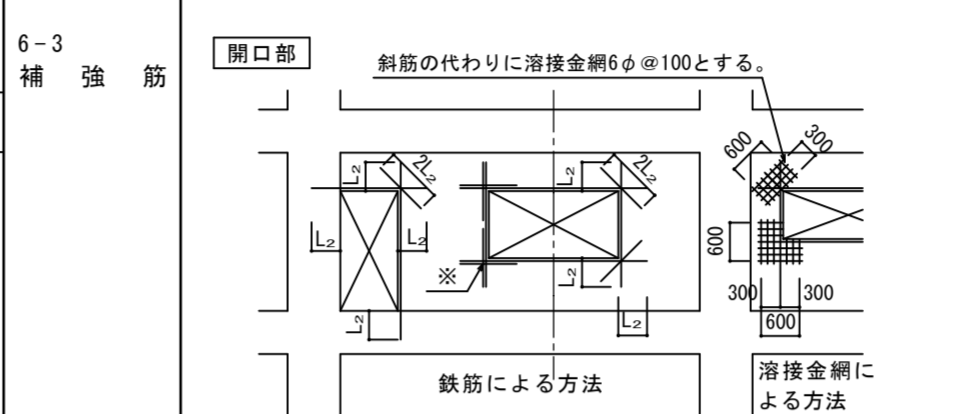
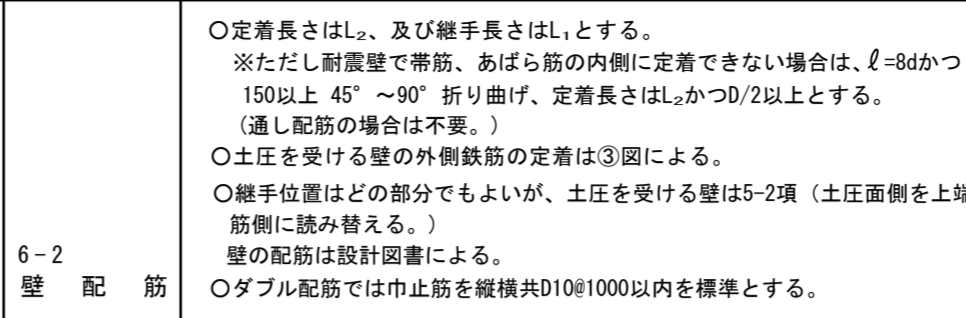
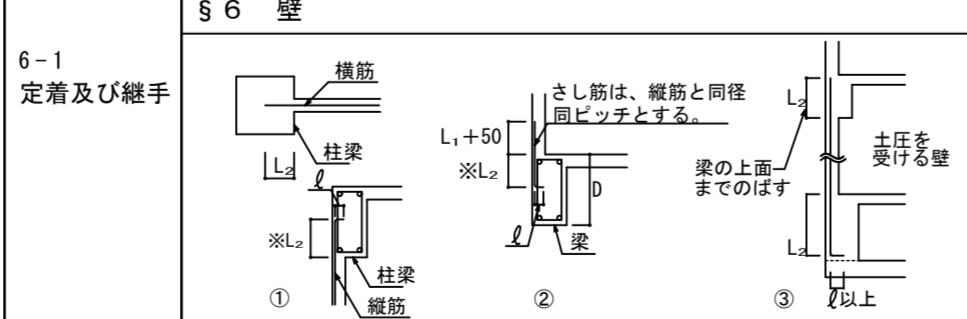
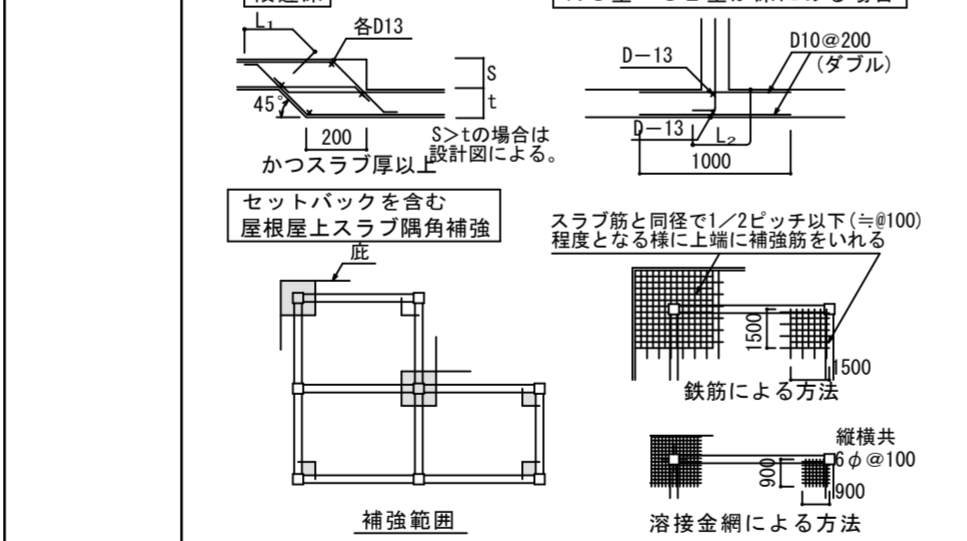
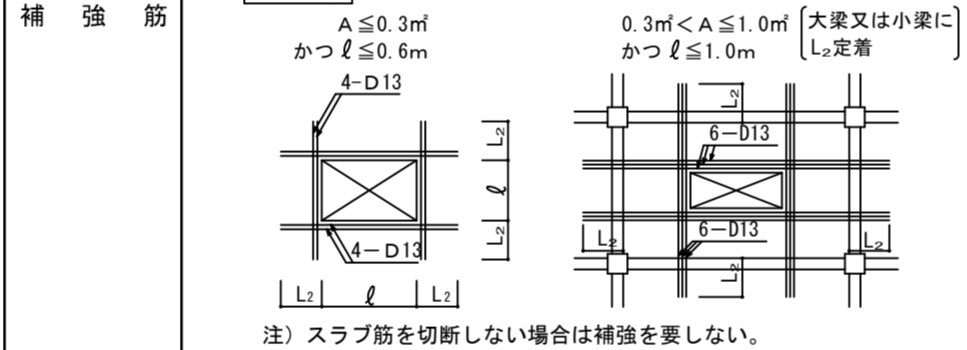
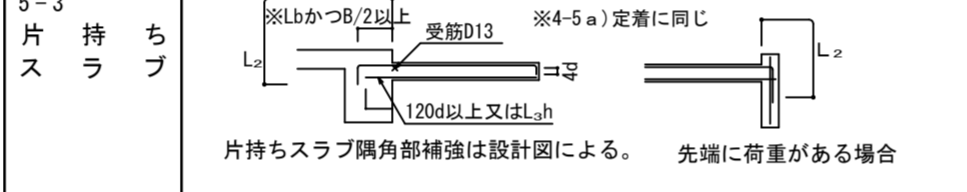
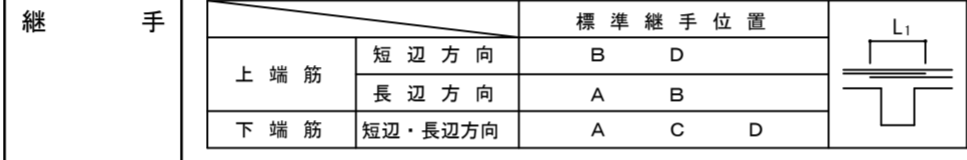
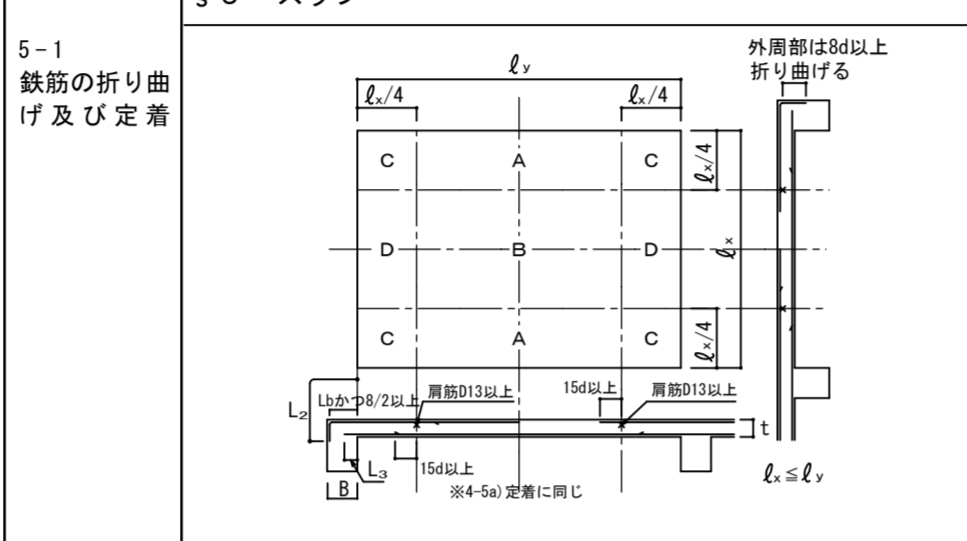
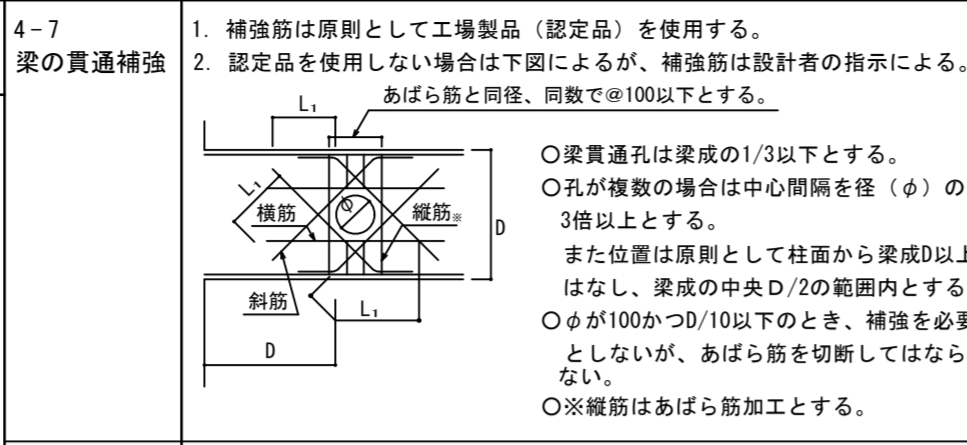
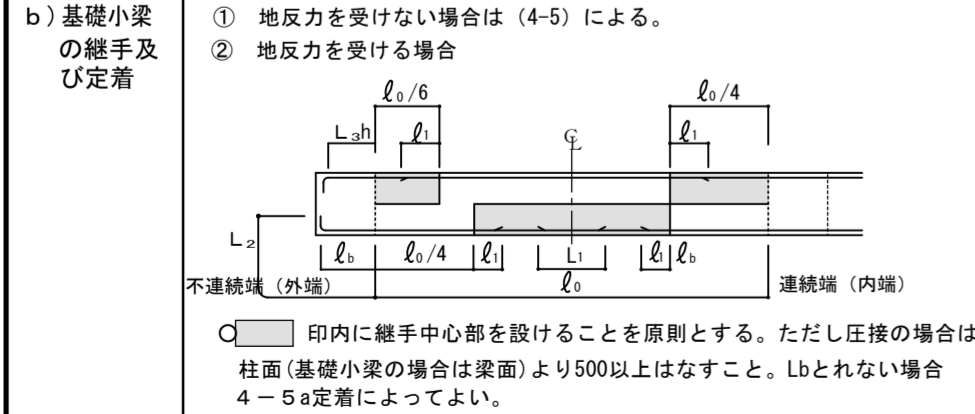
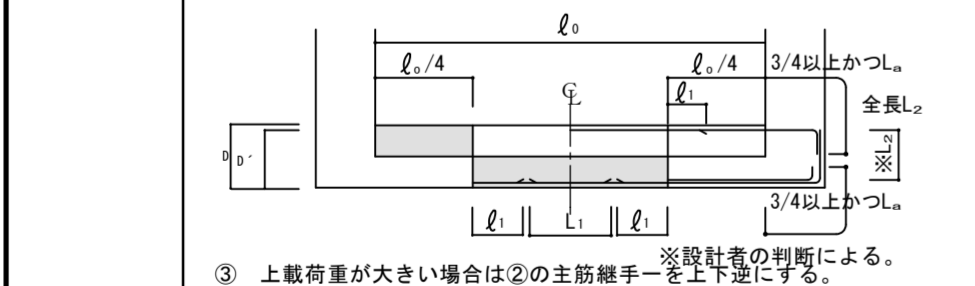
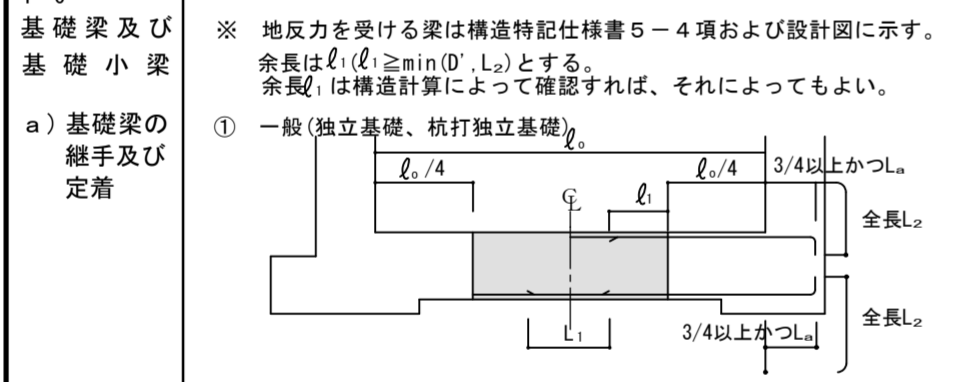
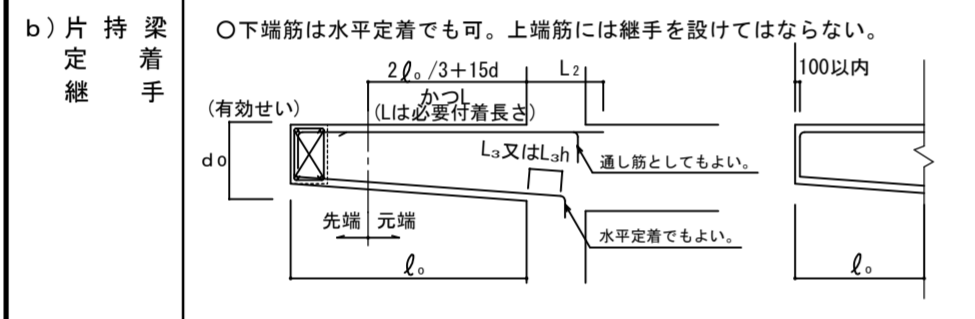
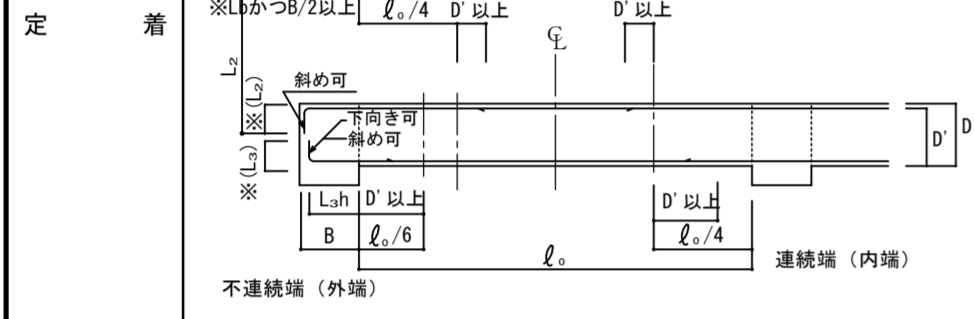
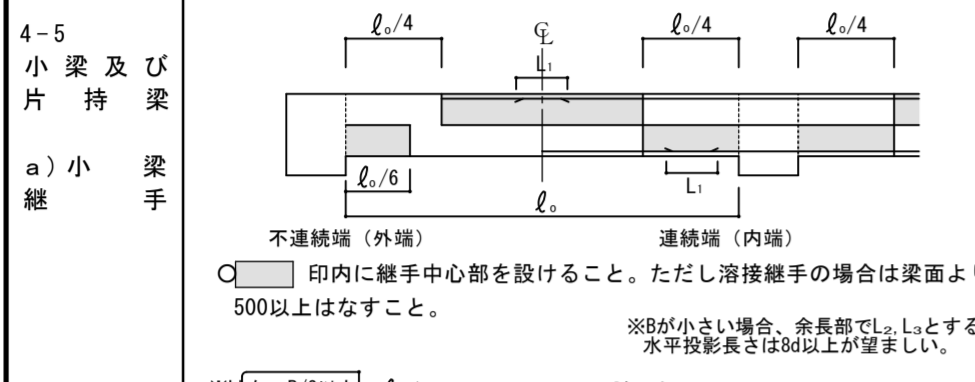
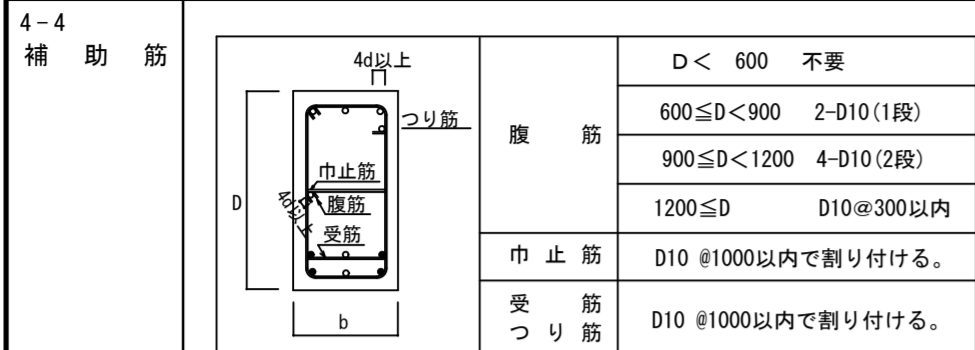
4-3 あばら筋副あばら筋

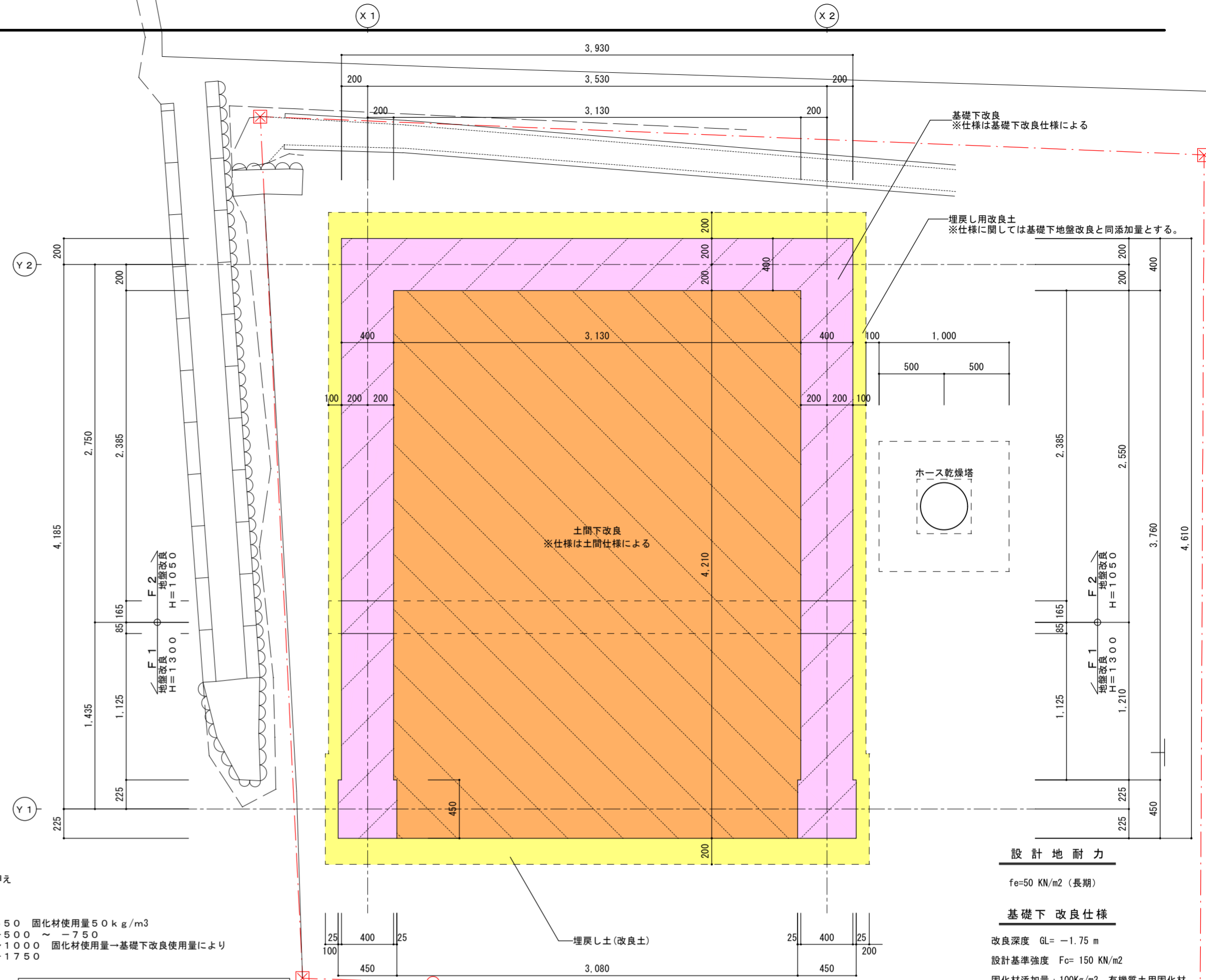
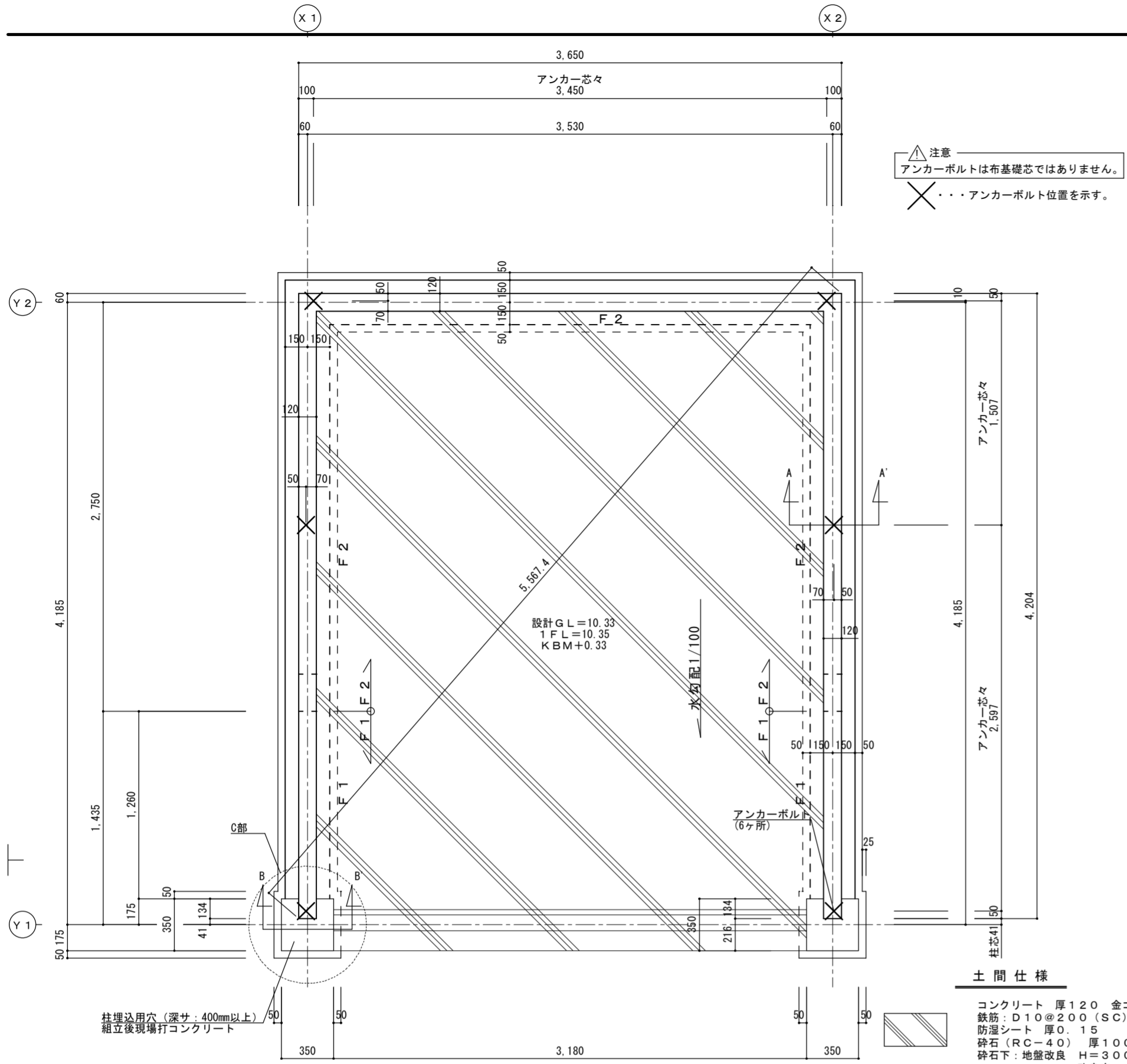
○第一あばら筋は柱面に入れその間を設計ピッチ以下に割り付ける。
○あばら筋の加工は下図による。
② ③ ⑤ ⑥ ⑨は同時打込みのスラブ付の場合に限る。
○⑧ ⑩は梁成りの大きい場合。
○① ⑩はピッチ2pで交互配置とする。
○135°フックは180°フックでも可とする。
○溶接継手は帯筋の項を参照のこと。

※ねじれ応力を受ける腹筋は定着長さL₂とする。

⑩は、溶接継手または重ね継手のどちらかとする。
※柱面より梁成りの範囲は、180°フック又は135°フックが望ましい。

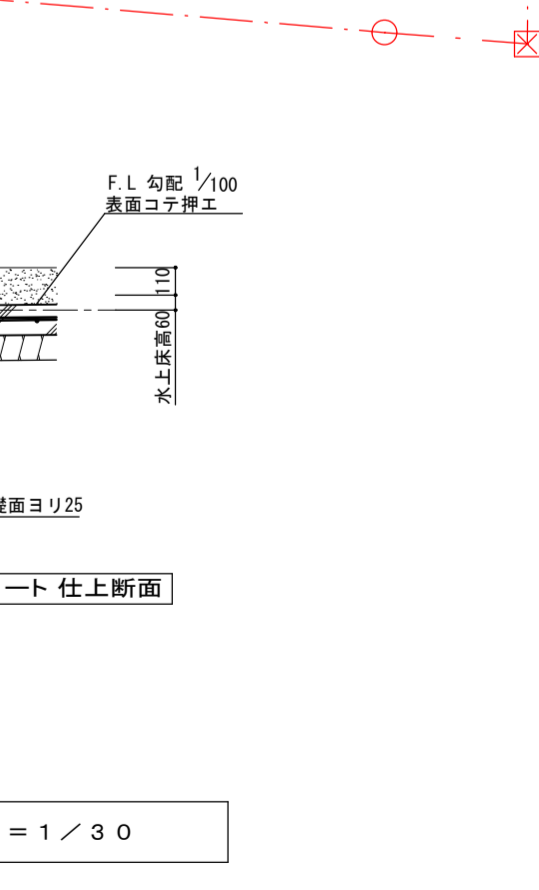
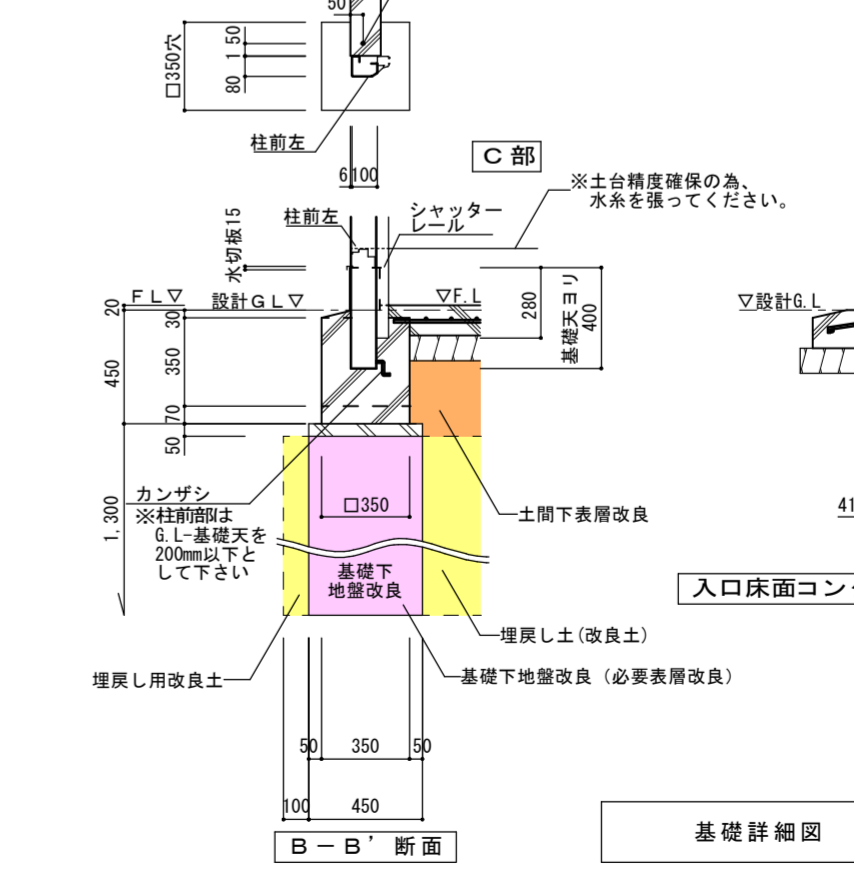
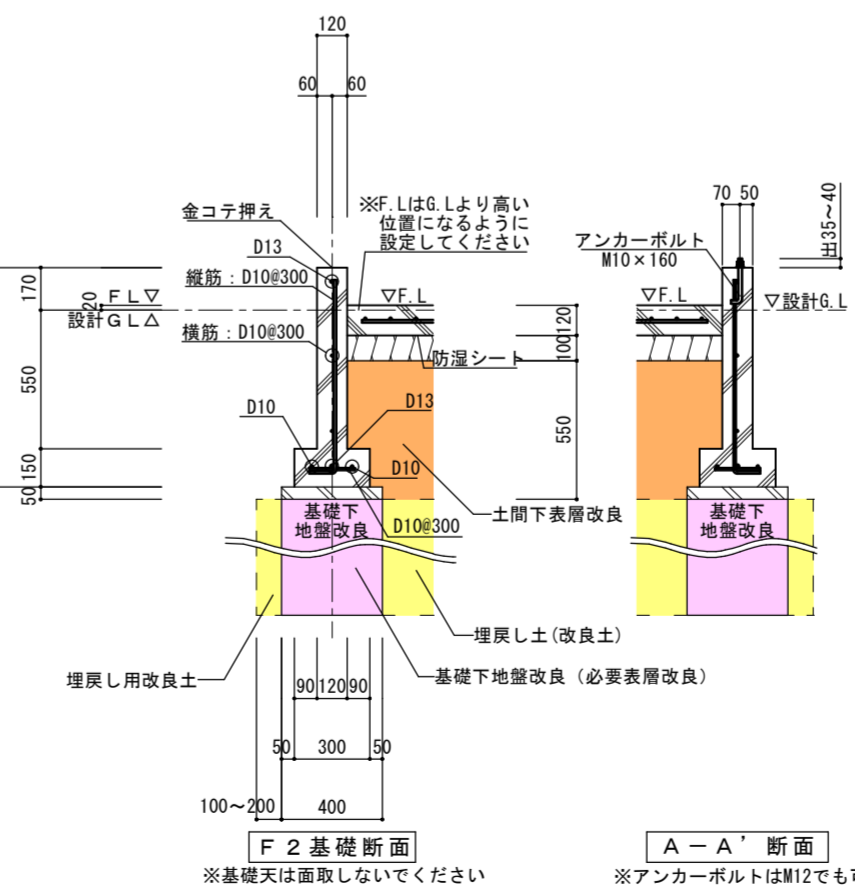
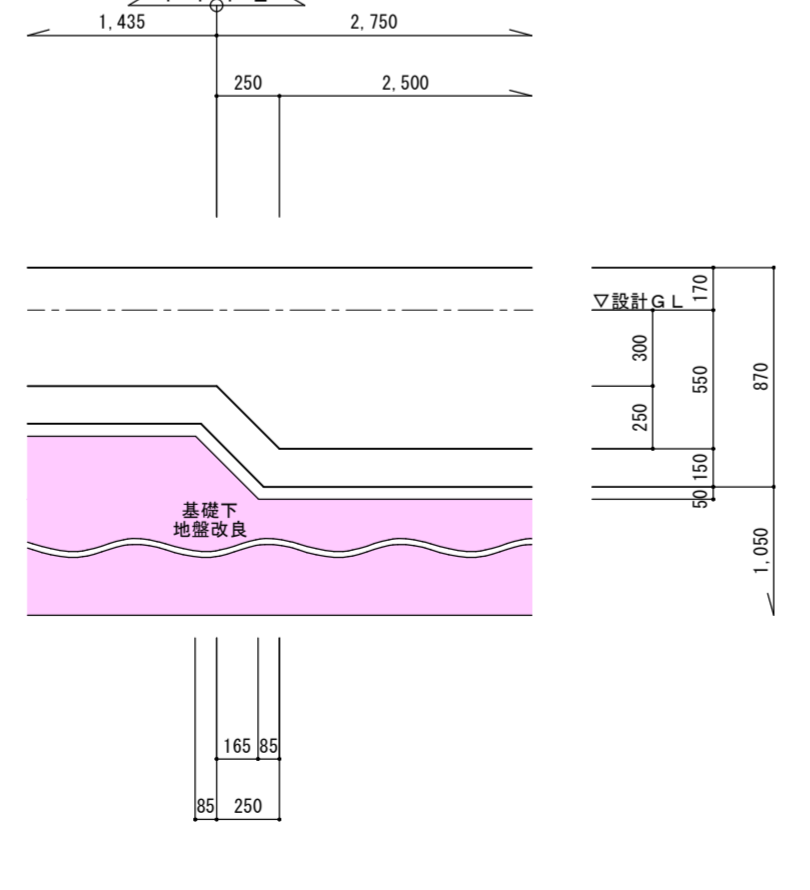
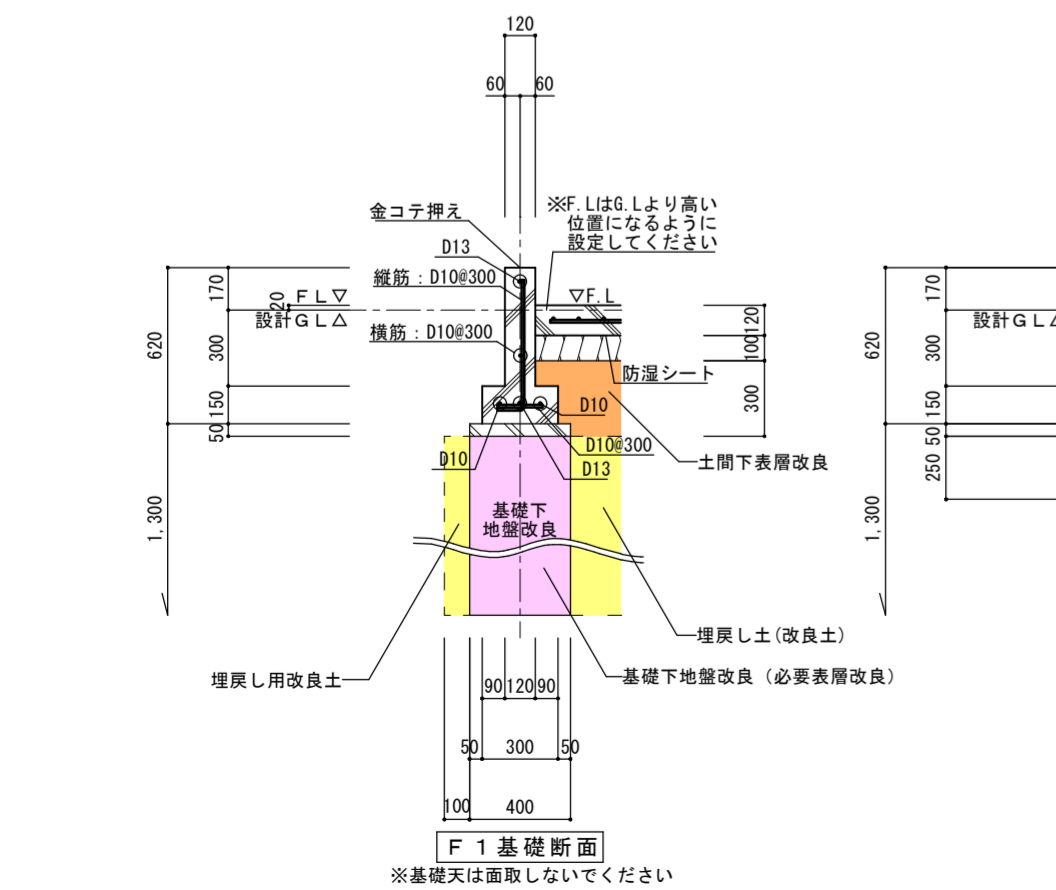
鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2) 2020年度版





基礎伏図 S = 1 / 30

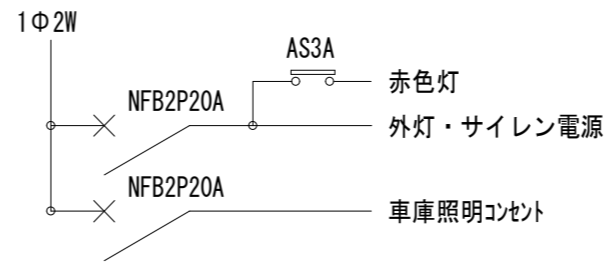
地盤改良伏図 S = 1 / 30



特記	工事名	令和5年度 (消防) 第20号 蕨原分団葛尾地区消防ポンプ庫 解体及び新築工事	縮尺	A 2 : 1 / 30 A 3 : 1 / 42	図番	S - 0 4	 白鳳アーキテック 株式会社	1級建築士事務所 登録 (三重1-1987号) 〒518-0775 三重県名張市希中央5番町109番地 TEL 0595-48-6066 FAX 0595-48-6067 E-mail h.a.t@tuba.ocn.ne.jp	承認	管理建築士	印
	図名	新築 基礎図・基礎詳細図	縮尺	A 2 : 1 / 30 A 3 : 1 / 42	図番	S - 0 4		1級 256630号 萱室 教司	図面提出日	2023 / 08 / 25	

電気設備工事特記仕様書		
●印を付けたものを本工事に適用する		
建築概要		
工事名称	令和5年度(消防)第20号 蕨原分団葛尾地区消防ポンプ庫 解体及び新築工事	
工事場所	名張市 葛尾 地内	
一般事項		
適用仕様書	○日本建築家協会編「電気設備工事共通仕様書」 ●国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「電気設備工事共通仕様書」「電気設備工事標準図」	
優先順位	1.現場説明事項・質疑応答書 2.本特記仕様書 3.設計図書 4.電気設備工事共通仕様書	
申請手続	工事に伴う関係官署、電力供給者、ケーブルテレビへの諸手続きは請負者がこれを代行し、必要経費も本工事に含むものとする。	
疑義	設計図書の誤記、記載漏れ、又図面上納まり不明な事に起因する問題点、疑義についてはその都度監督員と協議すること。	
変更	設計図書に明記なくとも、外観上、機能上又は法規上当然必要と認められるものについては、本工事に含むものとする。	
施工図	請負者は、施工に先立ち詳細施工図を作成し監督員と打合わせを行うこと。	
完成図書	工事完成の上は各種の試験及び検査を受け、許可証、検査済書、成績表、工事写真、日報、材料搬入報告書、完成写真、竣工図及び取扱い説明書等を取りまとめ提出すること。	
工事写真	国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「工事写真の撮り方(改訂版)ー建築設備編」によるほか、監督員の指示により撮影し提出する。	
耐震措置	国土交通省住宅局建築指導課監修の「建築設備耐震設計・施工指針」による。	
特記事項		
●電線管の使用区分 ①埋込・隠ぺい部分 ●薄鋼電線管 ●VE管 ●CD管 ●PF管(一重管) ②露出部分 ●薄鋼・薄鋼電線管 ●厚鋼電線管 ③地中部分 ●PE電線管 ●FEP管 ●HIVE管		
●露出配管(鋼製電線管)部分は、指定色2回塗りとする。		
●接地工事は設計図に明記なきも当然必要な箇所には接地を施すこと。		
●設計図書上に示すメーカー型番・姿図等は参考とする。		
●低圧盤・受配電盤等 盤類は一般仕様とする。		
工事範囲		
●電灯設備	工事範囲	●配管 ●配線 ●機器取付 ●引込 ●引込み工事負担金 ●警報設備 ●既存建物解体に伴う申請手続き費、及び撤去工事も本工事内とする。
	電気方式	○3φ3W 210 V 60Hz ●1φ3W 210/105 V 60Hz
	配線器具	●特別なものを除き大型とする
	プレート	●新金属 ○ステンレス ○フルカラー()
	照明器具	●全てLED照明器具とする。
照度測定	○行う(各居室 ※1点) ●行わない	

電灯分電盤



照明器具姿図 (※同等品可)

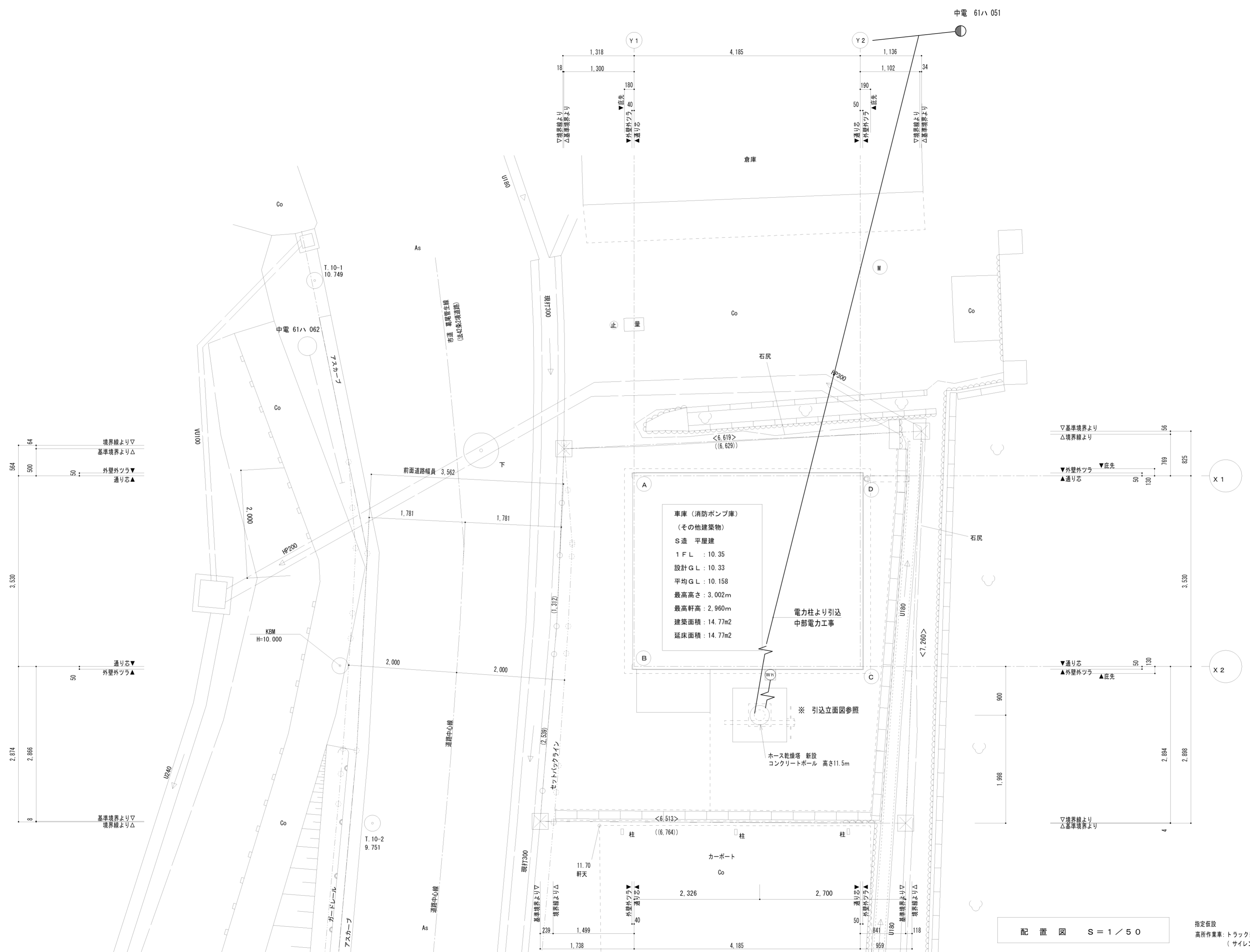
A	iDシリーズ直付型20形 反射笠付型	B	LEDブラケット 20形直管蛍光灯1灯器具相当	C	LED赤色表示灯
<p>一般タイプ、3200lmタイプ 消費電力21.8W、定格出力型、電圧100~242V 本体：鋼板(白色粉体塗装) ライトバー(カバー)：ポリカーボネート(乳白) 光源寿命4000時間(光衰維持率85%) 昼白色(5000K)、Ra83 電源装置はライトバー内に内蔵</p> <p>パナソニック 直付XLX230KENCLE9</p>		<p>昼白色(5000K)、Ra83 器具長さ855mm、消費電力9.7W、電圧100V 広配タイプ、防雨型、天井直付型・壁置付型、ツマミネジ方式 カバー：アクリル(乳白)</p> <p>パナソニック LGW80168LE1</p>		<p>光源寿命4000時間 天井直付型・壁置付型 防雨型</p> <p>パナソニック NNF20293Z</p>	

電気設備工事指定資材見積メーカー(参考)

分類	資材名	規格・メーカー名等 (7/14付順)
電線保護物類	金属管、VE、PF HIVE、FEP、CD 合成樹脂製可とう管、可 とう電線管、フッ素ケ ト、各付属品	JISマーク等
	電線、ケーブル 付属品	①IV、TVEF、VV OV、DV、CV、GVW その他ケーブル ②圧着端子、裸圧着スリーブ ③耐火、耐熱電線
配線器具	コンセント、スイッチ	JISマーク等
照明器具		岩崎電気株 小泉産業株 東芝ライテック株 日立照明株 パナソニック株 三菱電機照明株 ヤマキ電気株 山田照明株
低圧盤		河村電器産業株 東芝ライテック株 日東工業株 内外電機株 パナソニック株

【注記】 「JISマーク等」と指定された資材は、工業標準化法施行規則に基づき、製品・包装の外面、容器の外面、結束荷札ごとの納品書にJISマーク表示のあるもの。または、JIS規格証明書の添付できるものをいう。

特記	※提供図面を元に作成しており、細部位置を確認しているものではありません。	工事名	令和5年度(消防)第20号 蕨原分団葛尾地区消防ポンプ庫 解体及び新築工事		<p>1級建築士事務所 登録(三重1-1987号) 〒518-0775 三重県名張市希中央5番町109番地 TEL 0595-48-6066 FAX 0595-48-6067 E-mail h.a.t@tuba.ocn.ne.jp</p>	承認		管理建築士	印
	図名	電気設備特記仕様書	縮尺	A2: N/S A3: N/S		図面番号	E-01	1級 256630号	萱室 敦司
						図面提出日	2023/08/01		



特記 ※提供図面を元に作成しており、細部位置を確認しているものではありません。

工事名 令和5年度(消防)第20号
 蕨原分団葛尾地区消防ポンプ庫 解体及び新築工事
 図名 電気設備 配置図
 縮尺 A2: 1/50
 A3: 1/71
 図面番号 E-02



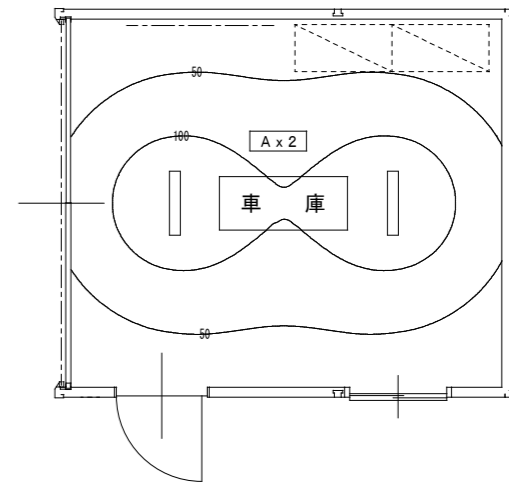
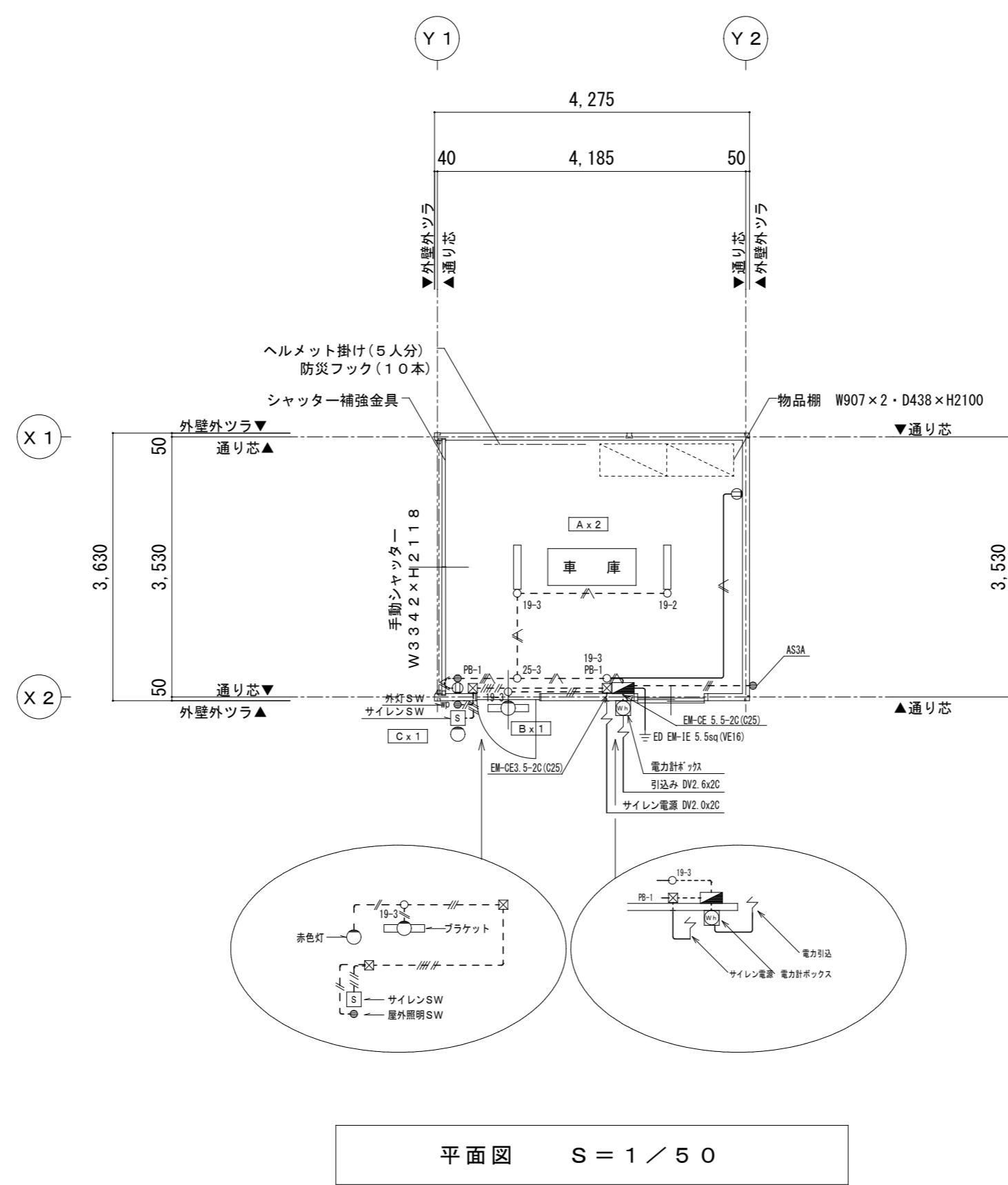
1級建築士事務所 登録(三重1-1987号)
 〒518-0775 三重県名張市希央台5番町109番地
 TEL 0595-48-6066 FAX 0595-48-6067
 E-mail h.a.t@tuba.on.ne.jp

承認	管理建築士	印
1級 256630号	壹室 敦司	
図面提出日 2023/08/01		

指定仮設
 高所作業車: トラック架装リフト 1.2m 2台
 (サイレン等除去: 設置時)

配置図 S=1/50

器具名	照明器具	数量	1
器具名	照明器具	数量	1
器具名	照明器具	数量	1
器具名	照明器具	数量	1
器具名	照明器具	数量	1



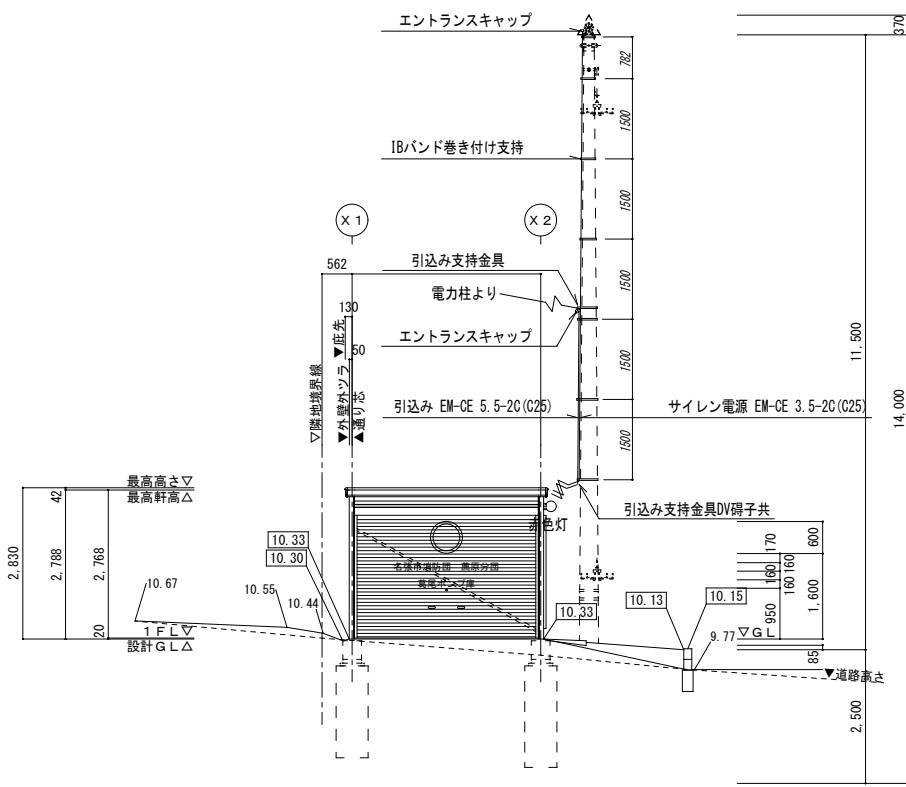
※：凡例

記号	名称	備考
■	分電盤	参考：BQNE22K
⊙	電力計ボックス	参考：BQKR8314AK
S	サイレンSW	参考：* ヲク7142211+BS2021
⊗	プルボックス	150 x 150 x 100
⊗	丸型中継ボックス	C25 三方出
⊙	丸型中継ボックス	C19 三方出
⊙	丸型中継ボックス	C19 二方出
⊗	コンセント 15Ax2接地	
●	スイッチ 15A xn	
●	防雨露出スイッチ 15A	参考：WS4021
●	自動点滅器	参考：EE44139

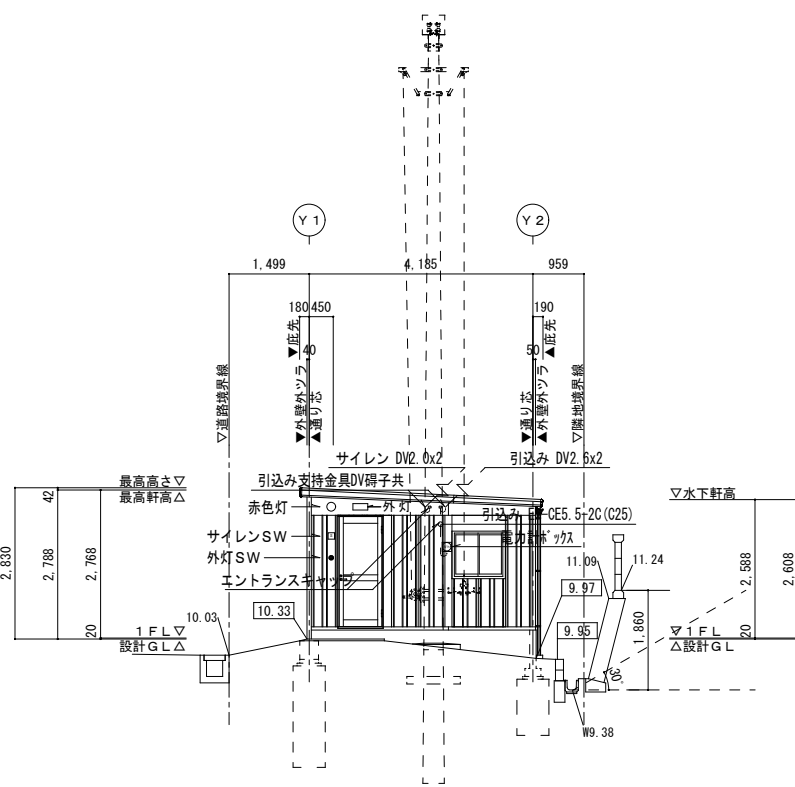
※：特記無き配管記号は下記とする

—	EM-IE 2.0 x2 (C19)	
- - A - -	EM-IE 2.0 x2 E2.0 (C19)	
- - / - -	EM-IE 2.0 x3 E2.0 (C25)	
- - # - -	EM-IE 2.0 x3 (C19)	
- - / / - -	EM-IE 2.0 x4 (C25)	
- - / / / - -	EM-IE 2.0 x6 (C25)	

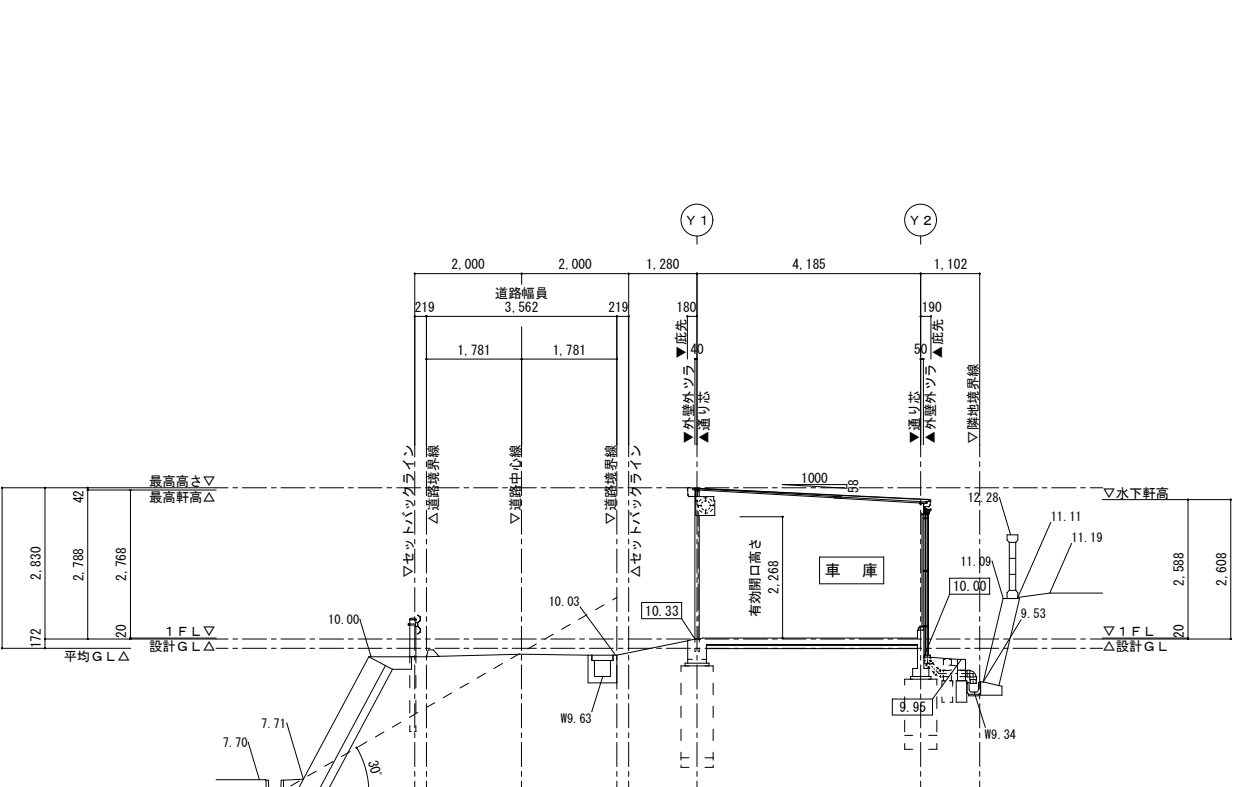
※：配管塗装は下処理を施し指定色2回塗りとする。



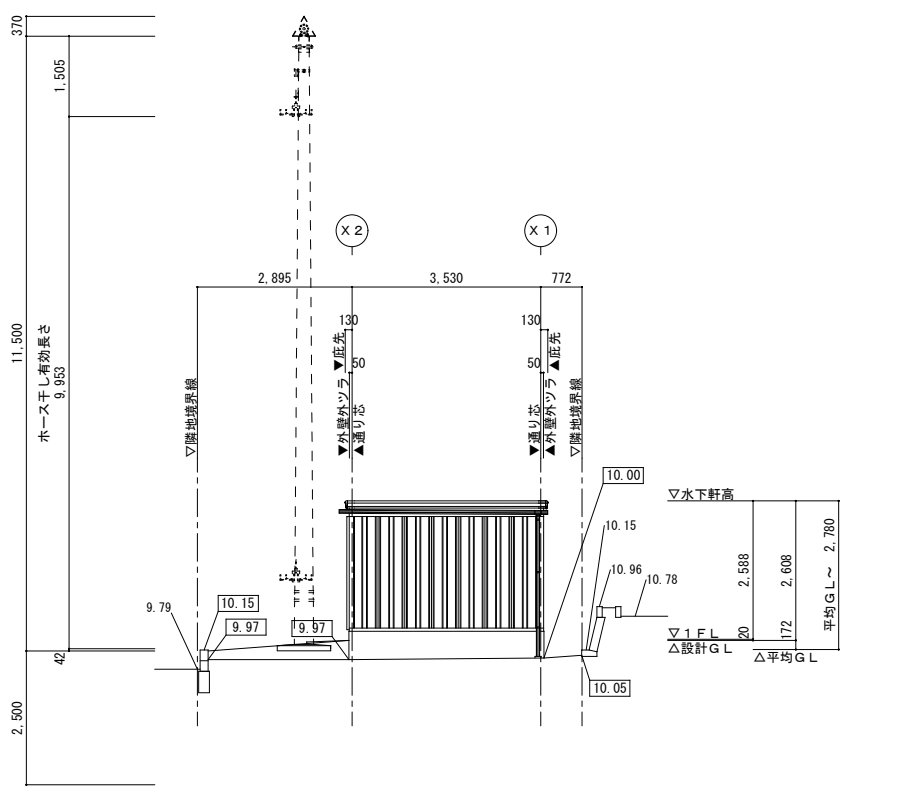
西側立面図 S = 1 / 100



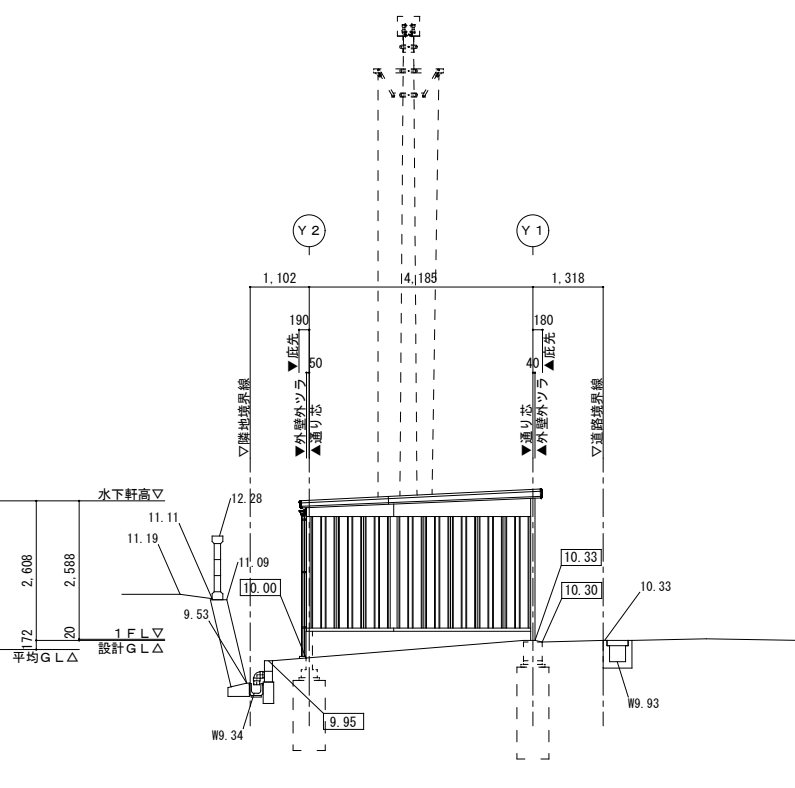
南側立面図 S = 1 / 100



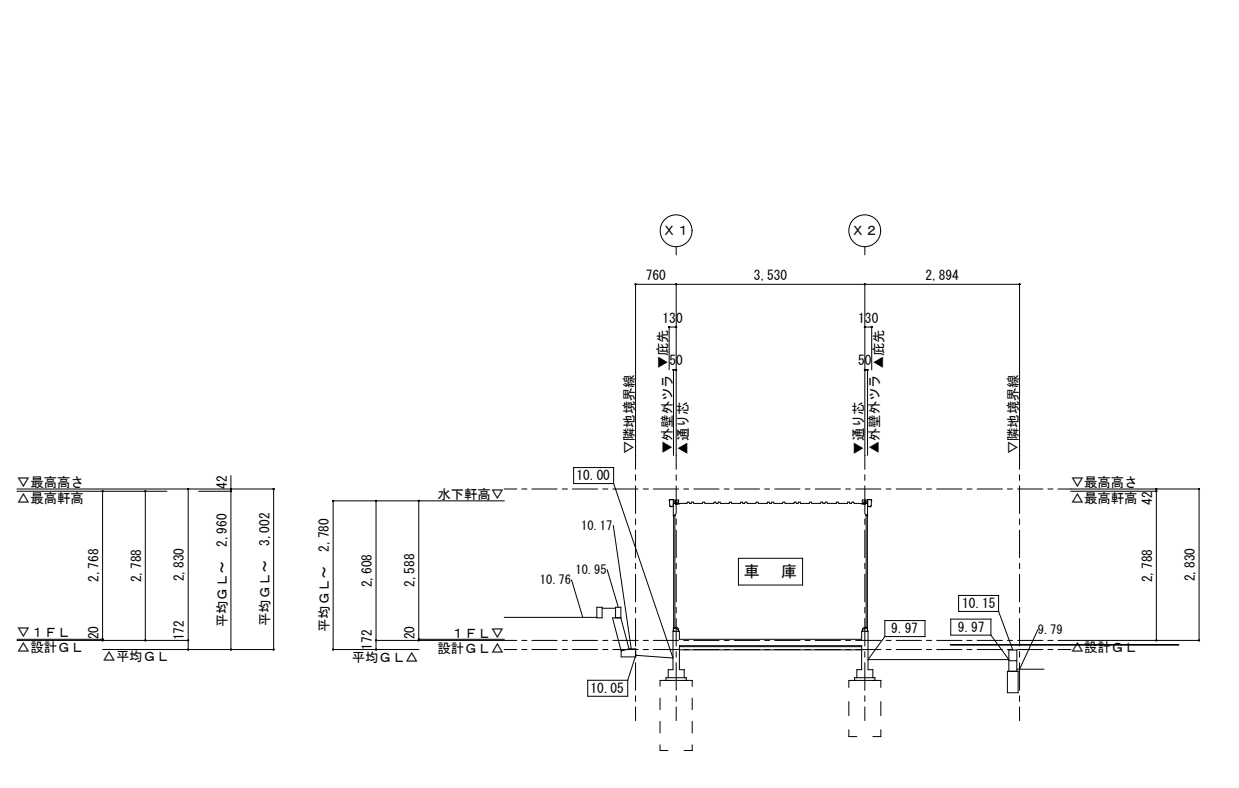
A~A' 断面図 S = 1 / 100



東側立面図 S = 1 / 100



北側立面図 S = 1 / 100



B~B' 断面図 S = 1 / 100

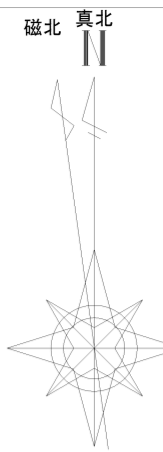
特記 ※提供図面を元に作成しており、細部位置を確認しているものではありません。

工事名	令和5年度(消防)第20号 蕨原分団葛尾地区消防ポンプ庫 解体及び新築工事
図名	電気設備立面図
縮尺	A2 : 1 / 100 A3 : 1 / 141
図面番号	E-04



1級建築士事務所 登録(三重1-1987号)
〒518-0775 三重県名張市希中央5番町109番地
TEL 0595-48-6066 FAX 0595-48-6067
E-mail h.a.t@tuba.ocn.ne.jp

承認		管理建築士	印
図面提出日	2023/07/00	1級 256630号	萱室 敦司

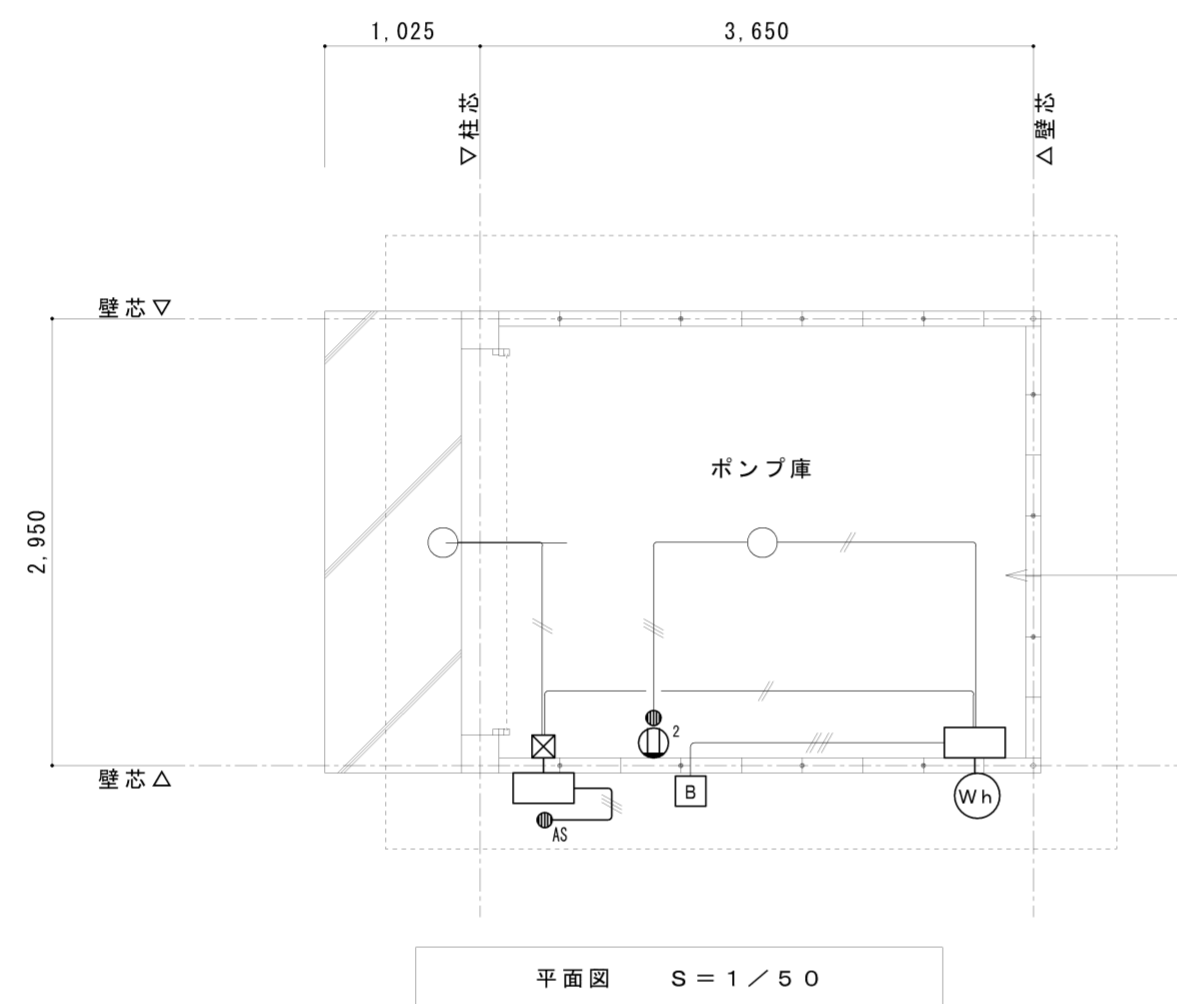


注記)

1・特記なき配管配線は下記による。

	:2.0x2	(19)	撤去
	:2.0x3	(19)	撤去
	:2.0x4	(25)	撤去

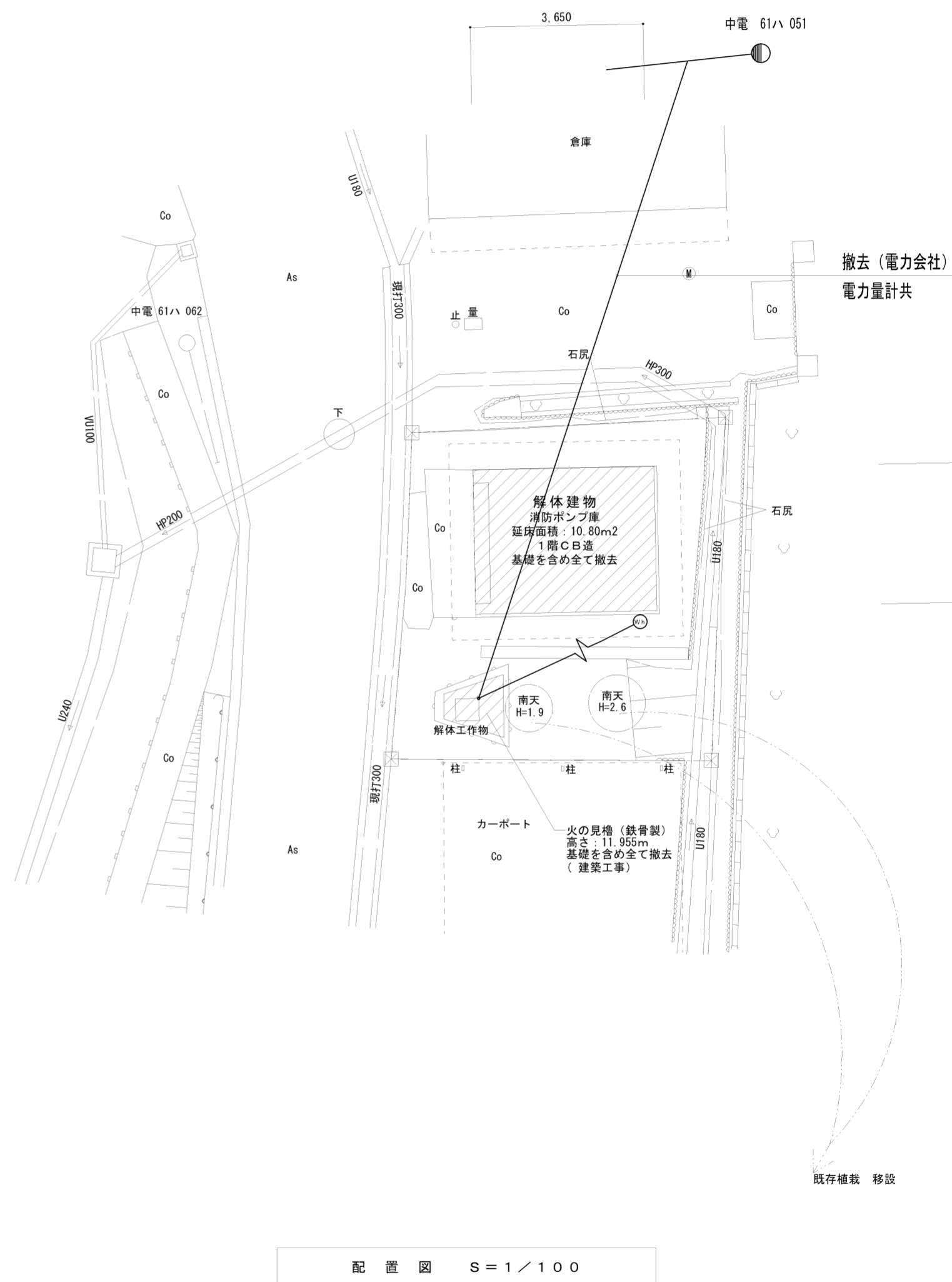
配管配線 撤去とする。
配線ルート参考とする。



撤去品一覧

- 照明器具 (赤色灯・電球式)
- スイッチ (1P10Ax1, 2P15Ax1)
- コンセント (2P-15Ax2)
- S Bブレーカー (2P20A)
- 配線用遮断器 (3P20A)
- VVF 2.0-2C
- VVF 2.0-3C
- VVF 2.0-4C
- ビニル電線2.0mm
- C19 (薄鋼電線管)
- C25 (薄鋼電線管)
- VE28mm (硬質ビニル電線管)
- ※ 電力量計は電力会社

平面図 S = 1 / 5 0



配置図 S = 1 / 1 0 0

特記 ※提供図面を元に作成しており、細部位置を確認しているものではありません。

工事名	令和5年度(消防)第20号 薦原分団葛尾地区消防ポンプ庫 解体及び新築工事	
図名	現況 配置図・平面図	図面番号 E-05
	縮尺 A2:1/50・100 A3:1/71・141	



1級建築士事務所 登録(三重1-1987号)
〒518-0775 三重県名張市希央台5番町109番地
TEL 0595-48-6066 FAX 0595-48-6067
E-mail h.a.t@tuba.on.ne.jp

承認	管理建築士	印
図面提出日 2023/07/00	1級 256630号 壹室 敦司	